

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																
第1部 第2章1節 直接工事費 (補足資料-1) 2-1-(16)	<p>9. 標準作業能力</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種名</th> <th>標準作業能力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4節 本体内 4.1 ケーソン式</td> <td> 2. ケーソン製作 2-3 共通項目 ケーソン製作1サイクル当り基本日数(Cm') ケーソン製作1サイクル当りの基本日数の内訳は、以下によるものとする。 1層当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ケーソン種類</th> <th>ケーソスマス数</th> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>型枠組外</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">普通ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>21マス以上 30マスまで</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>その他ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>7.5</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>4節 本体内 4.2 ブロック式</td> <td> 2. 本体ブロック製作工 本体ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 1) 本体方塊製作 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C_m : 1サイクル当り製作日数(日) C_{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>底型枠種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>転置</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体方塊</td> <td>ルーフインク*</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>-</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>蓋ブロック</td> <td>鋼製型枠</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>6.0</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 2) L型・セルラーブロック製作 $C_m = C_m' \times M + K$ (小数2位四捨五入) C_m : 1サイクル当り製作日数(日) C_{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 最終養生日数(2.5日) 注) 最終養生日数は、最終層の養生日数ならびに型枠組外し日数である。 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロック種類</th> <th colspan="5">1層当り基本日数</th> <th rowspan="2">1サイクル当り基本日数(C_{m'})</th> </tr> <tr> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L型ブロック セルラーブロック</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>4.5</td> <td>4.5×層数-1.0</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 3) その他 供用日数は、製作サイクル数および仮設材搬入・搬出日数(2日)を考慮し算定する。 </td> </tr> </tbody> </table>	工種名	標準作業能力等	4節 本体内 4.1 ケーソン式	2. ケーソン製作 2-3 共通項目 ケーソン製作1サイクル当り基本日数(Cm') ケーソン製作1サイクル当りの基本日数の内訳は、以下によるものとする。 1層当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ケーソン種類</th> <th>ケーソスマス数</th> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>型枠組外</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">普通ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>21マス以上 30マスまで</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>その他ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>7.5</td> </tr> </tbody> </table>	ケーソン種類	ケーソスマス数	鉄筋組立	型枠組立	型枠組外	コンクリート打設	養生	合計	普通ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.0	1.0	7.5	21マス以上 30マスまで	3.0	4.0	1.0	1.0	1.0	10.0	その他ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.0	1.0	7.5	4節 本体内 4.2 ブロック式	2. 本体ブロック製作工 本体ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 1) 本体方塊製作 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>底型枠種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>転置</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体方塊</td> <td>ルーフインク*</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>-</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>蓋ブロック</td> <td>鋼製型枠</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>6.0</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 2) L型・セルラーブロック製作 $C_m = C_m' \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 最終養生日数(2.5日) 注) 最終養生日数は、最終層の養生日数ならびに型枠組外し日数である。 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロック種類</th> <th colspan="5">1層当り基本日数</th> <th rowspan="2">1サイクル当り基本日数(C_{m'})</th> </tr> <tr> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L型ブロック セルラーブロック</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>4.5</td> <td>4.5×層数-1.0</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 3) その他 供用日数は、製作サイクル数および仮設材搬入・搬出日数(2日)を考慮し算定する。	ブロック種類	底型枠種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	転置	合計(C _{m'})	本体方塊	ルーフインク*	0.5	1.0	3.0	0.5	-	5.0	蓋ブロック	鋼製型枠	0.5	1.0	3.0	0.5	1.0	6.0	ブロック種類	1層当り基本日数					1サイクル当り基本日数(C _{m'})	鉄筋組立	型枠組立	コンクリート打設	養生	合計	L型ブロック セルラーブロック	1.5	1.0	1.0	1.0	4.5	4.5×層数-1.0	<p>9. 標準作業能力</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工種名</th> <th>標準作業能力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2. ケーソン製作 2-3 共通項目</td> <td> ケーソン製作1サイクル当り基本日数(Cm') ケーソン製作1サイクル当りの基本日数の内訳は、以下によるものとする。 1層当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ケーソン種類</th> <th>ケーソスマス数</th> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>型枠組外</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">普通ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>7.72</td> </tr> <tr> <td>21マス以上 30マスまで</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>10.22</td> </tr> <tr> <td>その他ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>7.72</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>2. 本体ブロック製作工</td> <td> 本体ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 1) 本体方塊製作 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C_m : 1サイクル当り製作日数(日) C_{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>底型枠種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>転置</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体方塊</td> <td>ルーフインク*</td> <td>0.5</td> <td>1.11</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>-</td> <td>5.11</td> </tr> <tr> <td>蓋ブロック</td> <td>鋼製型枠</td> <td>0.5</td> <td>1.11</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>6.11</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 2) L型・セルラーブロック製作 $C_m = C_m' \times M + K$ (小数2位四捨五入) C_m : 1サイクル当り製作日数(日) C_{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 最終養生日数(2.5日) 注) 最終養生日数は、最終層の養生日数ならびに型枠組外し日数である。 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロック種類</th> <th colspan="5">1層当り基本日数</th> <th rowspan="2">1サイクル当り基本日数(C_{m'})</th> </tr> <tr> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L型ブロック セルラーブロック</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>4.72</td> <td>4.72×層数-1.11</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 3) その他 供用日数は、製作サイクル数および仮設材搬入・搬出日数(2日)を考慮し算定する。 </td> </tr> </tbody> </table>	工種名	標準作業能力等	2. ケーソン製作 2-3 共通項目	ケーソン製作1サイクル当り基本日数(Cm') ケーソン製作1サイクル当りの基本日数の内訳は、以下によるものとする。 1層当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ケーソン種類</th> <th>ケーソスマス数</th> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>型枠組外</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">普通ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>7.72</td> </tr> <tr> <td>21マス以上 30マスまで</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>10.22</td> </tr> <tr> <td>その他ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>7.72</td> </tr> </tbody> </table>	ケーソン種類	ケーソスマス数	鉄筋組立	型枠組立	型枠組外	コンクリート打設	養生	合計	普通ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.11	1.11	7.72	21マス以上 30マスまで	3.0	4.0	1.0	1.11	1.11	10.22	その他ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.11	1.11	7.72	2. 本体ブロック製作工	本体ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 1) 本体方塊製作 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>底型枠種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>転置</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体方塊</td> <td>ルーフインク*</td> <td>0.5</td> <td>1.11</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>-</td> <td>5.11</td> </tr> <tr> <td>蓋ブロック</td> <td>鋼製型枠</td> <td>0.5</td> <td>1.11</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>6.11</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 2) L型・セルラーブロック製作 $C_m = C_m' \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 最終養生日数(2.5日) 注) 最終養生日数は、最終層の養生日数ならびに型枠組外し日数である。 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロック種類</th> <th colspan="5">1層当り基本日数</th> <th rowspan="2">1サイクル当り基本日数(C_{m'})</th> </tr> <tr> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L型ブロック セルラーブロック</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>4.72</td> <td>4.72×層数-1.11</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 3) その他 供用日数は、製作サイクル数および仮設材搬入・搬出日数(2日)を考慮し算定する。	ブロック種類	底型枠種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	転置	合計(C _{m'})	本体方塊	ルーフインク*	0.5	1.11	3.0	0.5	-	5.11	蓋ブロック	鋼製型枠	0.5	1.11	3.0	0.5	1.0	6.11	ブロック種類	1層当り基本日数					1サイクル当り基本日数(C _{m'})	鉄筋組立	型枠組立	コンクリート打設	養生	合計	L型ブロック セルラーブロック	1.5	1.0	1.11	1.11	4.72	4.72×層数-1.11	
工種名	標準作業能力等																																																																																																																																																																		
4節 本体内 4.1 ケーソン式	2. ケーソン製作 2-3 共通項目 ケーソン製作1サイクル当り基本日数(Cm') ケーソン製作1サイクル当りの基本日数の内訳は、以下によるものとする。 1層当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ケーソン種類</th> <th>ケーソスマス数</th> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>型枠組外</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">普通ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>21マス以上 30マスまで</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>その他ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>7.5</td> </tr> </tbody> </table>	ケーソン種類	ケーソスマス数	鉄筋組立	型枠組立	型枠組外	コンクリート打設	養生	合計	普通ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.0	1.0	7.5	21マス以上 30マスまで	3.0	4.0	1.0	1.0	1.0	10.0	その他ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.0	1.0	7.5																																																																																																																																			
ケーソン種類	ケーソスマス数	鉄筋組立	型枠組立	型枠組外	コンクリート打設	養生	合計																																																																																																																																																												
普通ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.0	1.0	7.5																																																																																																																																																												
	21マス以上 30マスまで	3.0	4.0	1.0	1.0	1.0	10.0																																																																																																																																																												
その他ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.0	1.0	7.5																																																																																																																																																												
4節 本体内 4.2 ブロック式	2. 本体ブロック製作工 本体ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 1) 本体方塊製作 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>底型枠種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>転置</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体方塊</td> <td>ルーフインク*</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>-</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>蓋ブロック</td> <td>鋼製型枠</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>6.0</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 2) L型・セルラーブロック製作 $C_m = C_m' \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 最終養生日数(2.5日) 注) 最終養生日数は、最終層の養生日数ならびに型枠組外し日数である。 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロック種類</th> <th colspan="5">1層当り基本日数</th> <th rowspan="2">1サイクル当り基本日数(C_{m'})</th> </tr> <tr> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L型ブロック セルラーブロック</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>4.5</td> <td>4.5×層数-1.0</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 3) その他 供用日数は、製作サイクル数および仮設材搬入・搬出日数(2日)を考慮し算定する。	ブロック種類	底型枠種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	転置	合計(C _{m'})	本体方塊	ルーフインク*	0.5	1.0	3.0	0.5	-	5.0	蓋ブロック	鋼製型枠	0.5	1.0	3.0	0.5	1.0	6.0	ブロック種類	1層当り基本日数					1サイクル当り基本日数(C _{m'})	鉄筋組立	型枠組立	コンクリート打設	養生	合計	L型ブロック セルラーブロック	1.5	1.0	1.0	1.0	4.5	4.5×層数-1.0																																																																																																																							
ブロック種類	底型枠種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	転置	合計(C _{m'})																																																																																																																																																												
本体方塊	ルーフインク*	0.5	1.0	3.0	0.5	-	5.0																																																																																																																																																												
蓋ブロック	鋼製型枠	0.5	1.0	3.0	0.5	1.0	6.0																																																																																																																																																												
ブロック種類	1層当り基本日数					1サイクル当り基本日数(C _{m'})																																																																																																																																																													
	鉄筋組立	型枠組立	コンクリート打設	養生	合計																																																																																																																																																														
L型ブロック セルラーブロック	1.5	1.0	1.0	1.0	4.5	4.5×層数-1.0																																																																																																																																																													
工種名	標準作業能力等																																																																																																																																																																		
2. ケーソン製作 2-3 共通項目	ケーソン製作1サイクル当り基本日数(Cm') ケーソン製作1サイクル当りの基本日数の内訳は、以下によるものとする。 1層当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ケーソン種類</th> <th>ケーソスマス数</th> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>型枠組外</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">普通ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>7.72</td> </tr> <tr> <td>21マス以上 30マスまで</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>10.22</td> </tr> <tr> <td>その他ケーソン</td> <td>20マスまで</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>7.72</td> </tr> </tbody> </table>	ケーソン種類	ケーソスマス数	鉄筋組立	型枠組立	型枠組外	コンクリート打設	養生	合計	普通ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.11	1.11	7.72	21マス以上 30マスまで	3.0	4.0	1.0	1.11	1.11	10.22	その他ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.11	1.11	7.72																																																																																																																																			
ケーソン種類	ケーソスマス数	鉄筋組立	型枠組立	型枠組外	コンクリート打設	養生	合計																																																																																																																																																												
普通ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.11	1.11	7.72																																																																																																																																																												
	21マス以上 30マスまで	3.0	4.0	1.0	1.11	1.11	10.22																																																																																																																																																												
その他ケーソン	20マスまで	2.5	2.0	1.0	1.11	1.11	7.72																																																																																																																																																												
2. 本体ブロック製作工	本体ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 1) 本体方塊製作 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>底型枠種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>転置</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体方塊</td> <td>ルーフインク*</td> <td>0.5</td> <td>1.11</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>-</td> <td>5.11</td> </tr> <tr> <td>蓋ブロック</td> <td>鋼製型枠</td> <td>0.5</td> <td>1.11</td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>6.11</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 2) L型・セルラーブロック製作 $C_m = C_m' \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 最終養生日数(2.5日) 注) 最終養生日数は、最終層の養生日数ならびに型枠組外し日数である。 1サイクル当り基本日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロック種類</th> <th colspan="5">1層当り基本日数</th> <th rowspan="2">1サイクル当り基本日数(C_{m'})</th> </tr> <tr> <th>鉄筋組立</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L型ブロック セルラーブロック</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.11</td> <td>1.11</td> <td>4.72</td> <td>4.72×層数-1.11</td> </tr> </tbody> </table> 注) 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 3) その他 供用日数は、製作サイクル数および仮設材搬入・搬出日数(2日)を考慮し算定する。	ブロック種類	底型枠種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	転置	合計(C _{m'})	本体方塊	ルーフインク*	0.5	1.11	3.0	0.5	-	5.11	蓋ブロック	鋼製型枠	0.5	1.11	3.0	0.5	1.0	6.11	ブロック種類	1層当り基本日数					1サイクル当り基本日数(C _{m'})	鉄筋組立	型枠組立	コンクリート打設	養生	合計	L型ブロック セルラーブロック	1.5	1.0	1.11	1.11	4.72	4.72×層数-1.11																																																																																																																							
ブロック種類	底型枠種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	転置	合計(C _{m'})																																																																																																																																																												
本体方塊	ルーフインク*	0.5	1.11	3.0	0.5	-	5.11																																																																																																																																																												
蓋ブロック	鋼製型枠	0.5	1.11	3.0	0.5	1.0	6.11																																																																																																																																																												
ブロック種類	1層当り基本日数					1サイクル当り基本日数(C _{m'})																																																																																																																																																													
	鉄筋組立	型枠組立	コンクリート打設	養生	合計																																																																																																																																																														
L型ブロック セルラーブロック	1.5	1.0	1.11	1.11	4.72	4.72×層数-1.11																																																																																																																																																													

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																				
第2章1節 直接工事費 (補足資料-1) 2-1-(17)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">工種名</th> <th style="width:85%;">標準作業能力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8節 消波工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 消波ブロック工</td> <td> 消波ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C_m : 1サイクル当り製作日数(日) C_{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異形ブロック</td> <td>0.5</td> <td><u>1.0</u></td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td><u>5.0</u></td> </tr> </tbody> </table> 注) 1. 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 </td> </tr> </tbody> </table>	工種名	標準作業能力等	8節 消波工		2. 消波ブロック工	消波ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異形ブロック</td> <td>0.5</td> <td><u>1.0</u></td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td><u>5.0</u></td> </tr> </tbody> </table> 注) 1. 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。	ブロック種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	合計(C _{m'})	異形ブロック	0.5	<u>1.0</u>	3.0	0.5	<u>5.0</u>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">工種名</th> <th style="width:85%;">標準作業能力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8節 消波工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 消波ブロック工</td> <td> 消波ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C_m : 1サイクル当り製作日数(日) C_{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異形ブロック</td> <td>0.5</td> <td><u>1.11</u></td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td><u>5.11</u></td> </tr> </tbody> </table> 注) 1. 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。 </td> </tr> </tbody> </table>	工種名	標準作業能力等	8節 消波工		2. 消波ブロック工	消波ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異形ブロック</td> <td>0.5</td> <td><u>1.11</u></td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td><u>5.11</u></td> </tr> </tbody> </table> 注) 1. 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。	ブロック種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	合計(C _{m'})	異形ブロック	0.5	<u>1.11</u>	3.0	0.5	<u>5.11</u>	
工種名	標準作業能力等																																						
8節 消波工																																							
2. 消波ブロック工	消波ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異形ブロック</td> <td>0.5</td> <td><u>1.0</u></td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td><u>5.0</u></td> </tr> </tbody> </table> 注) 1. 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。	ブロック種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	合計(C _{m'})	異形ブロック	0.5	<u>1.0</u>	3.0	0.5	<u>5.0</u>																										
ブロック種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	合計(C _{m'})																																		
異形ブロック	0.5	<u>1.0</u>	3.0	0.5	<u>5.0</u>																																		
工種名	標準作業能力等																																						
8節 消波工																																							
2. 消波ブロック工	消波ブロック製作日数 1. 製作日数算定式 $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C _m : 1サイクル当り製作日数(日) C _{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) M : 陸上施工の場合; 1.65 海上施工の場合; α(供用係数) K : 養生日数(3日) 1サイクル当り基本日数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>ブロック種類</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠組外</th> <th>合計(C_{m'})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異形ブロック</td> <td>0.5</td> <td><u>1.11</u></td> <td>3.0</td> <td>0.5</td> <td><u>5.11</u></td> </tr> </tbody> </table> 注) 1. 現場条件により上記によりがたい場合は、別途決定する。	ブロック種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	合計(C _{m'})	異形ブロック	0.5	<u>1.11</u>	3.0	0.5	<u>5.11</u>																										
ブロック種類	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠組外	合計(C _{m'})																																		
異形ブロック	0.5	<u>1.11</u>	3.0	0.5	<u>5.11</u>																																		

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																														
第3章4節 本工 4.1ケーソン式 3-4.1-9	<p>2. ケーソン製作工 ケーソン製作工に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="442 348 1421 919"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th colspan="2">積算要素(レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ケーソン製作工</td> <td rowspan="3">ケーソン製作用台船</td> <td>ケーソン製作用台船係留</td> <td>ケーソン製作用台船係留 1回当り</td> </tr> <tr> <td>ケーソン製作用台船運転</td> <td>ケーソン製作用台船運転 1式当り</td> </tr> <tr> <td>補助ヤード施設</td> <td>補助ヤード施設 1式当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">底面</td> <td rowspan="2">ルーフィング敷設</td> <td>ルーフィング敷設</td> <td>ルーフィング敷設 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>アスファルトマット設置</td> <td>アスファルトマット設置(工場製作) 1枚当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">マ</td> <td rowspan="2">ツ</td> <td>アスファルトマット設置</td> <td>アスファルトマット設置(現場製作) 1函当り</td> </tr> <tr> <td>ゴム系マット設置</td> <td>ゴム系マット(再生)設置 1函当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">支保</td> <td rowspan="2">足場</td> <td>支保組立組外</td> <td>支保組立組外 100m当り</td> </tr> <tr> <td>鋼製枠組足場架設</td> <td>鋼製枠組足場架設 100m²当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄筋</td> <td rowspan="2">鉄筋加工組立</td> <td>鉄筋加工組立</td> <td>鉄筋加工組立 1,000kg当り</td> </tr> <tr> <td>吊鉄筋組立</td> <td>吊鉄筋・吊バー 1本当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">型枠</td> <td rowspan="2">型枠組立組外</td> <td>吊鉄筋・吊バー組立</td> <td>吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り</td> </tr> <tr> <td>鋼製型枠組立組外</td> <td>鋼製型枠組立組外 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>陸上コンクリート打設</td> <td>コンクリート打設</td> <td>コンクリート打設 10m³当り</td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)		ケーソン製作工	ケーソン製作用台船	ケーソン製作用台船係留	ケーソン製作用台船係留 1回当り	ケーソン製作用台船運転	ケーソン製作用台船運転 1式当り	補助ヤード施設	補助ヤード施設 1式当り	底面	ルーフィング敷設	ルーフィング敷設	ルーフィング敷設 100m ² 当り	アスファルトマット設置	アスファルトマット設置(工場製作) 1枚当り	マ	ツ	アスファルトマット設置	アスファルトマット設置(現場製作) 1函当り	ゴム系マット設置	ゴム系マット(再生)設置 1函当り	支保	足場	支保組立組外	支保組立組外 100m当り	鋼製枠組足場架設	鋼製枠組足場架設 100m ² 当り	鉄筋	鉄筋加工組立	鉄筋加工組立	鉄筋加工組立 1,000kg当り	吊鉄筋組立	吊鉄筋・吊バー 1本当り	型枠	型枠組立組外	吊鉄筋・吊バー組立	吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り	鋼製型枠組立組外	鋼製型枠組立組外 100m ² 当り	コンクリート	陸上コンクリート打設	コンクリート打設	コンクリート打設 10m ³ 当り		
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)																																															
ケーソン製作工	ケーソン製作用台船	ケーソン製作用台船係留	ケーソン製作用台船係留 1回当り																																														
		ケーソン製作用台船運転	ケーソン製作用台船運転 1式当り																																														
		補助ヤード施設	補助ヤード施設 1式当り																																														
底面	ルーフィング敷設	ルーフィング敷設	ルーフィング敷設 100m ² 当り																																														
		アスファルトマット設置	アスファルトマット設置(工場製作) 1枚当り																																														
マ	ツ	アスファルトマット設置	アスファルトマット設置(現場製作) 1函当り																																														
		ゴム系マット設置	ゴム系マット(再生)設置 1函当り																																														
支保	足場	支保組立組外	支保組立組外 100m当り																																														
		鋼製枠組足場架設	鋼製枠組足場架設 100m ² 当り																																														
鉄筋	鉄筋加工組立	鉄筋加工組立	鉄筋加工組立 1,000kg当り																																														
		吊鉄筋組立	吊鉄筋・吊バー 1本当り																																														
型枠	型枠組立組外	吊鉄筋・吊バー組立	吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り																																														
		鋼製型枠組立組外	鋼製型枠組立組外 100m ² 当り																																														
コンクリート	陸上コンクリート打設	コンクリート打設	コンクリート打設 10m ³ 当り																																														

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章4節 本體工 4.1ケーソン式 3-4.1-10</p>	<p>2-1 適用範囲 本項は、本體工（ケーソン式）のケーソン製作（ケーソン製作用台船方式(a)、陸上施工方式(b)、海上打継方式(c)）に適用する。</p> <p>2-2 施工フロー</p> <p>注) 本項の歩掛は、 の部分である。</p>		

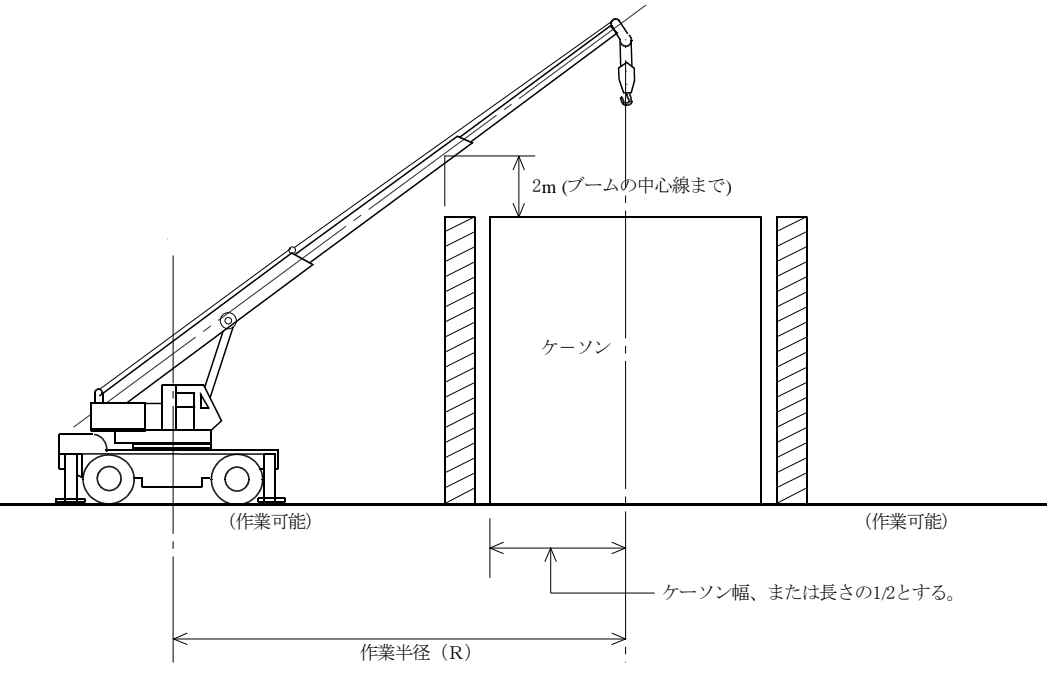
平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章4節 本體工 4.1ケーソン式 3-4.1-11</p>	<p>2-3 共通項目 2-3-1 製作日数の算定 2-3-1-1 算定手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所 → 施工方式の選定 → ・ケーソン製作用台船方式 ・陸上施工方式 ・海上打継方式 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>2-3-1-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケーソン種別 → 1サイクル当り基本日数の選定 → ①1サイクル当り基本日数 ・ ケーソンマス数 ・ 1函当り打設層数 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同時製作函数 → 割増し日数の選定 → ②割増し日数 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アスファルトマット製作の有無 → 関連日数の決定 → ③関連日数 ・ および製作場所 ・ パラスト材投入の有無 ・ およびパラスト材種類 ・ 止水板取付の有無 ・ 進水の有無 ・ その他現場条件 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進水の有無 → 最終養生日数の選定 → ④最終養生日数 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1サイクル当り基本日数 → 製作日数の算定 → ・製作日数 ②割増し日数 ③関連日数 ④最終養生日数 ・ 供用係数 ・ その他現場条件 ・ 準備・跡片付け等の日数 <p>(海上打継方式の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 注水・仮置の有無 → 関連日数の決定 → ⑤関連日数 ・ パラスト材投入の有無 ・ およびパラスト材種類 ・ 浮上の有無、マス数 ・ その他現場条件 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1サイクル当り基本日数 → 製作日数の算定 → ・製作日数 ②割増し日数 ⑤関連日数 ・ 最終養生日数 ・ 供用係数 ・ その他現場条件 ・ 準備・跡片付け等の日数 <p>2-3-1-2 製作日数の算定 1) 製作日数算定式 $C_m = (C_m' + K_1 + K_2) \times M + K_3 \quad (\text{小数2位四捨五入})$ <ul style="list-style-type: none"> C_m : 製作日数(日) C_m' : 1サイクル当り基本日数(日) K_1 : 割増し日数(日) K_2 : 関連日数(日) K_3 : 最終養生日数(日) M : 陸上施工の場合: 1.65 : 海上施工の場合: α (供用係数) </p> <p>注) 1. 上記算定により難しい場合は、現場条件等を考慮して別途決定する。 2. 上記製作日数の外に準備、跡片付け等に要する日数を計上することができる。 3. 同時製作函数とは、1サイクル当りの製作函数のことである。 4. 各ケーソンの最大マス数を超える場合は、別途考慮する。</p>		

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																																																																																																										
第3章4節 本工 4.1ケーソン式 3-4.1-12	<p>2) 1サイクル当り基本日数(Cm')</p> <table border="1" data-bbox="433 338 1368 554"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="3">ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式・海上打継方式</th> </tr> <tr> <th colspan="2">普通ケーソン</th> <th>その他ケーソン</th> </tr> <tr> <th>20マス まで</th> <th>21マス以上 ~ 30マスまで</th> <th>20マス まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1層当り基本日数</td> <td>日</td> <td>7.5</td> <td>10</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>1サイクル当り 基本日数(Cm')</td> <td>"</td> <td>7.5×層数 -2</td> <td>10.0×層数 -2</td> <td>7.5×層数 -2</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 1層当り基本日数は、鉄筋加工組立~型枠外しまでの日数とする。 2. ケーソン製作用台船方式で同時製作函数3函以上の場合は、形状寸法、マス数、クレーン基数等を考慮して別途定めることができる。</p> <p>3) 割増し日数(K₁)</p> <table border="1" data-bbox="433 688 1368 898"> <thead> <tr> <th rowspan="2">同時製作函数</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式・海上打継方式</th> </tr> <tr> <th>普通ケーソン 30マスまで</th> <th>その他ケーソン 20マスまで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 函</td> <td>日</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3 函</td> <td>"</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>4 函</td> <td>"</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>5 函</td> <td>"</td> <td></td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 関連日数(K₂)</p> <table border="1" data-bbox="433 957 1368 1430"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="2">ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式</th> <th colspan="2">海上打継方式</th> </tr> <tr> <th>普通ケーソン</th> <th>その他ケーソン</th> <th colspan="2">普通ケーソン</th> </tr> <tr> <th>30マスまで</th> <th>20マスまで</th> <th>20マスまで</th> <th>21~30マスまで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ルーフィング敷設</td> <td>日</td> <td colspan="2">0.5</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>アスファルト工場製作</td> <td>"</td> <td colspan="2">1</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>マット設置現場製作</td> <td>"</td> <td colspan="2">アスファルトマット製作日数を計上</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>ゴム系マット設置</td> <td>"</td> <td colspan="2">1</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>注水・仮置</td> <td>"</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>支保組立</td> <td>"</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>足場組立</td> <td>"</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ハラスト材投入</td> <td>砂・石材</td> <td colspan="2">1</td> <td colspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td colspan="2">1</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>止水板取付</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>0.5</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>進水</td> <td>"</td> <td colspan="2">1</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>浮上</td> <td>"</td> <td colspan="2">-</td> <td>0.5</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. アスファルトマットまたはゴム系マットの設置がある場合は、ルーフィング敷設は計上しない。 2. 海上打継方式で、スリット、異形ケーソンの場合は、現場条件を考慮して別途算定する。</p> <p>5) 最終養生日数(K₃)</p> <table border="1" data-bbox="433 1528 1368 1713"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="2">ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式</th> <th>海上打継方式</th> </tr> <tr> <th>普通ケーソン</th> <th>その他ケーソン</th> <th>普通ケーソン</th> </tr> <tr> <th>30マスまで</th> <th>20マスまで</th> <th>30マスまで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最終養生日数</td> <td>日</td> <td colspan="3">6</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 最終養生日数とは、最終層の養生日数ならびに最終型枠組外の日数である。 なお、ケーソン製作用台船方式、陸上施工方式の進水を伴う場合の最終養生日数は、6日を標準とするが、これにより難しい場合には必要に応じて別途日数を加算することができる。 2. 海上打継方式で、スリット、異形ケーソンの場合は、現場条件を考慮して別途算定する。 3. 吊降し方式の場合は、現場条件を考慮して別途算定する。</p>	名称	単位	ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式・海上打継方式			普通ケーソン		その他ケーソン	20マス まで	21マス以上 ~ 30マスまで	20マス まで	1層当り基本日数	日	7.5	10	7.5	1サイクル当り 基本日数(Cm')	"	7.5×層数 -2	10.0×層数 -2	7.5×層数 -2	同時製作函数	単位	ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式・海上打継方式		普通ケーソン 30マスまで	その他ケーソン 20マスまで	2 函	日		1	3 函	"		2	4 函	"		3	5 函	"		4	名称	単位	ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式		海上打継方式		普通ケーソン	その他ケーソン	普通ケーソン		30マスまで	20マスまで	20マスまで	21~30マスまで	ルーフィング敷設	日	0.5		-		アスファルト工場製作	"	1		-		マット設置現場製作	"	アスファルトマット製作日数を計上		-		ゴム系マット設置	"	1		-		注水・仮置	"	-		0.5		支保組立	"	-		1		足場組立	"	-		1		ハラスト材投入	砂・石材	1		0.5		コンクリート	1		1		止水板取付	"	-	0.5	-		進水	"	1		-		浮上	"	-		0.5	1	名称	単位	ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式		海上打継方式	普通ケーソン	その他ケーソン	普通ケーソン	30マスまで	20マスまで	30マスまで	最終養生日数	日	6			<p>2) 1サイクル当り基本日数(Cm')</p> <table border="1" data-bbox="1620 338 2555 554"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="3">ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式・海上打継方式</th> </tr> <tr> <th colspan="2">普通ケーソン</th> <th>その他ケーソン</th> </tr> <tr> <th>20マス まで</th> <th>21マス以上 ~ 30マスまで</th> <th>20マス まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1層当り基本日数</td> <td>日</td> <td>7.72</td> <td>10.22</td> <td>7.72</td> </tr> <tr> <td>1サイクル当り 基本日数(Cm')</td> <td>"</td> <td>7.72×層数 -2.11</td> <td>10.22×層数 -2.11</td> <td>7.72×層数 -2.11</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 1層当り基本日数は、鉄筋加工組立~型枠外しまでの日数とする。 2. ケーソン製作用台船方式で同時製作函数3函以上の場合は、形状寸法、マス数、クレーン基数等を考慮して別途定めることができる。</p> <p>4) 関連日数(K₂)</p> <table border="1" data-bbox="1620 957 2555 1430"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="2">ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式</th> <th colspan="2">海上打継方式</th> </tr> <tr> <th>普通ケーソン</th> <th>その他ケーソン</th> <th colspan="2">普通ケーソン</th> </tr> <tr> <th>30マスまで</th> <th>20マスまで</th> <th>20マスまで</th> <th>21~30マスまで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ルーフィング敷設</td> <td>日</td> <td colspan="2">0.5</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>アスファルト工場製作</td> <td>"</td> <td colspan="2">1</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>マット設置現場製作</td> <td>"</td> <td colspan="2">アスファルトマット製作日数を計上</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>ゴム系マット設置</td> <td>"</td> <td colspan="2">1</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>注水・仮置</td> <td>"</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>支保組立</td> <td>"</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>足場組立</td> <td>"</td> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ハラスト材投入</td> <td>砂・石材</td> <td colspan="2">1</td> <td colspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td colspan="2">1.11</td> <td colspan="2">1.11</td> </tr> <tr> <td>止水板取付</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>0.5</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>進水</td> <td>"</td> <td colspan="2">1</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>浮上</td> <td>"</td> <td colspan="2">-</td> <td>0.5</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. アスファルトマットまたはゴム系マットの設置がある場合は、ルーフィング敷設は計上しない。 2. 海上打継方式で、スリット、異形ケーソンの場合は、現場条件を考慮して別途算定する。</p>	名称	単位	ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式・海上打継方式			普通ケーソン		その他ケーソン	20マス まで	21マス以上 ~ 30マスまで	20マス まで	1層当り基本日数	日	7.72	10.22	7.72	1サイクル当り 基本日数(Cm')	"	7.72×層数 -2.11	10.22×層数 -2.11	7.72×層数 -2.11	名称	単位	ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式		海上打継方式		普通ケーソン	その他ケーソン	普通ケーソン		30マスまで	20マスまで	20マスまで	21~30マスまで	ルーフィング敷設	日	0.5		-		アスファルト工場製作	"	1		-		マット設置現場製作	"	アスファルトマット製作日数を計上		-		ゴム系マット設置	"	1		-		注水・仮置	"	-		0.5		支保組立	"	-		1		足場組立	"	-		1		ハラスト材投入	砂・石材	1		0.5		コンクリート	1.11		1.11		止水板取付	"	-	0.5	-		進水	"	1		-		浮上	"	-		0.5	1	
名称	単位			ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式・海上打継方式																																																																																																																																																																																																																																																									
				普通ケーソン		その他ケーソン																																																																																																																																																																																																																																																							
		20マス まで	21マス以上 ~ 30マスまで	20マス まで																																																																																																																																																																																																																																																									
1層当り基本日数	日	7.5	10	7.5																																																																																																																																																																																																																																																									
1サイクル当り 基本日数(Cm')	"	7.5×層数 -2	10.0×層数 -2	7.5×層数 -2																																																																																																																																																																																																																																																									
同時製作函数	単位	ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式・海上打継方式																																																																																																																																																																																																																																																											
		普通ケーソン 30マスまで	その他ケーソン 20マスまで																																																																																																																																																																																																																																																										
2 函	日		1																																																																																																																																																																																																																																																										
3 函	"		2																																																																																																																																																																																																																																																										
4 函	"		3																																																																																																																																																																																																																																																										
5 函	"		4																																																																																																																																																																																																																																																										
名称	単位	ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式		海上打継方式																																																																																																																																																																																																																																																									
		普通ケーソン	その他ケーソン	普通ケーソン																																																																																																																																																																																																																																																									
		30マスまで	20マスまで	20マスまで	21~30マスまで																																																																																																																																																																																																																																																								
ルーフィング敷設	日	0.5		-																																																																																																																																																																																																																																																									
アスファルト工場製作	"	1		-																																																																																																																																																																																																																																																									
マット設置現場製作	"	アスファルトマット製作日数を計上		-																																																																																																																																																																																																																																																									
ゴム系マット設置	"	1		-																																																																																																																																																																																																																																																									
注水・仮置	"	-		0.5																																																																																																																																																																																																																																																									
支保組立	"	-		1																																																																																																																																																																																																																																																									
足場組立	"	-		1																																																																																																																																																																																																																																																									
ハラスト材投入	砂・石材	1		0.5																																																																																																																																																																																																																																																									
	コンクリート	1		1																																																																																																																																																																																																																																																									
止水板取付	"	-	0.5	-																																																																																																																																																																																																																																																									
進水	"	1		-																																																																																																																																																																																																																																																									
浮上	"	-		0.5	1																																																																																																																																																																																																																																																								
名称	単位	ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式		海上打継方式																																																																																																																																																																																																																																																									
		普通ケーソン	その他ケーソン	普通ケーソン																																																																																																																																																																																																																																																									
		30マスまで	20マスまで	30マスまで																																																																																																																																																																																																																																																									
最終養生日数	日	6																																																																																																																																																																																																																																																											
名称	単位	ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式・海上打継方式																																																																																																																																																																																																																																																											
		普通ケーソン		その他ケーソン																																																																																																																																																																																																																																																									
		20マス まで	21マス以上 ~ 30マスまで	20マス まで																																																																																																																																																																																																																																																									
1層当り基本日数	日	7.72	10.22	7.72																																																																																																																																																																																																																																																									
1サイクル当り 基本日数(Cm')	"	7.72×層数 -2.11	10.22×層数 -2.11	7.72×層数 -2.11																																																																																																																																																																																																																																																									
名称	単位	ケーソン製作用台船方式・陸上施工方式		海上打継方式																																																																																																																																																																																																																																																									
		普通ケーソン	その他ケーソン	普通ケーソン																																																																																																																																																																																																																																																									
		30マスまで	20マスまで	20マスまで	21~30マスまで																																																																																																																																																																																																																																																								
ルーフィング敷設	日	0.5		-																																																																																																																																																																																																																																																									
アスファルト工場製作	"	1		-																																																																																																																																																																																																																																																									
マット設置現場製作	"	アスファルトマット製作日数を計上		-																																																																																																																																																																																																																																																									
ゴム系マット設置	"	1		-																																																																																																																																																																																																																																																									
注水・仮置	"	-		0.5																																																																																																																																																																																																																																																									
支保組立	"	-		1																																																																																																																																																																																																																																																									
足場組立	"	-		1																																																																																																																																																																																																																																																									
ハラスト材投入	砂・石材	1		0.5																																																																																																																																																																																																																																																									
	コンクリート	1.11		1.11																																																																																																																																																																																																																																																									
止水板取付	"	-	0.5	-																																																																																																																																																																																																																																																									
進水	"	1		-																																																																																																																																																																																																																																																									
浮上	"	-		0.5	1																																																																																																																																																																																																																																																								

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章4節 本土工 4.1ケーソン式 3-4.1-13</p>	<p>2-3-2 クレーン類の種類・規格の選定 2-3-2-1 種類・規格の選定手順 (ケーソン製作用台船方式(DD)の場合) 陸上施工方式を適用する。 (陸上施工方式の場合)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>・ クレーンの稼働範囲 ・ ヤードの地盤状況</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2-3-2-2 主クレーンの機種 の 決 定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>→ ①主クレーンの機種 (ラフテレーンクレーン、クローラクレーンの別)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>・ 片面吊、両面吊の別 ・ ケーソン幅、高さ ・ 対象工種</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>作業半径・揚程、 吊上げ対象質量の 決 定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>→ ②作業半径 ③揚程 ④吊上げ対象質量</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>①主クレーンの機種 ②作業半径 ③揚程 ④吊上げ対象質量</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>主クレーンの規格の 決 定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>→ ・ 主クレーンの機種・規格 ラフテレーンクレーン (油) t吊 クローラクレーン (油) t吊</p> </div> </div> <p>(海上打継方式の場合)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>・ クレーンの稼働範囲 ヤードの地盤状況 ・ 作業エリア、クレーンのアウトリーチ</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2-3-2-2 クレーン類の種類 の 決 定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>→ ⑤クレーン類の種類 (陸上クレーン、海上クレーンの別) (原則として陸上クレーン)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>・ 片面吊、両面吊の別 ・ ケーソン幅、高さ ・ 対象工種</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>作業半径・揚程、 吊上げ対象質量の 決 定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>→ ⑥作業半径 ⑦揚程 ⑧吊上げ対象質量</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>⑤クレーン類の種類 ⑥作業半径 ⑦揚程 ⑧吊上げ対象質量</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>クレーン類の規格の 決 定</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>→ ・ クレーン類の種類・規格 ラフテレーンクレーン (油) t吊 クローラクレーン (油) t吊 クレーン付台船 (t吊) 起重機船 (非航旋回鋼D t吊)</p> </div> </div> <p>2-3-2-2 種類・規格の選定 1) クレーン類の種類選定 ケーソン製作におけるクレーン類の種類(ラフテレーンクレーンおよびクローラクレーンの別、クレーン付台船および起重機船の別)については、クレーンの稼働可能範囲、ヤードの地盤条件等の現場条件を考慮し、決定する。 (1) ケーソン製作用台船方式(DD)および陸上施工方式は、現場条件、同時製作函数等より、主クレーンを選定する。 (2) 海上打継方式は原則として陸上クレーンとする。 なお、陸上クレーンにより難しい場合は、クレーン付台船または起重機船とする。</p> <p>2) クレーン類の規格選定 ケーソン製作におけるクレーン類の規格は、ケーソンの形状(ケーソン幅、高さ、長さ)、吊上げ対象質量、作業半径および揚程より選定する。 なお、クレーン類の規格は共通とし、支保、足場、鉄筋、型枠において、各々選定された規格の最大規格とする。</p>		

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント												
<p>第3章4節 本體工 4.1ケーソン式 3-4.1-14</p>	<p>(1) 吊上げ対象質量 各作業における吊上げ対象質量は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="433 363 1210 510"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>吊上げ対象質量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>型 枠</td> <td>4 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄 筋</td> <td>2 t</td> <td></td> </tr> <tr> <td>足 場</td> <td>2 t</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 作業半径および揚程 ①ケーソン製作に用いるクレーン類の吊上げ方は、現場条件を考慮の上、適正な吊方式とする。 ②選定にあたっては、「クレーンの作業半径、揚程参考図」の条件（作業半径、揚程）を考慮する。 なお、クレーン付台船および起重機船についても同様とする。 ③クレーン類の規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、1. 起重機船、クレーン等の規格と性能」により決定する。</p>	名称	吊上げ対象質量	摘要	型 枠	4 t		鉄 筋	2 t		足 場	2 t			
名称	吊上げ対象質量	摘要													
型 枠	4 t														
鉄 筋	2 t														
足 場	2 t														
<p>3-4.1-15</p>	<p style="text-align: center;">「クレーンの作業半径、揚程参考図」</p> <p>a) ケーソン製作（両面吊上可能な場合）</p>  <p style="text-align: center;">作業半径 (R)</p> <p style="text-align: center;">ケーソン幅、または長さの1/2とする。</p>														

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章4節 本體工 4.1ケーソン式 3-4.1-15</p>	<p>b)ケーソン製作 (片面吊上可能な場合)</p>		

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																						
<p>第3章4節 本土工 4.1ケーソン式 3-4.1-16</p>	<p>2-4 ケーソン製作用台船 2-4-1 ケーソン製作用台船係留および運転 2-4-1-1 適用範囲 本項は、ケーソン製作用台船方式のケーソン製作用台船係留および運転に適用する。</p> <p>2-4-1-2 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ケーソン製作函数 → F D・D Dの規格の決 ケーソン質量・底面積・吃水 在港船状況 <p>→ ① F D・D Dの規格 ・D Dの規格が2,500t積を超える場合は別途算定</p> <p>↓</p> <p>[ケーソン製作用台船係留の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> 製作場所の変更の有無 → 2-4-1-4 係留回数の算定 → ② F D・D Dの係留回数 ③ 揚錨船の係留回数 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ① F D・D Dの規格 ② F D・D Dの係留回数 ③ 揚錨船の係留回数 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・ケーソン製作用台船係留 1回当り代価表 <p>[ケーソン製作用台船運転の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> 資機材置場の必要性 → 2-4-1-3 台船の計上の検討 → ④ 必要な場合は、台船を計上 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場条件 → 引船の計上の検討 → ⑤ 必要な場合は、引船を計上 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 製作日数「2-3-1」 ・サイクル数 ④ 台船の有無 ⑤ 引船の有無 ・現場条件 ・供用係数 → 2-4-1-4 運転日数の算定 → ⑥ F D・D Dの運転日数 ⑦ 台船の有無、運転日数 ⑧ 引船の有無、運転日数 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ① F D・D Dの規格 ⑤ F D・D Dの運転日数 ⑦ 台船の有無、運転日数 ⑧ 引船の有無、運転日数 → 代価表の作成 → ・ケーソン製作用台船運転 1式当り代価表 <p>2-4-1-3 作業船の組合せ</p> <p>1) ケーソン製作用台船係留</p> <p>(1) F D方式の組合せ</p> <table border="1" data-bbox="433 1472 1347 1535"> <thead> <tr> <th>F D規格</th> <th>揚 錨 船</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼1,300～7,000t積</td> <td>鋼D 10t吊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) D D方式の組合せ</p> <table border="1" data-bbox="433 1591 1080 1654"> <thead> <tr> <th>D D規格</th> <th>揚 錨 船</th> <th>台 船</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼1,300～2,500t積</td> <td>鋼D 10t吊</td> <td>鋼 100t積</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) ケーソン製作用台船運転</p> <table border="1" data-bbox="433 1717 1347 1808"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>台 船</th> <th>引 船</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>F D 鋼1,300～7,000t積</td> <td rowspan="2">鋼 100 t 積</td> <td rowspan="2">鋼D 1000PS型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D D 鋼1,300～2,500t積</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 台船は、資機材等の置場をケーソン製作用台船上および周辺に確保できない場合に計上する。 2. 引船は、現場条件により計上することができる。</p>	F D規格	揚 錨 船	摘 要	鋼1,300～7,000t積	鋼D 10t吊		D D規格	揚 錨 船	台 船	鋼1,300～2,500t積	鋼D 10t吊	鋼 100t積	区 分	台 船	引 船	摘 要	F D 鋼1,300～7,000t積	鋼 100 t 積	鋼D 1000PS型		D D 鋼1,300～2,500t積			
F D規格	揚 錨 船	摘 要																							
鋼1,300～7,000t積	鋼D 10t吊																								
D D規格	揚 錨 船	台 船																							
鋼1,300～2,500t積	鋼D 10t吊	鋼 100t積																							
区 分	台 船	引 船	摘 要																						
F D 鋼1,300～7,000t積	鋼 100 t 積	鋼D 1000PS型																							
D D 鋼1,300～2,500t積																									

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																								
第3章4節 本土工 4.1ケーソン式 3-4.1-17	<p>2-4-1-4 施工歩掛</p> <p>1) 係留回数の算定 ケーソン製作用台船の係留回数は、工事着手前1回と、製作場所を変更する場合は、その変更回数を計上する。 ただし、係留済みの場合を除く。</p> <p style="text-align: center;">ケーソン製作用台船の係留回数</p> <table border="1" data-bbox="409 464 1279 527"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>係留回数</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事着手前</td> <td>1回</td> <td>製作場所を変更した場合も適用する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(FD方式の場合の算出例)</p> <p>1. ケーソン製作を3サイクルで施工し、製作場所を変更しない場合 ケーソン製作用台船計上回数(揚錨船も同様) 工事着手前 1回</p> <p>2. ケーソン製作を3サイクルで施工し、製作場所を2回変更する場合 ケーソン製作用台船計上回数(揚錨船も同様) 工事着手前 1回 製作場所変更 1回×2 = 2回 合 計 = 3回</p> <p>2) 運転日数の算定 $D = d \div \alpha$ (小数2位四捨五入) D: 運転日数(日) d: 供用日数(日) $d = C_m \times \text{サイクル数}$ (小数1位切上げ) C_m: 製作日数(日) (「本節 2-3-1-2 製作日数の算定」参照) α: 供用係数</p> <p>3) 代価表 (1) ケーソン製作用台船係留 1回当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1060 1353 1360"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>FD</th> <th>DD</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フローティングドック 運転</td> <td>鋼 t積</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>ドルフィンドック //</td> <td>鋼 t積</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>揚 錨 船 //</td> <td>鋼D 10t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>台 船 //</td> <td>鋼 100t積</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>-</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td>3.5</td> <td>DDには発動発電機・水中ポンプ運転を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ケーソン製作用台船運転 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1438 1353 1675"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>FD</th> <th>DD</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フローティングドック 運転</td> <td>鋼 t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>-</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>ドルフィンドック //</td> <td>鋼 t積</td> <td>日</td> <td>-</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>台 船 //</td> <td>鋼 100t積</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>引 船 //</td> <td>鋼D 1,000PS型</td> <td>日</td> <td></td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 台船は、資機材等の置場をケーソン製作用台船上および周辺に確保できない場合に計上する。 2. 台船は船員なしの単価とする。 3. 引船は、現場条件により計上することができる。</p> <p>2-4-2 補助ヤード施設 2-4-2-1 適用範囲 本項は、海上打継方式において、資機材の置場として補助ヤード施設の必要がある場合に適用する。</p>	区 分	係留回数	摘 要	工事着手前	1回	製作場所を変更した場合も適用する。	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	FD	DD	フローティングドック 運転	鋼 t積	日	1	-	就業8H	ドルフィンドック //	鋼 t積	日	-	1	〃	揚 錨 船 //	鋼D 10t吊	日	-	1	〃	台 船 //	鋼 100t積	日	-	1	〃	普 通 作 業 員		人	-	2		雑 材 料		%		3.5	DDには発動発電機・水中ポンプ運転を含む	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	FD	DD	フローティングドック 運転	鋼 t積	日		-	就業8H	ドルフィンドック //	鋼 t積	日	-		〃	台 船 //	鋼 100t積	日				引 船 //	鋼D 1,000PS型	日			運2H/就8H	雑 材 料							
区 分	係留回数	摘 要																																																																																									
工事着手前	1回	製作場所を変更した場合も適用する。																																																																																									
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																						
			FD	DD																																																																																							
フローティングドック 運転	鋼 t積	日	1	-	就業8H																																																																																						
ドルフィンドック //	鋼 t積	日	-	1	〃																																																																																						
揚 錨 船 //	鋼D 10t吊	日	-	1	〃																																																																																						
台 船 //	鋼 100t積	日	-	1	〃																																																																																						
普 通 作 業 員		人	-	2																																																																																							
雑 材 料		%		3.5	DDには発動発電機・水中ポンプ運転を含む																																																																																						
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																						
			FD	DD																																																																																							
フローティングドック 運転	鋼 t積	日		-	就業8H																																																																																						
ドルフィンドック //	鋼 t積	日	-		〃																																																																																						
台 船 //	鋼 100t積	日																																																																																									
引 船 //	鋼D 1,000PS型	日			運2H/就8H																																																																																						
雑 材 料																																																																																											

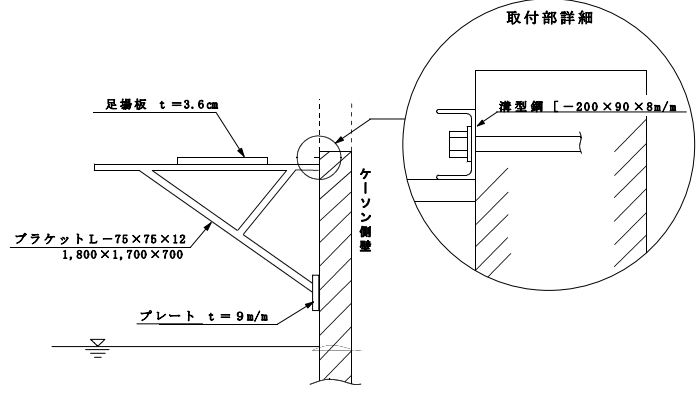
掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																														
<p>第3章4節 本工 4.1ケーソン式 3-4.1-18</p>	<p>2-4-2-2 代価表作成手順 (海上打継方式(陸上クレーン)の場合)</p> <p style="text-align: center;">2-4-2-3</p> <p>・製作日数「2-3-1」 → 台船の運転日数の算定 → ①台船の運転日数 ・サイクル数 ・供用係数</p> <p>↓</p> <p>・現場条件 → 引船の計上の検討 → ②必要な場合は、引船を計上</p> <p style="text-align: center;">2-4-2-4</p> <p>②引船を計上する場合 → 引船の運転日数の算定 → ③引船の運転日数 ・現場条件</p> <p>↓</p> <p>①台船の運転日数 → 代価表の作成 → ・補助ヤード施設 ②引船の有無 1式当り代価表 ③引船の運転日数</p> <p>(海上打継方式(海上クレーン)の場合)</p> <p style="text-align: center;">2-4-2-4</p> <p>・製作日数「2-3-1」 → 運転日数の算定 → ④台船の運転日数 ・サイクル数 ・供用係数</p> <p>↓</p> <p>④台船の運転日数 → 代価表の作成 → ・補助ヤード施設 1式当り代価表</p> <p>2-4-2-3 作業船の組合せ</p> <p>1) 海上打継方式(陸上クレーン)</p> <table border="1" data-bbox="457 1066 1368 1125"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>台 船</th> <th>引 船</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陸上クレーン</td> <td>鋼 200t積</td> <td>鋼D 250PS型</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 引船は、現場条件により計上することができる。</p> <p>2) 海上打継方式(海上クレーン)</p> <table border="1" data-bbox="457 1213 1368 1272"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>台 船</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海上クレーン</td> <td>鋼 100t積</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2-4-2-4 施工歩掛</p> <p>1) 運転日数の算定 $D = d \div \alpha$ (小数2位四捨五入) D: 運転日数(日) d: 供用日数(日) $d = C_m \times \text{サイクル数}$ (小数1位切上げ) C_m: 製作日数(日) (「本節 2-3-1-2 製作日数の算定」参照) α: 供用係数</p> <p>注) 上記日数の外に準備、跡片け等に要する日数を計上することができる。</p> <p>2) 代価表 (1) 補助ヤード施設 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="457 1633 1347 1829"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>海上打継方式 陸上クレーン</th> <th>海上打継方式 海上クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>台 船 運 転</td> <td>鋼 100t積</td> <td>日</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>台 船 "</td> <td>鋼 200t積</td> <td>"</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引 船 "</td> <td>鋼D 250PS型</td> <td>"</td> <td></td> <td>-</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 台船は船員なしの単価とする。 2. 引船は、現場条件により計上することができる。</p>	区 分	台 船	引 船	摘 要	陸上クレーン	鋼 200t積	鋼D 250PS型		区 分	台 船	摘 要	海上クレーン	鋼 100t積		名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	海上打継方式 陸上クレーン	海上打継方式 海上クレーン	台 船 運 転	鋼 100t積	日	-			台 船 "	鋼 200t積	"		-		引 船 "	鋼D 250PS型	"		-	運2H/就8H	雑 材 料							
区 分	台 船	引 船	摘 要																																														
陸上クレーン	鋼 200t積	鋼D 250PS型																																															
区 分	台 船	摘 要																																															
海上クレーン	鋼 100t積																																																
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																												
			海上打継方式 陸上クレーン	海上打継方式 海上クレーン																																													
台 船 運 転	鋼 100t積	日	-																																														
台 船 "	鋼 200t積	"		-																																													
引 船 "	鋼D 250PS型	"		-	運2H/就8H																																												
雑 材 料																																																	

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																										
<p>第3章4節 本體工 4.1ケーソン式 3-4.1-19</p>	<p>2-5 底面 2-5-1 適用範囲 本項は、ケーソン製作用台船方式、陸上施工方式のルーフィング敷設に適用する。 なお、ルーフィング以外での施工については、現場条件を考慮し別途算定する。</p> <p>2-5-2 代価表作成手順</p> <div style="text-align: center;"> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算</p> <p>↓</p> <p>2-5-3 → 下地材料計上の検討 → ②路盤紙の有無、数量 ③敷砂の有無、数量</p> <p>↓</p> <p>→ 代価表の作成 → ・ルーフィング敷設 100m²当り代価表</p> </div> <p>・施工場所</p> <p>・路盤紙使用の有無 ・敷砂使用の有無 ・施工方式 ・サイクル数</p> <p>①標準市場単価 ②路盤紙の有無、数量 ③敷砂の有無、数量</p> <p>2-5-3 施工歩掛 1) 代価表 (1) ルーフィング敷設 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="457 1024 1323 1192"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>下地材料無し</th> <th>下地材料有り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ルーフィング敷設</td> <td></td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>路盤紙</td> <td></td> <td>//</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>敷砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 路盤紙を使用する場合の数量は、120m²を計上する。 2. 敷砂を使用する場合、ケーソン製作用台船方式は1サイクル毎、陸上施工方式は最初の1サイクル分のみ計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	下地材料無し	下地材料有り	ルーフィング敷設		m ²	100		市場単価	路盤紙		//	-			敷砂		m ³	-				
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																					
		下地材料無し	下地材料有り																										
ルーフィング敷設		m ²	100		市場単価																								
路盤紙		//	-																										
敷砂		m ³	-																										

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章4節 本體工 4.1ケーソン式 3-4.1-20</p>	<p>2-6 マット 2-6-1 適用範囲 本項は、ケーソン製作用台船方式、陸上施工方式のアスファルトマット設置に適用する。 なお、摩擦増大用マットを基礎マウンド上に直接設置する場合は、「3節 基礎工、3. 洗掘防止工、3-1 洗掘防止、3-1-1 アスファルトマット」を適用する。</p> <p>2-6-2 代価表作成手順 [アスファルトマット(工場製作)の積算]</p> <p>・ケーソン製作方式 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算</p> <p style="text-align: center;">↓ 【第4章 市場単価】 2-6-3</p> <p>・クレーンの機種・規格 「2-3-2」 → 1日当り設置枚数の算定 → ②1日当り設置枚数</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・標準市場単価 ②1日当り設置枚数 ・施工方式 ・クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → ・アスファルトマット (工場製作)設置 枚当り代価表</p> <p>[アスファルトマット(現場製作)の積算]</p> <p>2-6-3</p> <p>・m²当り単価 ・1函当り面積 → アスファルトマット 単価の算出 → ③アスファルトマット単価 「第2章 1節 2-2-1 材料単価」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>③アスファルトマット単価 → 代価表の作成 → ・アスファルトマット (現場製作)設置 1函当り代価表</p> <p>[ゴム系マット(再生)の積算]</p> <p>・ケーソン製作方式 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算</p> <p style="text-align: center;">↓ 【第4章 市場単価】 2-6-3</p> <p>・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・ゴム系マット(再生) 設置 1函当り代価表</p> <p>2-6-3 施工歩掛 1) アスファルトマット(工場製作)設置の算定式</p> $N = \frac{60}{t} \times T \quad (\text{小数2位四捨五入})$ <p>N : アスファルトマット設置枚数(枚) t : 1枚当り設置所要時間(10分) T : 設置用クレーンの標準運転時間(h/日)</p>		

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																											
第3章4節 本土工 4.1ケーソン式 3-4.1-21	2) 代価表 (1) アスファルトマット (工場製作) 設置 枚当り <table border="1" data-bbox="433 363 1412 711"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">形 状 寸 法</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="3">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ケーソン 製作用 台船方式 (FD)</th> <th colspan="2">陸上施工方式</th> </tr> <tr> <th>ケーソン製作用 台船方式 (DD)</th> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトマット設置</td> <td></td> <td>枚</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="433 726 1412 831"> 注) 1. クレーン類の種類・規格は、「本節 2-3-2 クレーン類の種類・規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3. アスファルトマット単価 (円/枚) = m²当り単価 (目地充填有り) × 1 函当り面積 ÷ 1 函当り枚数 (小数1位切捨て) </p> (2) アスファルトマット (現場製作) 設置 1 函当り <table border="1" data-bbox="433 890 1299 995"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトマット</td> <td>t = 0.08m</td> <td>函</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="433 1010 1299 1062"> 注) アスファルトマット単価 (円/函) = m²当り単価 (目地充填無し) × 1 函当り面積 (小数1位切捨て) </p> (3) ゴム系マット (再生) 設置 1 函当り <table border="1" data-bbox="433 1121 1299 1194"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゴム系マット設置</td> <td></td> <td>函</td> <td>1</td> <td>市場単価</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="433 1209 1299 1262"> 注) ゴム系マット単価 (円/函) = m²当り単価 × 1 函当り面積 (小数1位切捨て) </p>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量			摘 要	ケーソン 製作用 台船方式 (FD)	陸上施工方式		ケーソン製作用 台船方式 (DD)	陸上クレーン	貸与クレーン	アスファルトマット設置		枚				市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	—	1	—	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	〃	—	—	1		名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	アスファルトマット	t = 0.08m	函	1		雑 材 料					名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	ゴム系マット設置		函	1	市場単価		
名 称	形 状 寸 法				単 位	数 量				摘 要																																																				
						ケーソン 製作用 台船方式 (FD)	陸上施工方式																																																							
		ケーソン製作用 台船方式 (DD)	陸上クレーン	貸与クレーン																																																										
アスファルトマット設置		枚				市場単価																																																								
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	—	1	—	標準運転時間																																																								
貸与クレーン運転費	t吊	〃	—	—	1																																																									
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要																																																										
アスファルトマット	t = 0.08m	函	1																																																											
雑 材 料																																																														
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要																																																										
ゴム系マット設置		函	1	市場単価																																																										

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																				
第3章4節 本工 4.1ケーソン式 3-4.1-22	<p>2-7 支保(ケーソン海上打継用)</p> <p>2-7-1 適用範囲 本項は、海上打継方式の支保組立組外に適用する。</p> <p>2-7-2 代価表作成手順</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: left;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーソン形状 ・工法 </div> <div style="text-align: center;"> <p>→ 市場単価適用の検討</p> <p>↓</p> <p>【第4章 市場単価】 2-7-3</p> <p>→ 潜水士船計上の検討</p> <p>↓</p> <p>代価表の作成</p> </div> <div style="text-align: right;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市場単価適用条件以外は、別途積算 <ul style="list-style-type: none"> ①潜水士船の有無、日数 <ul style="list-style-type: none"> ・支保組立組外 100m当り代価表 </div> </div> <p>2-7-3 施工歩掛</p> <p>1) 代価表</p> <p>(1) 支保組立組外 100m当り</p> <table border="1" data-bbox="445 934 1380 1291"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上 クレーン</th> <th>貸与 クレーン</th> <th>海上 クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支保組立組外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m</td> <td colspan="3">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>2.2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>2.2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回鋼D t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.2</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.2</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーン類の種類・規格は、「本節 2-3-2 クレーン類の種類・規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3. 引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ」による。 4. 現場条件により潜水士船を計上することができる。 5. 現場条件により追加クレーンが必要な場合は、使用クレーンの費用を別途計上する。 6. 支保の構造については下図を標準とし、構造等について異なる場合は別途検討する。</p> <p style="text-align: center;">「支保組立参考図」</p> 	名称	形状寸法	単位	数量			摘要	陸上 クレーン	貸与 クレーン	海上 クレーン	支保組立組外	クレーン抜き	m	100			市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	2.2	-	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	2.2	-		クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	〃	-	-	2.2	運6H/就8H	引船	鋼D PS型	〃	-	-	2.2	運2H/就8H	潜水士船	D180PS型 3~5t吊	〃				就業8H		
名称	形状寸法				単位	数量			摘要																																														
		陸上 クレーン	貸与 クレーン	海上 クレーン																																																			
支保組立組外	クレーン抜き	m	100			市場単価																																																	
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	2.2	-	-	標準運転時間																																																	
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	2.2	-																																																		
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	〃	-	-	2.2	運6H/就8H																																																	
引船	鋼D PS型	〃	-	-	2.2	運2H/就8H																																																	
潜水士船	D180PS型 3~5t吊	〃				就業8H																																																	

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章4節 本體工 4.1ケーソン式 3-4.1-23</p>	<p>2-8 足場 2-8-1 適用範囲 本項は、ケーソン製作用台船方式、陸上施工方式、海上打継方式の枠組足場架払、内足場架払に適用する。</p> <p>2-8-2 枠組足場架払 2-8-2-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーソン形状 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算 ・施工場所 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【第4章 市場単価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足場施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 ・ケーソン種類 → ②スリットケーソン補正係数 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>[ケーソン製作用台船方式の積算] (FD施工の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → ・鋼製枠組足場架払 ①施工規模補正係数 → 100m²当り代価表 ②スリットケーソン補正係数 <p>(DD施工の場合) 陸上施工方式を適用する。</p> <p>[陸上施工方式の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーンの機種・規格 → 主クレーンの機種の選定 → ・陸上クレーン 「2-3-2」 → ・貸与クレーン ・貸与クレーンの有無 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → ・鋼製枠組足場架払 ①施工規模補正係数 → 100m²当り代価表 ②スリットケーソン補正係数 ・クレーン類の種類・規格 または貸与クレーンの規格 ・供用係数 <p>[海上打継方式の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → ・鋼製枠組足場架払 ①施工規模補正係数 → 100m²当り代価表 ②スリットケーソン補正係数 ・クレーン類の種類・規格 または貸与クレーンの規格 ・供用係数 <p>2-8-2-2 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p>市場単価 = 標準市場単価(クレーン抜き) × (1 + K₁) × (1 + K₂) (小数1位切捨て)</p> <p style="margin-left: 40px;">K₁: 施工規模補正係数 } (物価資料による)</p> <p style="margin-left: 40px;">K₂: スリットケーソン補正係数 }</p>		

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																		
第3章4節 本工 4.1ケーソン式 3-4.1-24	<p>2) 代価表 (1) 鋼製枠組足場架払 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 359 1412 821"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="6">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ケーソン製作台船方式 (FD)</th> <th colspan="2">陸上施工方式</th> <th colspan="3">海上打継方式</th> </tr> <tr> <th>ケーソン製作台船方式 (DD)</th> <th>貸与クレーン</th> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> <th>海上クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製枠組足場架払</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td colspan="3">100</td> <td colspan="3">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準 運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準 運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>非航旋回鋼D t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. FD方式以外に使用するクレーンの種類・規格は、「本節 2-3-2 クレーン類の種類・規格の選定」による。 2. 貸与クレーンの運転費は、必要費用を計上する。 3. 引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ」による。 4. 現場条件により追加クレーンが必要な場合は、使用クレーンの費用を別途計上する。</p> <p>2-8-3 内足場架払</p> <p>2-8-3-1 代価表作成手順 「2-8-2 枠組足場架払」を適用する。</p> <p>2-8-3-2 施工歩掛</p> <p>1) 市場単価の算定</p> <p>市場単価 = 標準市場単価(クレーン抜き) × (1 + K₂) × (1 + K₃) (小数1位切捨て)</p> <p>K₂: 施工規模補正係数 } (物価資料による) K₃: スリットケーソン補正係数 }</p> <p>2) 代価表 (1) 内足場架払 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1308 1412 1749"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="6">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ケーソン製作台船方式 (FD)</th> <th colspan="2">陸上施工方式</th> <th colspan="3">海上打継方式</th> </tr> <tr> <th>ケーソン製作台船方式 (DD)</th> <th>貸与クレーン</th> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> <th>海上クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内 足 場 架 払</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td colspan="3">100</td> <td colspan="3">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準 運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準 運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>非航旋回鋼D t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. FD方式以外に使用するクレーンの種類・規格は、「本節 2-3-2 クレーン類の種類・規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3. 引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ」による。 4. 現場条件により追加クレーンが必要な場合は、使用クレーンの費用を別途計上する。</p>	名 称	形状寸法	単 位	数 量						摘 要	ケーソン製作台船方式 (FD)	陸上施工方式		海上打継方式			ケーソン製作台船方式 (DD)	貸与クレーン	陸上クレーン	貸与クレーン	海上クレーン	鋼製枠組足場架払	クレーン抜き	m ²	100			100			市場単価	ラフテレーンクレーン	(油) 25t吊	日	0.2	-	-	-	-	-	標準 運転時間	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.3	-	0.3	-	-	標準 運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	日	-	-	0.3	-	0.3	-		クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼D t吊	日	-	-	-	-	-	0.3	運6H/就8H	引 船	鋼D PS型	日	-	-	-	-	-	0.3	運2H/就8H	名 称	形状寸法	単 位	数 量						摘 要	ケーソン製作台船方式 (FD)	陸上施工方式		海上打継方式			ケーソン製作台船方式 (DD)	貸与クレーン	陸上クレーン	貸与クレーン	海上クレーン	内 足 場 架 払	クレーン抜き	m ²	100			100			市場単価	ラフテレーンクレーン	(油) 25t吊	日	0.2	-	-	-	-	-	標準 運転時間	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.3	-	0.3	-	-	標準 運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	日	-	-	0.3	-	0.3	-		クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼D t吊	日	-	-	-	-	-	0.3	運6H/就8H	引 船	鋼D PS型	日	-	-	-	-	-	0.3	運2H/就8H		
名 称	形状寸法				単 位	数 量							摘 要																																																																																																																																																								
						ケーソン製作台船方式 (FD)	陸上施工方式		海上打継方式																																																																																																																																																												
		ケーソン製作台船方式 (DD)	貸与クレーン	陸上クレーン			貸与クレーン	海上クレーン																																																																																																																																																													
鋼製枠組足場架払	クレーン抜き	m ²	100			100			市場単価																																																																																																																																																												
ラフテレーンクレーン	(油) 25t吊	日	0.2	-	-	-	-	-	標準 運転時間																																																																																																																																																												
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.3	-	0.3	-	-	標準 運転時間																																																																																																																																																												
貸与クレーン運転費	t吊	日	-	-	0.3	-	0.3	-																																																																																																																																																													
クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼D t吊	日	-	-	-	-	-	0.3	運6H/就8H																																																																																																																																																												
引 船	鋼D PS型	日	-	-	-	-	-	0.3	運2H/就8H																																																																																																																																																												
名 称	形状寸法	単 位	数 量						摘 要																																																																																																																																																												
			ケーソン製作台船方式 (FD)	陸上施工方式		海上打継方式																																																																																																																																																															
				ケーソン製作台船方式 (DD)	貸与クレーン	陸上クレーン	貸与クレーン	海上クレーン																																																																																																																																																													
内 足 場 架 払	クレーン抜き	m ²	100			100			市場単価																																																																																																																																																												
ラフテレーンクレーン	(油) 25t吊	日	0.2	-	-	-	-	-	標準 運転時間																																																																																																																																																												
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.3	-	0.3	-	-	標準 運転時間																																																																																																																																																												
貸与クレーン運転費	t吊	日	-	-	0.3	-	0.3	-																																																																																																																																																													
クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼D t吊	日	-	-	-	-	-	0.3	運6H/就8H																																																																																																																																																												
引 船	鋼D PS型	日	-	-	-	-	-	0.3	運2H/就8H																																																																																																																																																												

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章4節 本體工 4.1ケーソン式 3-4.1-25</p>	<p>2-9 鉄筋 2-9-1 適用範囲 本項は、ケーソン製作用台船方式、陸上施工方式、海上打継方式の鉄筋加工組立、吊鉄筋組立に適用する。</p> <p>2-9-2 鉄筋加工組立 2-9-2-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーソン形状 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算 ・施工場所 <p style="text-align: center;">↓ 【第4章 市場単価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋加工組立施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>[ケーソン製作用台船方式の積算] (FD施工の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工規模補正係数(クレーン抜き) → 代価表の作成 → ・鉄筋加工組立1,000kg当り代価表 ②スリットケーソン補正係数 ・クレーンの機種・規格 <p>(DD施工の場合) 陸上施工方式を適用する。</p> <p>[陸上施工方式の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーンの機種・規格 → 主クレーン機種の選定 → ・陸上クレーン ・貸与クレーンの有無 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → ・鉄筋加工組立1,000kg当り代価表 ①施工規模補正係数 ・クレーンの機種・規格 <p>[海上打継方式の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → ・鉄筋加工組立1,000kg当り代価表 ①施工規模補正係数 ②スリットケーソン補正係数 ・クレーン類の種類・規格 または貸与クレーンの規格 ・供用係数 		

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																					
第3章4節 本體工 4.1ケーソン式 3-4.1-26	<p>2-9-2-2 施工歩掛</p> <p>1) 市場単価の算定</p> <p>市場単価=標準市場単価(クレーン抜き)×(1+K₁)×(1+K₂)/1,000 (小数3位切捨て)</p> <p style="margin-left: 40px;">K₁: 施工規模補正係数</p> <p style="margin-left: 40px;">K₂: スリットケーソンの補正係数</p> <p style="margin-left: 100px;">(物価資料による)</p> <p>2) 代価表</p> <p>(1) 鉄筋加工組立 1,000kg当り</p> <table border="1" data-bbox="433 558 1412 1115"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="6">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ケーソン製作用台船方式(FD)</th> <th colspan="2">陸上施工方式</th> <th colspan="3">海上打継方式</th> </tr> <tr> <th>ケーソン製作用台船方式(DD)</th> <th>貸与クレーン</th> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> <th>海上クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋</td> <td>異形棒鋼</td> <td>kg</td> <td colspan="6">1,030</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工組立</td> <td>クレーン抜き</td> <td>〃</td> <td colspan="2">1,000</td> <td colspan="3">1,000</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>日</td> <td>0.1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン またはクローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または起重機船</td> <td>非航旋回t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. FD方式以外に使用するクレーンの種類・規格は、「本節 2-3-2 クレーン類の種類・規格の選定」による。</p> <p>2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p> <p>3. 引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2 作業船と引船の標準組合せ」による。</p> <p>4. 現場条件により追加クレーンが必要な場合は、使用クレーンの費用を別途計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量						摘要	ケーソン製作用台船方式(FD)	陸上施工方式		海上打継方式			ケーソン製作用台船方式(DD)	貸与クレーン	陸上クレーン	貸与クレーン	海上クレーン	鉄筋	異形棒鋼	kg	1,030						割増しを含む	鉄筋加工組立	クレーン抜き	〃	1,000		1,000			市場単価	ラフテレーンクレーン	(油) 25t吊	日	0.1	-	-	-	-	標準運転時間	ラフテレーンクレーン またはクローラクレーン	(油) t吊	〃	-	0.2	-	0.2	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	-	0.2	-	0.2	-	クレーン付台船 または起重機船	非航旋回t吊	〃	-	-	-	-	0.2	運6H/就8H	引船	鋼D PS型	〃	-	-	-	-	0.2	運2H/就8H		
名称	形状寸法				単位	数量							摘要																																																																											
						ケーソン製作用台船方式(FD)	陸上施工方式		海上打継方式																																																																															
		ケーソン製作用台船方式(DD)	貸与クレーン	陸上クレーン			貸与クレーン	海上クレーン																																																																																
鉄筋	異形棒鋼	kg	1,030						割増しを含む																																																																															
鉄筋加工組立	クレーン抜き	〃	1,000		1,000			市場単価																																																																																
ラフテレーンクレーン	(油) 25t吊	日	0.1	-	-	-	-	標準運転時間																																																																																
ラフテレーンクレーン またはクローラクレーン	(油) t吊	〃	-	0.2	-	0.2	-	標準運転時間																																																																																
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	-	0.2	-	0.2	-																																																																																
クレーン付台船 または起重機船	非航旋回t吊	〃	-	-	-	-	0.2	運6H/就8H																																																																																
引船	鋼D PS型	〃	-	-	-	-	0.2	運2H/就8H																																																																																

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント										
<p>第3章4節 本工 4.1ケーソン式 3-4.1-27</p>	<p>2-9-3 吊鉄筋組立 2-9-3-1 代価表作成手順 [吊鉄筋現場組立の積算]</p> <div style="text-align: center;"> <p>吊鉄筋の種類 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吊鉄筋 (80mm未満) ・吊バー (80mm未満) <p>↓</p> <p>・施工場所 → 市場単価適用の検討 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場単価適用条件以外は、別途積算 <p>↓</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・クレーンの機種・規格「2-3-2」 → 主クレーンの機種の選定 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上クレーン ・貸与クレーン ・海上クレーン <p>↓</p> <p>[吊鉄筋・吊バーの積算]</p> <p>・吊鉄筋・吊バー単価 (工場加工費、運搬費含む) → 代価表の作成 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吊鉄筋・吊バー1本当り代価表 <p>↓</p> <p>[吊鉄筋・吊バー組立の積算]</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) クレーンの機種・規格「2-3-2」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 →</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り代価表 <p>2-9-3-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 吊鉄筋・吊バー 1本当り 注) 吊鉄筋・吊バー (80mm未満) は、材料費 (工場加工費及び運搬費含む) として計上する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吊鉄筋・吊バー</td> <td>φ mm、L= m</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	吊鉄筋・吊バー	φ mm、L= m	本	1			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要									
吊鉄筋・吊バー	φ mm、L= m	本	1										

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																		
第3章4節 本體工 4.1ケーソン式 3-4.1-28	(2) 吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り <table border="1" data-bbox="433 338 1409 791"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="6">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ケーソン製作用台船方式 (FD)</th> <th colspan="2">陸上施工方式</th> <th colspan="3">海上打継方式</th> </tr> <tr> <th>ケーソン製作用台船方式 (DD)</th> <th>貸与クレーン</th> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> <th>海上クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吊鉄筋・吊バー組立</td> <td>クレーン抜き</td> <td>kg</td> <td></td> <td>1,000</td> <td></td> <td>1,000</td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフデレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>非航旋回鋼D t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="433 804 1418 932"> 注) 1. クレーン類の種類・規格は、「本節 2-3-2 クレーン類の種類・規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3. 引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ」による。 4. 現場条件により追加クレーンが必要な場合は、使用クレーンの費用を別途計上する。 </p>	名称	形状寸法	単位	数量						摘要	ケーソン製作用台船方式 (FD)	陸上施工方式		海上打継方式			ケーソン製作用台船方式 (DD)	貸与クレーン	陸上クレーン	貸与クレーン	海上クレーン	吊鉄筋・吊バー組立	クレーン抜き	kg		1,000		1,000		市場単価	ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.2	-	0.2	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	日	-	-	0.2	-	0.2	-	クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼D t吊	日	-	-	-	-	0.2	運6H/就8H	引船	鋼D PS型	日	-	-	-	-	0.2	運2H/就8H		
名称	形状寸法				単位	数量							摘要																																																								
						ケーソン製作用台船方式 (FD)	陸上施工方式		海上打継方式																																																												
		ケーソン製作用台船方式 (DD)	貸与クレーン	陸上クレーン			貸与クレーン	海上クレーン																																																													
吊鉄筋・吊バー組立	クレーン抜き	kg		1,000		1,000		市場単価																																																													
ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.2	-	0.2	-	標準運転時間																																																													
貸与クレーン運転費	t吊	日	-	-	0.2	-	0.2	-																																																													
クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼D t吊	日	-	-	-	-	0.2	運6H/就8H																																																													
引船	鋼D PS型	日	-	-	-	-	0.2	運2H/就8H																																																													

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章4節 本體工 4.1ケーソン式 3-4.1-29</p>	<p>2-10 型枠 2-10-1 適用範囲 本項は、ケーソン製作用台船方式、陸上施工方式、海上打継方式のスライド方式による型枠組立組外に適用する。</p> <p>2-10-2 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーソン形状 ・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算 <li style="text-align: center;">↓ <li style="text-align: center;">【第4章 市場単価】 ・型枠施工規模 ・ケーソン種類 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 ②スリットケーソン補正係数 <li style="text-align: center;">↓ [ケーソン製作用台船方式の積算] (FD施工の場合) <ul style="list-style-type: none"> ・標準市場単価(クレーン抜き) ①施工規模補正係数 ②スリットケーソン補正係数 ・クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外 100m²当り代価表 (DD施工の場合) 陸上施工方式を適用する。 [陸上施工方式の積算] <ul style="list-style-type: none"> ・クレーンの機種・規格 「2-3-2」 ・貸与クレーンの有無 → 主クレーン機種の選定 → ・陸上クレーン ・貸与クレーン <li style="text-align: center;">↓ <ul style="list-style-type: none"> ・標準市場単価(クレーン抜き) ①施工規模補正係数 ②スリットケーソン補正係数 ・クレーンの機種・規格 または貸与クレーンの規格 → 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外 100m²当り代価表 [海上打継方式の積算] <ul style="list-style-type: none"> ・標準市場単価 ①施工規模補正係数 ②スリットケーソン補正係数 ・クレーン類の種類・規格 または貸与クレーンの規格 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外 100m²当り代価表 <p>2-10-3 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p style="margin-left: 40px;"> $\text{市場単価} = \text{標準市場単価} \times (1 + K_1) \times (1 + K_2) \quad (\text{小数1位切捨て})$ $\left. \begin{array}{l} K_1 : \text{施工規模補正係数} \\ K_2 : \text{スリットケーソン補正係数} \end{array} \right\} (\text{物価資料による})$ </p>		

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																	
<p>第3章4節 本土工 4.1ケーソン式 3-4.1-30</p>	<p>2) 代価表 (1) 鋼製型枠組立組外 100m²当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="6">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">陸上施工方式</th> <th colspan="3">海上打継方式</th> </tr> <tr> <th>ケーソン製作用台船方式 (FD)</th> <th>ケーソン製作用台船方式 (DD)</th> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> <th>海上クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製型枠組立組外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td colspan="3">100</td> <td colspan="3">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>日</td> <td>0.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>0.4</td> <td>-</td> <td>0.7</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.7</td> <td>-</td> <td>0.7</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回 鋼D t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.7</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.7</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. FD方式以外に使用するクレーンの種類・規格は、「本節 2-3-2 クレーン類の種類・規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3. 引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ」による。 4. 現場条件により追加クレーンが必要な場合は、使用クレーンの費用を別途計上する。</p> <p>2-11 コンクリート 2-11-1 適用範囲 本項は、ケーソン製作用台船方式、陸上施工方式、海上打継方式のコンクリート打設に適用する。</p> <p>2-11-2 代価表作成手順</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%;"> <p>・ケーソン形状 ・施工場所</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>→ 市場単価適用の検討 →</p> <p>↓</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>2-11-3</p> <p>→ 補正係数の選定 →</p> <p>↓</p> <p>→ 代価表の作成 →</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>・市場単価適用条件以外は、別途積算</p> <p>①施工規模補正係数</p> <p>・コンクリート打設 10m³当り代価表</p> </div> </div> <p>[ポンプ車方式]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%;"> <p>・コンクリート打設数量 (ポンプ車1日1台、1層当り平均打設数量)</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>→ 補正係数の選定 →</p> <p>↓</p> <p>→ 代価表の作成 →</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>①施工規模補正係数</p> <p>・コンクリート打設 10m³当り代価表</p> </div> </div> <p>2-11-3 施工歩掛 1) 市場単価の算定</p> <p style="margin-left: 20px;">市場単価 = 標準市場単価 × (1 + K) (小数1位切捨て) K: 施工規模補正係数 (物価資料による)</p> <p>2) 代価表 (1) コンクリート打設 10m³当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミキストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10.1</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリート打設</td> <td>ポンプ車</td> <td>日</td> <td>10</td> <td>市場単価</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) コンクリートの通常の養生費を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は別途計上する。</p>	名 称	形状寸法	単 位	数 量						摘 要	陸上施工方式		海上打継方式			ケーソン製作用台船方式 (FD)	ケーソン製作用台船方式 (DD)	陸上クレーン	貸与クレーン	陸上クレーン	貸与クレーン	海上クレーン	鋼製型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100			100			市場単価	ラフテレーンクレーン	(油) 25t吊	日	0.4	-	-	-	-	-	標準運転時間	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.4	-	0.7	-	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	日	-	-	0.7	-	0.7	-		クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	日	-	-	-	-	-	0.7	運6H/就8H	引 船	鋼D PS型	日	-	-	-	-	-	0.7	運2H/就8H	名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要	レディミキストコンクリート		m ³	10.1	割増しを含む	コンクリート打設	ポンプ車	日	10	市場単価		
名 称	形状寸法				単 位	数 量						摘 要																																																																																								
						陸上施工方式		海上打継方式																																																																																												
		ケーソン製作用台船方式 (FD)	ケーソン製作用台船方式 (DD)	陸上クレーン		貸与クレーン	陸上クレーン	貸与クレーン	海上クレーン																																																																																											
鋼製型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100			100			市場単価																																																																																											
ラフテレーンクレーン	(油) 25t吊	日	0.4	-	-	-	-	-	標準運転時間																																																																																											
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.4	-	0.7	-	-	標準運転時間																																																																																											
貸与クレーン運転費	t吊	日	-	-	0.7	-	0.7	-																																																																																												
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	日	-	-	-	-	-	0.7	運6H/就8H																																																																																											
引 船	鋼D PS型	日	-	-	-	-	-	0.7	運2H/就8H																																																																																											
名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要																																																																																																
レディミキストコンクリート		m ³	10.1	割増しを含む																																																																																																
コンクリート打設	ポンプ車	日	10	市場単価																																																																																																

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																									
<p>第3章4節 本体内工 4.2ブロック式 3-4.2-5</p>	<p>2. 本体ブロック製作工 本体ブロック製作工に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="430 357 1276 630"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th colspan="2">積算要素(レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">本体ブロック製作工</td> <td rowspan="2">底面</td> <td>ルーフィング敷設</td> <td>ルーフィング敷設 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>足場</td> <td>鋼製枠組足場架払 100m²当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄筋</td> <td>枠組足場架払</td> <td>内足場架払 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工組立</td> <td>鉄筋加工組立 1,000kg当り</td> </tr> <tr> <td>吊鉄筋組立</td> <td>吊鉄筋・吊バー 1本当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">型枠</td> <td>鉄筋・吊バー組立</td> <td>鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り</td> </tr> <tr> <td>型枠組立組外</td> <td>鋼製型枠組立組外 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>陸上コンクリート打設</td> <td>コンクリート打設 10m³当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-1 適用範囲 本項は、L型ブロック、セルラーブロック、本体方塊および蓋ブロックの製作工事に適用する。</p> <p>2-2 施工フロー</p>  <p>注) 本項の歩掛は、 の部分である。</p>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)		本体ブロック製作工	底面	ルーフィング敷設	ルーフィング敷設 100m ² 当り	足場	鋼製枠組足場架払 100m ² 当り	鉄筋	枠組足場架払	内足場架払 100m ² 当り	鉄筋加工組立	鉄筋加工組立 1,000kg当り	吊鉄筋組立	吊鉄筋・吊バー 1本当り	型枠	鉄筋・吊バー組立	鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り	型枠組立組外	鋼製型枠組立組外 100m ² 当り	コンクリート	陸上コンクリート打設	コンクリート打設 10m ³ 当り		
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)																										
本体ブロック製作工	底面	ルーフィング敷設	ルーフィング敷設 100m ² 当り																									
		足場	鋼製枠組足場架払 100m ² 当り																									
	鉄筋	枠組足場架払	内足場架払 100m ² 当り																									
		鉄筋加工組立	鉄筋加工組立 1,000kg当り																									
		吊鉄筋組立	吊鉄筋・吊バー 1本当り																									
	型枠	鉄筋・吊バー組立	鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り																									
型枠組立組外		鋼製型枠組立組外 100m ² 当り																										
コンクリート	陸上コンクリート打設	コンクリート打設 10m ³ 当り																										

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																										
<p>第3章4節 本土工 4.2ブロック式 3-4.2-6</p>	<p>2-3 クレーン規格の選定 2-3-1 機種・規格選定手順</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>・現場条件 ・ユニット質量とアウトリーチ (型枠等)</p> <p>→</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2-3-2</p> <p>クレーン規格の選定</p> <p>↑</p> <p>クレーン規格の変更</p> </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>→</p> <p>・ラフテレーンクレーンの規格または クローラクレーンの規格</p> </div> </div> <p>・コンクリート打設が クレーンの場合 →</p> <p>2-3-2 機種・規格の選定 クレーンの規格は、対象物(型枠等)の質量、アウトリーチ等の現場条件を考慮し、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業船等、1. 起重機船、クレーン等の規格と性能」により選定する。</p> <p>1) コンクリート打設がミキサー車またはポンプ車の場合 (1) 対象物：型枠</p> <p>2) コンクリート打設がクレーンの場合 (1) 対象物：型枠またはコンクリートバケット</p> <p>(2) クレーンの最低規格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラフテレーンクレーン：20t吊 ・クローラクレーン：35t吊 <p>2-4 底面 2-4-1 代価表作成手順</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>・施工場所</p> <p>→</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>市場単価適用の検討</p> <p>↓</p> <p>2-4-2</p> <p>下地処理材の検討</p> <p>↓</p> <p>代価表の作成</p> </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>→</p> <p>①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は 別途積算</p> <p>→</p> <p>②路盤紙の有無、数量 ③敷砂の有無、数量</p> <p>→</p> <p>・ルーフィング敷設 100m²当り代価表</p> </div> </div> <p>①標準市場単価 ②路盤紙の有無、数量 ③敷砂の有無、数量</p> <p>2-4-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) ルーフィング敷設 100m²当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>下地材料無し</th> <th>下地材料有り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ルーフィング敷設</td> <td></td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>路 盤 紙</td> <td></td> <td>〃</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>敷 砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 路盤紙を使用する場合の数量は、120m²計上する。 2. 敷砂を使用する場合の数量は、最初の1サイクル分のみを計上する。</p>	名 称	形状寸法	単 位	数 量		摘 要	下地材料無し	下地材料有り	ルーフィング敷設		m ²	100		市場単価	路 盤 紙		〃	-			敷 砂		m ³	-				
名 称	形状寸法				単 位	数 量		摘 要																					
		下地材料無し	下地材料有り																										
ルーフィング敷設		m ²	100		市場単価																								
路 盤 紙		〃	-																										
敷 砂		m ³	-																										

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																				
<p>第3章4節 本體工 4.2ブロック式 3-4.2-7</p>	<p>2-5 足場 2-5-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> 製作構造物の高さ → 足場積算計上の決定 → 2m以上の場合に計上 ↓ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 【第4章 市場単価】 2-5-2 【枠組足場架払の積算】 クレーンの種類・規格「2-3」 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン 貸与クレーンの使用の有無 → 貸与クレーン ↓ ブロック種類 → 市場単価の選定 → 標準市場単価(クレーン抜き) ↓ 標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → 鋼製枠組足場架払100m²当り代価表 クレーンの機種・規格「2-3」または貸与クレーンの機種・規格 【内足場架払の積算】 セルラーブロックの場合に適用し、枠組足場と同様の手順による。 <p>2-5-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鋼製枠組足場架払 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1144 1246 1375"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>枠組足場架払</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーンの機種・規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p> <p>(2) 内足場架払 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1497 1246 1728"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内足場架払</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーンの機種・規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上クレーン	貸与クレーン	枠組足場架払	クレーン抜き	m ²	100	100	市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.3	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.3		名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上クレーン	貸与クレーン	内足場架払	クレーン抜き	m ²	100	100	市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.3	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.3			
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																															
		陸上クレーン	貸与クレーン																																																				
枠組足場架払	クレーン抜き	m ²	100	100	市場単価																																																		
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.3	-	標準運転時間																																																		
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.3																																																			
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																		
			陸上クレーン	貸与クレーン																																																			
内足場架払	クレーン抜き	m ²	100	100	市場単価																																																		
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.3	-	標準運転時間																																																		
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.3																																																			

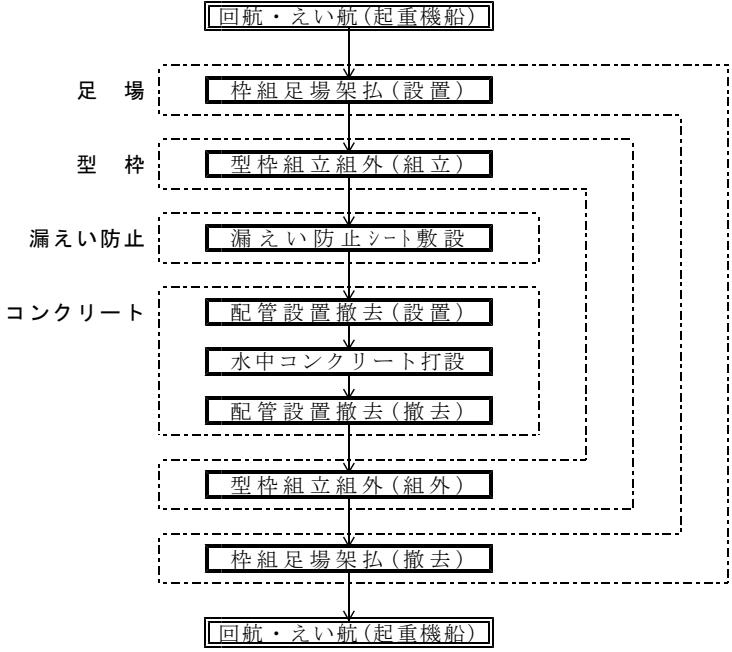
平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																
<p>第3章4節 本體工 4.2ブロック式 3-4.2-8</p>	<p>2-6 鉄筋 2-6-1 鉄筋加工組立 2-6-1-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋径 → 加工方法の選定 → ・38mm以上は別途算定 ↓ ・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 【第4章 市場単価】 ・クレーンの種類・規格「2-3」 ・貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → ・陸上クレーン ・貸与クレーン ↓ ・ブロック種類 → 市場単価の選定 → ・標準市場単価(クレーン抜き) ↓ ・標準市場単価(クレーン抜き) ・クレーンの機種・規格「2-3」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → ・鉄筋加工組立 1,000kg当り代価表 <p>2-6-1-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鉄筋加工組立 1,000kg当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1037 1270 1297"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋</td> <td>異形棒鋼</td> <td>kg</td> <td colspan="2">1,020</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工組立</td> <td>クレーン抜き</td> <td>〃</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフデレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.クレーンの機種・規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p>	名 称	形状寸法	単位	数 量		摘 要	陸上クレーン	貸与クレーン	鉄筋	異形棒鋼	kg	1,020		割増しを含む	鉄筋加工組立	クレーン抜き	〃	1,000	1,000	市場単価	ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.1	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.1			
名 称	形状寸法				単位	数 量		摘 要																											
		陸上クレーン	貸与クレーン																																
鉄筋	異形棒鋼	kg	1,020		割増しを含む																														
鉄筋加工組立	クレーン抜き	〃	1,000	1,000	市場単価																														
ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.1	-	標準運転時間																														
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.1																															

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																				
<p>第3章4節 本體工 4.2ブロック式 3-4.2-9</p>	<p>2-6-2 吊鉄筋組立 2-6-2-1 代価表作成手順 [吊鉄筋現場組立の積算]</p> <div style="text-align: center;"> <p>吊鉄筋の種類 → ・吊鉄筋(80mm未満) ・吊バー(80mm未満)</p> <p>↓</p> <p>・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は 別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・クレーンの種類・規格 「2-3」 → クレーン機種の選定 → ・陸上クレーン ・貸与クレーン</p> <p>↓</p> <p>[吊鉄筋・吊バーの積算]</p> <p>・吊鉄筋・吊バー単価 (工場加工費、運搬費含む) 「第2章1節 2-2-1 材料単価」 → 代価表の作成 → ・吊鉄筋・吊バー1本当り代価表</p> <p>↓</p> <p>[吊鉄筋・吊バー組立の積算]</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) → クレーンの機種・規格 「2-3」または 貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → ・吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り代価表</p> </div> <p>2-6-2-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 吊鉄筋・吊バー 1本当り 注) 吊鉄筋・吊バー(80mm未満)は、材料費(工場加工費及び運搬費含む)として計上する。</p> <table border="1" data-bbox="433 1224 1255 1333"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吊鉄筋・吊バー</td> <td>φ mm、L = m</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1415 1255 1671"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上 クレーン</th> <th>貸与 クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吊鉄筋・吊バー組立</td> <td>クレーン抜き</td> <td>kg</td> <td colspan="2">1,000</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>//</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーン類の機種・規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	吊鉄筋・吊バー	φ mm、L = m	本	1		名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上 クレーン	貸与 クレーン	吊鉄筋・吊バー組立	クレーン抜き	kg	1,000		市場単価	ラフクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.1	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	//	-	0.1			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																			
吊鉄筋・吊バー	φ mm、L = m	本	1																																				
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																		
			陸上 クレーン	貸与 クレーン																																			
吊鉄筋・吊バー組立	クレーン抜き	kg	1,000		市場単価																																		
ラフクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.1	-	標準運転時間																																		
貸与クレーン運転費	t吊	//	-	0.1																																			

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																								
<p>第3章4節 本工 4.2ブロック式 3-4.2-10</p>	<p>2-7 型 枠 2-7-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 【第4章 市場単価】 2-7-2 ・ 型枠施工規模 → 補正係数の選定 → ①施工規模補正係数 ↓ ・ クレーンの種類・規格「2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン ・ 貸与クレーン ↓ ・ 標準市場単価(クレーン抜き) ①施工規模補正係数 ・ クレーンの機種・規格「2-3」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → 鋼製型枠組立組外100m²当り代価表 <p>2-7-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鋼製型枠組立組外 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="427 861 1261 1081"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">本体方塊・蓋フロック</th> <th colspan="2">L型・セルラーフロック</th> </tr> <tr> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>型枠組立組外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフデレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.8</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>0.8</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーンの機種・規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p> <p>2-8 コンクリート 2-8-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 2-8-2 ・ 現場条件 → コンクリート打設方法の検討 → 打設方法 ポンプ車打設 クレーン打設 ミキサー車打設 ↓ 【第4章 市場単価】 2-8-3 [ポンプ車打設の積算] ・ コンクリート計画打設量 → 補正係数の検討 → ①施工規模補正係数 ↓ ・ 標準市場単価(ポンプ車) ①施工規模補正係数 → 代価表の作成 → コンクリート打設10m³当り代価表 [クレーン打設の積算] ・ クレーンの機種・規格「2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン ・ 貸与クレーン ↓ (陸上クレーン・貸与クレーンの積算) ・ 標準市場単価(クレーン抜き) ・ クレーンの機種・規格「2-3」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → コンクリート打設10m³当り代価表 [ミキサー車打設の積算] ・ 標準市場単価(ミキサー車) → 代価表の作成 → コンクリート打設10m³当り代価表 	名 称	形状寸法	単位	数 量				摘 要	本体方塊・蓋フロック		L型・セルラーフロック		陸上クレーン	貸与クレーン	陸上クレーン	貸与クレーン	型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100		100		市場単価	ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.8	-	0.9	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	日	-	0.8	-	0.9			
名 称	形状寸法				単位	数 量				摘 要																																	
						本体方塊・蓋フロック		L型・セルラーフロック																																			
		陸上クレーン	貸与クレーン	陸上クレーン		貸与クレーン																																					
型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100		100		市場単価																																				
ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.8	-	0.9	-	標準運転時間																																				
貸与クレーン運転費	t吊	日	-	0.8	-	0.9																																					

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																					
<p>第3章4節 本体内工 4.2ブロック式 3-4.2-11</p>	<p>2-8-2 施工方法の選定 コンクリート打設方法は、以下に示す3方法とし、現場条件等を考慮し選定する。</p> <table border="1" data-bbox="433 363 1279 543"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工区分</th> <th>現場条件等</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接打設</td> <td>ミキサー車</td> <td>・本体方塊、蓋ブロック ・ミキサー車が打設現場へ搬入可能 ・打設高さ(原則1.5m以下)</td> <td>条件を考慮の上決定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">間接打設</td> <td>ポンプ車</td> <td rowspan="2">・直接打設が困難な場合</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>クレーン</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-8-3 施工歩掛 1) 市場単価の算定 (1) ポンプ車打設の場合 市場単価は、1日当りコンクリート計画打設量(扱い量)により、下式で算定する。 $\text{市場単価} = \text{標準市場単価(ポンプ車)} \times (1 + K) \quad (\text{小数1位切捨て})$ K: 施工規模補正係数(物価資料による) (2) その他の打設方法の場合 ・市場単価=標準市場単価</p> <p>2) 代価表 (1) コンクリート打設 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="433 921 1234 1373"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ポンプ車</th> <th colspan="2">クレーン</th> <th rowspan="2">ミキサー車</th> </tr> <tr> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミキストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td colspan="4">10.1</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート打設</td> <td>ポンプ車</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>クレーン抜き</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ミキサー車</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーンの機種・規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は、別途計上する。</p>	施工区分		現場条件等	摘要	直接打設	ミキサー車	・本体方塊、蓋ブロック ・ミキサー車が打設現場へ搬入可能 ・打設高さ(原則1.5m以下)	条件を考慮の上決定する。	間接打設	ポンプ車	・直接打設が困難な場合		クレーン	名称	形状寸法	単位	数量				摘要	ポンプ車	クレーン		ミキサー車	陸上クレーン	貸与クレーン	レディミキストコンクリート		m ³	10.1				割増しを含む	コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	-	-	-	市場単価	クレーン抜き	〃	-	10	10	-	〃	ミキサー車	〃	-	-	-	10	〃	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.2	-	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	-	0.2	-		<p>2) 代価表 (1) コンクリート打設 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="1641 921 2442 1373"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ポンプ車</th> <th colspan="2">クレーン</th> <th rowspan="2">ミキサー車</th> </tr> <tr> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミキストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td colspan="4">10.1</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート打設</td> <td>ポンプ車</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>クレーン抜き</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ミキサー車</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>0.22</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.22</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーンの機種・規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は、別途計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量				摘要	ポンプ車	クレーン		ミキサー車	陸上クレーン	貸与クレーン	レディミキストコンクリート		m ³	10.1				割増しを含む	コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	-	-	-	市場単価	クレーン抜き	〃	-	10	10	-	〃	ミキサー車	〃	-	-	-	10	〃	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.22	-	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	-	0.22	-		
施工区分		現場条件等	摘要																																																																																																																																					
直接打設	ミキサー車	・本体方塊、蓋ブロック ・ミキサー車が打設現場へ搬入可能 ・打設高さ(原則1.5m以下)	条件を考慮の上決定する。																																																																																																																																					
間接打設	ポンプ車	・直接打設が困難な場合																																																																																																																																						
	クレーン																																																																																																																																							
名称	形状寸法	単位	数量				摘要																																																																																																																																	
			ポンプ車	クレーン		ミキサー車																																																																																																																																		
				陸上クレーン	貸与クレーン																																																																																																																																			
レディミキストコンクリート		m ³	10.1				割増しを含む																																																																																																																																	
コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	-	-	-	市場単価																																																																																																																																	
	クレーン抜き	〃	-	10	10	-	〃																																																																																																																																	
	ミキサー車	〃	-	-	-	10	〃																																																																																																																																	
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.2	-	-	標準運転時間																																																																																																																																	
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	-	0.2	-																																																																																																																																		
名称	形状寸法	単位	数量				摘要																																																																																																																																	
			ポンプ車	クレーン		ミキサー車																																																																																																																																		
				陸上クレーン	貸与クレーン																																																																																																																																			
レディミキストコンクリート		m ³	10.1				割増しを含む																																																																																																																																	
コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	-	-	-	市場単価																																																																																																																																	
	クレーン抜き	〃	-	10	10	-	〃																																																																																																																																	
	ミキサー車	〃	-	-	-	10	〃																																																																																																																																	
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.22	-	-	標準運転時間																																																																																																																																	
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	-	0.22	-																																																																																																																																		

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																	
<p>第3章4節 本體工 4.3場所打式 3-4.3-7</p>	<p>3. 水中コンクリート工 水中コンクリート工に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="424 363 1288 716"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>積算要素(レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">水中 コンクリート工</td> <td>足場</td> <td>枠組足場架払 鋼製枠組足場架払 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>型枠</td> <td>型枠組立組外 鋼製型枠組立組外 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>漏えい防止</td> <td>漏えい防止シート敷設 漏えい防止シート敷設 100m²当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水中コンクリート</td> <td rowspan="5">水中コンクリート打設</td> <td>水中コンクリート打設(ケーシング打設)10m³当り</td> </tr> <tr> <td>ケーシング損料 1式当り</td> </tr> <tr> <td>配管設置撤去 100m当り</td> </tr> <tr> <td>配管損料 1式当り</td> </tr> <tr> <td>水中コンクリート打設(ポンプ車直接打設)10m³当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-1 適用範囲 本項は、本體構造物を水中コンクリートにより施工する工事に適用する。</p> <p>3-2 施工フロー</p>  <p>注) 本項の歩掛は、水中コンクリート打設の部分である。</p> <p>3-3 足場 「4節 本體工、4.2 ブロック式、2-5 足場」を適用する。 なお、市場単価適用工種は「方塊製作」を適用する。</p>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)	水中 コンクリート工	足場	枠組足場架払 鋼製枠組足場架払 100m ² 当り	型枠	型枠組立組外 鋼製型枠組立組外 100m ² 当り	漏えい防止	漏えい防止シート敷設 漏えい防止シート敷設 100m ² 当り	水中コンクリート	水中コンクリート打設	水中コンクリート打設(ケーシング打設)10m ³ 当り	ケーシング損料 1式当り	配管設置撤去 100m当り	配管損料 1式当り	水中コンクリート打設(ポンプ車直接打設)10m ³ 当り		
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)																		
水中 コンクリート工	足場	枠組足場架払 鋼製枠組足場架払 100m ² 当り																		
	型枠	型枠組立組外 鋼製型枠組立組外 100m ² 当り																		
	漏えい防止	漏えい防止シート敷設 漏えい防止シート敷設 100m ² 当り																		
	水中コンクリート	水中コンクリート打設	水中コンクリート打設(ケーシング打設)10m ³ 当り																	
			ケーシング損料 1式当り																	
			配管設置撤去 100m当り																	
			配管損料 1式当り																	
			水中コンクリート打設(ポンプ車直接打設)10m ³ 当り																	

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																								
<p>第3章4節 本土工 4.3場所打式 3-4.3-8</p>	<p>3-4 型 枠 3-4-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> 型枠設置・撤去クレーン類の設置場所 → 施工区分の選定 → ①施工区分 (陸上、海上施工) ①施工区分・供用係数 → 3-4-2 供用日数の算定 → ②型枠供用日数 ②型枠供用日数・搬入型枠面積・型枠全面積・1日当り型枠使用料 → 型枠賃料の算定 → ③鋼製型枠賃料単価 現場条件・型枠質量、アウトリーチ等 → クレーン類の決定 → ④クレーン類の種類・規格 (陸上施工の場合) 材料置場の有無 → 台船の計上の検討 → ⑤必要な場合は、台船、引船を計上 (海上施工の場合) ④起重機船等船種・規格 → 引船規格の決定 → ⑥引船の規格 ①施工区分・③鋼製型枠賃料単価・④クレーン類の種類・規格・⑤台船、引船の有無・⑥引船の規格・供用係数 → 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外100㎡当り代価表 <p>3-4-2 施工歩掛 1) 型枠賃料の算定</p> $\text{鋼製型枠賃料単価} = \frac{a \times P}{A} \quad (\text{円}/\text{m}^2) \quad (\text{小数3位切捨て})$ <p>a : 搬入型枠面積 (m²) P : 1現場当り型枠賃料 (円/m²) 型枠1枚1日当り賃料 × d + 型枠1枚当り基本料 $P = \frac{\text{型枠1枚1日当り賃料} \times d + \text{型枠1枚当り基本料}}{\text{型枠1枚当り面積}} \quad (\text{小数3位切捨て})$ d : 型枠供用日数(日) ※供用日数が30日未満の場合は30日とする。 d = C_m × サイクル数 + 搬入・搬出日数(2日) (小数1位切上げ) A : 型枠全面積 (m²) ・1サイクル当り供用日数の算定 C_m = (C_{m'} - K) × M + K (小数2位四捨五入) C_m : 1サイクル当り供用日数(日) K : 養生日数(2日) M : 陸上施工の場合 ; 1.65 海上施工の場合 ; α (供用係数) C_{m'} : 1サイクル当り基本日数(日)</p> <table border="1" data-bbox="498 1470 1234 1549"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養 生</th> <th>型枠外し</th> <th>C_{m'}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 数</td> <td>3.0</td> <td><u>1.0</u></td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td><u>7.0</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 消耗費 消耗費は、型枠用金具、組立支保材、剥離剤、型枠用合板および溶接材料の費用であり、労務費の15%とする。</p> <p>3) クレーン類の規格の選定 クレーン類の規格は、型枠質量、アウトリーチ等の現場条件を考慮し、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、1. 起重機船、クレーン等の規格と性能」により決定する。</p>	内 容	型枠組立	コンクリート打設	養 生	型枠外し	C _{m'}	日 数	3.0	<u>1.0</u>	2.0	1.0	<u>7.0</u>	<p>3-4-2 施工歩掛 1) 型枠賃料の算定</p> $\text{鋼製型枠賃料単価} = \frac{a \times P}{A} \quad (\text{円}/\text{m}^2) \quad (\text{小数3位切捨て})$ <p>a : 搬入型枠面積 (m²) P : 1現場当り型枠賃料 (円/m²) 型枠1枚1日当り賃料 × d + 型枠1枚当り基本料 $P = \frac{\text{型枠1枚1日当り賃料} \times d + \text{型枠1枚当り基本料}}{\text{型枠1枚当り面積}} \quad (\text{小数3位切捨て})$ d : 型枠供用日数(日) ※供用日数が30日未満の場合は30日とする。 d = C_m × サイクル数 + 搬入・搬出日数(2日) (小数1位切上げ) A : 型枠全面積 (m²) ・1サイクル当り供用日数の算定 C_m = (C_{m'} - K) × M + K (小数2位四捨五入) C_m : 1サイクル当り供用日数(日) K : 養生日数(2日) M : 陸上施工の場合 ; 1.65 海上施工の場合 ; α (供用係数) C_{m'} : 1サイクル当り基本日数(日)</p> <table border="1" data-bbox="1706 1470 2442 1549"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養 生</th> <th>型枠外し</th> <th>C_{m'}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 数</td> <td>3.0</td> <td><u>1.11</u></td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td><u>7.11</u></td> </tr> </tbody> </table>	内 容	型枠組立	コンクリート打設	養 生	型枠外し	C _{m'}	日 数	3.0	<u>1.11</u>	2.0	1.0	<u>7.11</u>	<p>コメント</p>
内 容	型枠組立	コンクリート打設	養 生	型枠外し	C _{m'}																						
日 数	3.0	<u>1.0</u>	2.0	1.0	<u>7.0</u>																						
内 容	型枠組立	コンクリート打設	養 生	型枠外し	C _{m'}																						
日 数	3.0	<u>1.11</u>	2.0	1.0	<u>7.11</u>																						

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																		
<p>第3章4節 本工 4.3場所打式 3-4.3-9</p>	<p>4) 代価表 (1) 鋼製型枠組立組外 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 344 1368 940"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上施工</th> <th>海上施工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td rowspan="2">(油) t吊</td> <td rowspan="2">日</td> <td colspan="2">1.4</td> <td>標準運転時間(組立・解体用)</td> </tr> <tr> <td>2.6</td> <td>-</td> <td>(設置・撤去用)</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 兼積載D t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1.9</td> <td>運6H/就8H(設置・撤去用)</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1.9</td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>台船</td> <td>鋼100t積</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D200PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>日</td> <td colspan="2">2.2</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">5.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型枠工</td> <td></td> <td>日</td> <td colspan="2">9.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td colspan="2">4.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td colspan="2">17.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型枠賃料</td> <td></td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗費</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">15</td> <td>労務費の%</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーン類の種類・規格は、現場条件により決定する。なお、起重機船等を使用する場合の引船の規格は、(3)クレーン類の規格の選定による。 2. 陸上施工で現場に材料置場がない場合は、台船、引船を各1.9日計上することができる。</p> <p>3-5-5 漏えい防止 3-5-1 代価表作成手順</p> <p>3-5-2 ・供用係数 → 代価表の作成 → 漏えい防止シート敷設 100m²代価表</p> <p>3-5-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 漏えい防止シート敷設 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1188 1234 1356"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シート</td> <td></td> <td>m²</td> <td>130</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 運転</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 本表には砂袋等の根固め作業を含む。</p> <p>3-6-6 水中コンクリート 3-6-1 代価表作成手順 [水中コンクリート打設の積算]</p> <p>3-6-2 ・現場条件等 → 打設方法の選定 → 打設方法 間接打設(ケーシング) 直接打設(ポンプ車)</p> <p>[間接打設(ケーシング)の積算]</p> <p>3-6-3 ・型枠工使用クレーン → クレーン類の決定 → ①クレーン類の種類・規格 (海上:引船を含む)</p> <p>3-6-3 ①クレーン類の種類・規格 → 代価表の作成 → 水中コンクリート打設 (ケーシング打設)10m²当り代価表 ・供用係数</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上施工	海上施工	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1.4		標準運転時間(組立・解体用)	2.6	-	(設置・撤去用)	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 兼積載D t吊	日	-	1.9	運6H/就8H(設置・撤去用)	引船	鋼D PS型	日	-	1.9	運4H/就8H	台船	鋼100t積	日	-	-	就業8H	引船	鋼D200PS型	日	-	-	運4H/就8H	潜水士船	D180PS型 3~5t吊	日	2.2		就業8H	世話役		人	5.2			型枠工		日	9.1			特殊作業員		日	4.4			普通作業員		日	17.0			型枠賃料		m ²	100			消耗費		%	15		労務費の%	雑材料						名称	形状寸法	単位	数量	摘要	シート		m ²	130	割増しを含む	潜水士船 運転	D180PS型 3~5t吊	日	0.5	就業8H	普通作業員		人	1.3		雑材料						コメント
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																																													
		陸上施工	海上施工																																																																																																																		
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1.4		標準運転時間(組立・解体用)																																																																																																																
			2.6	-	(設置・撤去用)																																																																																																																
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 兼積載D t吊	日	-	1.9	運6H/就8H(設置・撤去用)																																																																																																																
引船	鋼D PS型	日	-	1.9	運4H/就8H																																																																																																																
台船	鋼100t積	日	-	-	就業8H																																																																																																																
引船	鋼D200PS型	日	-	-	運4H/就8H																																																																																																																
潜水士船	D180PS型 3~5t吊	日	2.2		就業8H																																																																																																																
世話役		人	5.2																																																																																																																		
型枠工		日	9.1																																																																																																																		
特殊作業員		日	4.4																																																																																																																		
普通作業員		日	17.0																																																																																																																		
型枠賃料		m ²	100																																																																																																																		
消耗費		%	15		労務費の%																																																																																																																
雑材料																																																																																																																					
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																	
シート		m ²	130	割増しを含む																																																																																																																	
潜水士船 運転	D180PS型 3~5t吊	日	0.5	就業8H																																																																																																																	
普通作業員		人	1.3																																																																																																																		
雑材料																																																																																																																					

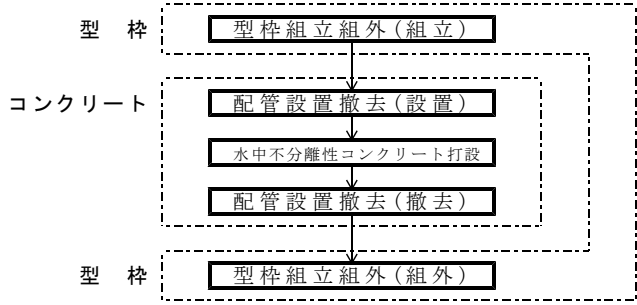
掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント									
第3章4節 本土工 4.3場所打式 3-4.3-10	<p>[ケーシング損料の積算]</p> <p>3-6-3 ・型枠供用日数 (3-4-2) → 代価表の作成 → ケーシング損料 1式当り代価表</p> <p>[配管設置撤去の積算]</p> <p>3-6-3 ・配管長さ → 配管設置撤去の計上の検討 → 標準配管長以上の場合に計上</p> <p>↓</p> <p>・型枠工使用クレーン → クレーン類の決定 → ①クレーン類の種類・規格 (海上：引船含む)</p> <p>↓</p> <p>・現場条件 → 海上配管受材の検討 → ・必要な場合は別途計上</p> <p>3-6-3 ①クレーン類の種類・規格 (海上：引船含む) → 代価表の作成 → ・配管設置撤去 100m当り代価表 ・供用係数</p> <p>[配管損料の積算]</p> <p>3-6-3 ・配管数量 → 代価表の作成 → ・配管損料 1式当り代価表 ・打設日数 (供用日数)</p> <p>[直接打設 (ポンプ車) の積算]</p> <p>3-6-3 ・1日当り打設量 → 代価表の作成 → ・水中コンクリート打設 (ポンプ車直接打設) 10m³当り代価表 ・供用係数</p> <p>3-6-2 施工方式</p> <p>1) コンクリートの種類 コンクリートは、レディーミクストコンクリートを標準とする。</p> <p>2) 施工方法 (1) 水中コンクリート打設 水中コンクリートの打設方式は、下表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="421 1213 1267 1331"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>使用条件等</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>間接打設</td> <td>ケーシング 標準</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直接打設</td> <td>ポンプ車 施工規模が小さく間接打設による必要がない場合</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>[打設方法概要図]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="332 1373 816 1705"> <p>(ケーシング)</p> </div> <div data-bbox="884 1373 1368 1705"> <p>(ポンプ車)</p> </div> </div>	区分	使用条件等	摘要	間接打設	ケーシング 標準		直接打設	ポンプ車 施工規模が小さく間接打設による必要がない場合			
区分	使用条件等	摘要										
間接打設	ケーシング 標準											
直接打設	ポンプ車 施工規模が小さく間接打設による必要がない場合											

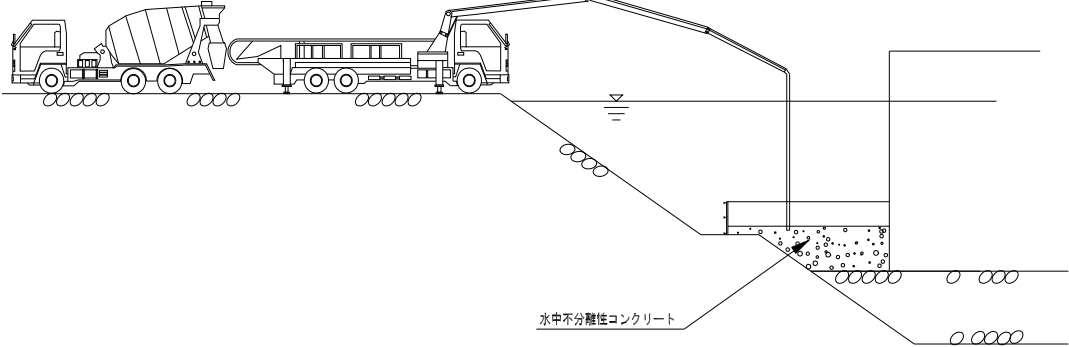
平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																																																								
第3章4節 本土工 4.3場所打式 3-4.3-10	<p>3-6-3 施工歩掛 1) ケーシング損料 (1) ケーシングの規格</p> <table border="1" data-bbox="442 386 1288 453"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>形状寸法等</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケーシング</td> <td>φ400mm</td> <td>架台を含む</td> </tr> </tbody> </table>	品名	形状寸法等	摘要	ケーシング	φ400mm	架台を含む																																																																																																																																																																																																				
品名	形状寸法等	摘要																																																																																																																																																																																																									
ケーシング	φ400mm	架台を含む																																																																																																																																																																																																									
3-4.3-11	<p>(2) ケーシング損料の算定 ケーシング損料=(ケーシング1日当り損料)×ケーシング延長×d ただし、ケーシング1日当り損料には架台を含み、別途算定する。</p> <p>d: ケーシング供用日数(日) $d = C_m \times \text{サイクル数} + \text{搬入・搬出日数}(2日)$ (小数1位切上げ)</p> <p>・1サイクル当り供用日数の算定 $C_m = (C_m' - K - L) \times M$ (小数2位四捨五入) C_m: 1サイクル当り供用日数(日) K: 養生日数(2日) L: 型枠外し日数(1日) M: 陸上施工の場合: 1.65 海上施工の場合: α(供用係数) C_m': 1サイクル当り基本日数(日)</p> <table border="1" data-bbox="486 800 1222 858"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠外し</th> <th>C_m'</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日数</td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>7.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 代乗率 (1) 代乗率コンクリート打設(ケーシング打設) 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="427 940 1409 1476"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="3">設計日当打設量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th>50m³未満</th> <th>50m³以上 100m³未満</th> <th>100m³以上</th> </tr> <tr> <th colspan="3">標準日打設量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>33</td> <td>68</td> <td>165</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>"</td> <td>(0.2)</td> <td>(0.1)</td> <td>(0.1)</td> <td>標準運転時間 注)3.参照</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 非航旋回鋼D t吊</td> <td>"</td> <td>(0.2)</td> <td>(0.1)</td> <td>(0.1)</td> <td>運6H/就8H 注)3.参照</td> </tr> <tr> <td>引船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>(0.2)</td> <td>(0.1)</td> <td>(0.1)</td> <td>運2H/就8H 注)3.参照</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 "</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>"</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>1.1</td> <td>0.6</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 水中コンクリートは、雑材料の対象としない。 2. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生が必要な場合は、別途計上する。 3. クレーン類および引船は、必要な場合に計上する。 4. クレーン類の種類・規格および引船の規格は、「本節 3-4 型枠、3-4-2 施工歩掛、3) クレーン類の規格の選定」による。</p> <p>(2) ケーシング損料 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="427 1625 1409 1684"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケーシング</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>架台を含む</td> </tr> </tbody> </table>	内容	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠外し	C _m '	日数	3.0	1.0	2.0	1.0	7.0	名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要	50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上	標準日打設量			水中コンクリート		m ³	33	68	165	割増しを含む	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.2	0.1	0.1	標準運転時間	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	"	(0.2)	(0.1)	(0.1)	標準運転時間 注)3.参照	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	(0.2)	(0.1)	(0.1)	運6H/就8H 注)3.参照	引船 "	鋼D PS型	"	(0.2)	(0.1)	(0.1)	運2H/就8H 注)3.参照	潜水士船 "	D180PS型 3~5t吊	"	0.2	0.1	0.1	就業8H	世話役		人	0.3	0.2	0.1		特殊作業員		"	0.4	0.2	0.1		普通作業員		"	1.1	0.6	0.2		雑材料							名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ケーシング		式	1	架台を含む	<p>(2) ケーシング損料の算定 ケーシング損料=(ケーシング1日当り損料)×ケーシング延長×d ただし、ケーシング1日当り損料には架台を含み、別途算定する。</p> <p>d: ケーシング供用日数(日) $d = C_m \times \text{サイクル数} + \text{搬入・搬出日数}(2日)$ (小数1位切上げ)</p> <p>・1サイクル当り供用日数の算定 $C_m = (C_m' - K - L) \times M$ (小数2位四捨五入) C_m: 1サイクル当り供用日数(日) K: 養生日数(2日) L: 型枠外し日数(1日) M: 陸上施工の場合: 1.65 海上施工の場合: α(供用係数) C_m': 1サイクル当り基本日数(日)</p> <table border="1" data-bbox="1673 800 2410 858"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠外し</th> <th>C_m'</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日数</td> <td>3.0</td> <td>1.11</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td>7.11</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 代乗率 (1) 代乗率コンクリート打設(ケーシング打設) 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="1614 940 2597 1476"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="3">設計日当打設量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th>50m³未満</th> <th>50m³以上 100m³未満</th> <th>100m³以上</th> </tr> <tr> <th colspan="3">標準日打設量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>30</td> <td>61</td> <td>149</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.22</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>"</td> <td>(0.22)</td> <td>(0.11)</td> <td>(0.11)</td> <td>標準運転時間 注)3.参照</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 非航旋回鋼D t吊</td> <td>"</td> <td>(0.22)</td> <td>(0.11)</td> <td>(0.11)</td> <td>運6H/就8H 注)3.参照</td> </tr> <tr> <td>引船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>(0.22)</td> <td>(0.11)</td> <td>(0.11)</td> <td>運2H/就8H 注)3.参照</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 "</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>"</td> <td>0.22</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.33</td> <td>0.22</td> <td>0.11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.44</td> <td>0.22</td> <td>0.11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>1.22</td> <td>0.67</td> <td>0.22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 水中コンクリートは、雑材料の対象としない。 2. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生が必要な場合は、別途計上する。 3. クレーン類および引船は、必要な場合に計上する。 4. クレーン類の種類・規格および引船の規格は、「本節 3-4 型枠、3-4-2 施工歩掛、3) クレーン類の規格の選定」による。</p>	内容	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠外し	C _m '	日数	3.0	1.11	2.0	1.0	7.11	名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要	50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上	標準日打設量			水中コンクリート		m ³	30	61	149	割増しを含む	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.22	0.11	0.11	標準運転時間	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	"	(0.22)	(0.11)	(0.11)	標準運転時間 注)3.参照	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	(0.22)	(0.11)	(0.11)	運6H/就8H 注)3.参照	引船 "	鋼D PS型	"	(0.22)	(0.11)	(0.11)	運2H/就8H 注)3.参照	潜水士船 "	D180PS型 3~5t吊	"	0.22	0.11	0.11	就業8H	世話役		人	0.33	0.22	0.11		特殊作業員		"	0.44	0.22	0.11		普通作業員		"	1.22	0.67	0.22		雑材料							
内容	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠外し	C _m '																																																																																																																																																																																																						
日数	3.0	1.0	2.0	1.0	7.0																																																																																																																																																																																																						
名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要																																																																																																																																																																																																					
			50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上																																																																																																																																																																																																						
			標準日打設量																																																																																																																																																																																																								
水中コンクリート		m ³	33	68	165	割増しを含む																																																																																																																																																																																																					
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.2	0.1	0.1	標準運転時間																																																																																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	"	(0.2)	(0.1)	(0.1)	標準運転時間 注)3.参照																																																																																																																																																																																																					
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	(0.2)	(0.1)	(0.1)	運6H/就8H 注)3.参照																																																																																																																																																																																																					
引船 "	鋼D PS型	"	(0.2)	(0.1)	(0.1)	運2H/就8H 注)3.参照																																																																																																																																																																																																					
潜水士船 "	D180PS型 3~5t吊	"	0.2	0.1	0.1	就業8H																																																																																																																																																																																																					
世話役		人	0.3	0.2	0.1																																																																																																																																																																																																						
特殊作業員		"	0.4	0.2	0.1																																																																																																																																																																																																						
普通作業員		"	1.1	0.6	0.2																																																																																																																																																																																																						
雑材料																																																																																																																																																																																																											
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																							
ケーシング		式	1	架台を含む																																																																																																																																																																																																							
内容	型枠組立	コンクリート打設	養生	型枠外し	C _m '																																																																																																																																																																																																						
日数	3.0	1.11	2.0	1.0	7.11																																																																																																																																																																																																						
名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要																																																																																																																																																																																																					
			50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上																																																																																																																																																																																																						
			標準日打設量																																																																																																																																																																																																								
水中コンクリート		m ³	30	61	149	割増しを含む																																																																																																																																																																																																					
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.22	0.11	0.11	標準運転時間																																																																																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	"	(0.22)	(0.11)	(0.11)	標準運転時間 注)3.参照																																																																																																																																																																																																					
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回鋼D t吊	"	(0.22)	(0.11)	(0.11)	運6H/就8H 注)3.参照																																																																																																																																																																																																					
引船 "	鋼D PS型	"	(0.22)	(0.11)	(0.11)	運2H/就8H 注)3.参照																																																																																																																																																																																																					
潜水士船 "	D180PS型 3~5t吊	"	0.22	0.11	0.11	就業8H																																																																																																																																																																																																					
世話役		人	0.33	0.22	0.11																																																																																																																																																																																																						
特殊作業員		"	0.44	0.22	0.11																																																																																																																																																																																																						
普通作業員		"	1.22	0.67	0.22																																																																																																																																																																																																						
雑材料																																																																																																																																																																																																											

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																																										
第3章4節 本工 4.3場所打式 3-4.3-12	<p>(3) 配管設置撤去 100m当り</p> <table border="1" data-bbox="421 336 1400 617"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上施工</th> <th>海上施工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回鋼D t吊</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>0.5</td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船 運転</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>0.5</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.9</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.9</td> <td>5.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. コンクリートポンプ車から作業範囲30mを超える場合は、超えた部分の配管延長分について本歩掛を計上する。 2. 現場条件により、海上配管の受台(台船、支柱、方塊、鋼材等)を別途計上することができる。 3. クレーン類の種類・規格および引船の規格は、「本節 3-4 型 枠、3-4-2 施工歩掛、3) クレーン類の規格の選定」による。</p> <p>(4) 配管損料 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="421 861 1400 924"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管損料</td> <td>径125mm</td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 配管損料は、下式により算定する。 $\text{配管損料} = \text{配管延長(本数)} \times \left\{ \frac{\text{総打設量}}{\text{標準日打設量}} \times [\text{供用係数} \times \text{換算供用日当り損料}] \right\}$ ({ } は小数1位四捨五入、[] は小数3位切捨て、全体は小数1位切捨て) なお、配管延長(本数)は、施工形態を勘案の上、搬入すべき必要延長(必要本数)とする。 また、供用係数は船舶及び機械器具損料等の損料算定基準に記載の年間標準供用日数÷年間標準運転日数とする。 2. 施工条件により、上記算定により難しい場合は、実状把握のうえ別途考慮する。</p> <p>(5) 水中コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="421 1197 1400 1596"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="3">設計日当打設量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th>50m³未満</th> <th>50m³以上 100m³未満</th> <th>100m³以上</th> </tr> <tr> <th colspan="3">標準日打設量</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>31</td> <td>69</td> <td>180</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td colspan="3">10.6</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>〃 D180PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.9</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 水中コンクリートは、雑材料の対象としない。 2. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生が必要な場合は、別途計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上施工	海上施工	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	日	—	0.5	運4H/就8H	引船 運転	鋼D PS型	〃	—	0.5	運2H/就8H	世話役		人	0.9	1.4		普通作業員		〃	3.9	5.8		雑材料						名称	形状寸法	単位	数量	摘要	配管損料	径125mm	式	1		名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要	50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上	標準日打設量						31	69	180		水中コンクリート		m ³	10.6			割増しを含む	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.2	0.1	0.1	標準運転時間	潜水士船	〃 D180PS型 3~5t吊	〃	0.1	0.1	0.1	就業8H	世話役		人	0.3	0.1	0.1		特殊作業員		〃	0.4	0.2	0.1		普通作業員		〃	0.9	0.4	0.2		雑材料							<p>(5) 水中コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 1197 2576 1596"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="3">設計日当打設量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th>50m³未満</th> <th>50m³以上 100m³未満</th> <th>100m³以上</th> </tr> <tr> <th colspan="3">標準日打設量</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>28</td> <td>62</td> <td>162</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td colspan="3">10.6</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.22</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>〃 D180PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.33</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.44</td> <td>0.22</td> <td>0.11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.00</td> <td>0.44</td> <td>0.22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 水中コンクリートは、雑材料の対象としない。 2. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生が必要な場合は、別途計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要	50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上	標準日打設量						28	62	162		水中コンクリート		m ³	10.6			割増しを含む	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.22	0.11	0.11	標準運転時間	潜水士船	〃 D180PS型 3~5t吊	〃	0.11	0.11	0.11	就業8H	世話役		人	0.33	0.11	0.11		特殊作業員		〃	0.44	0.22	0.11		普通作業員		〃	1.00	0.44	0.22		雑材料							
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																					
		陸上施工	海上施工																																																																																																																																																																																										
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	日	—	0.5	運4H/就8H																																																																																																																																																																																								
引船 運転	鋼D PS型	〃	—	0.5	運2H/就8H																																																																																																																																																																																								
世話役		人	0.9	1.4																																																																																																																																																																																									
普通作業員		〃	3.9	5.8																																																																																																																																																																																									
雑材料																																																																																																																																																																																													
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																									
配管損料	径125mm	式	1																																																																																																																																																																																										
名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要																																																																																																																																																																																							
			50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上																																																																																																																																																																																								
			標準日打設量																																																																																																																																																																																										
			31	69	180																																																																																																																																																																																								
水中コンクリート		m ³	10.6			割増しを含む																																																																																																																																																																																							
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.2	0.1	0.1	標準運転時間																																																																																																																																																																																							
潜水士船	〃 D180PS型 3~5t吊	〃	0.1	0.1	0.1	就業8H																																																																																																																																																																																							
世話役		人	0.3	0.1	0.1																																																																																																																																																																																								
特殊作業員		〃	0.4	0.2	0.1																																																																																																																																																																																								
普通作業員		〃	0.9	0.4	0.2																																																																																																																																																																																								
雑材料																																																																																																																																																																																													
名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要																																																																																																																																																																																							
			50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上																																																																																																																																																																																								
			標準日打設量																																																																																																																																																																																										
			28	62	162																																																																																																																																																																																								
水中コンクリート		m ³	10.6			割増しを含む																																																																																																																																																																																							
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.22	0.11	0.11	標準運転時間																																																																																																																																																																																							
潜水士船	〃 D180PS型 3~5t吊	〃	0.11	0.11	0.11	就業8H																																																																																																																																																																																							
世話役		人	0.33	0.11	0.11																																																																																																																																																																																								
特殊作業員		〃	0.44	0.22	0.11																																																																																																																																																																																								
普通作業員		〃	1.00	0.44	0.22																																																																																																																																																																																								
雑材料																																																																																																																																																																																													

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																
<p>第3章4節 本土工 4.3場所打式 3-4.3-13</p>	<p>4. 水中不分離性コンクリート工 水中不分離性コンクリート工に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="433 363 1412 558"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>積算要素(レベル6)</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">水中不分離性 コンクリート工</td> <td>型 枠</td> <td>型枠組立組外</td> <td>「本節 4.3 場所打式」参照</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水中不分離性 コンクリート</td> <td rowspan="2">水中不分離性コンクリート打設</td> <td>配管設置撤去 100m当り</td> </tr> <tr> <td>配管損料 1式当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水中不分離性コンクリート打設 (ポンプ車直接打設) 10m³当り</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4-1 適用範囲 本項は、海中の構造物等で水中不分離性コンクリートを使用する本土工事に適用する。なお、現場条件に応じて漏えい防止シートを使用する場合は、「本節 4.3 場所打式、3. 水中コンクリート工」を適用する。</p> <p>4-2 施工フロー</p>  <p>注) 本項の歩掛は の部分である。</p> <p>4-3 型枠 「本節 4.3 場所打式、3. 水中コンクリート工、3-4 型 枠」を適用する。</p> <p>4-4 水中不分離性コンクリート工 4-4-1 代価表作成手順 [配管設置撤去の積算]</p> <p>・配管長さ → 4-4-3 配管設置撤去の計上の検討 → 標準配管長以上の場合に計上</p> <p>↓</p> <p>・クレーン類の種類・規格(海上：引船含む) ・供用係数 → 4-4-3 代 価 表 の 作 成 → 配管設置撤去 100m当り代価表</p> <p>↓</p> <p>[配管損料の積算]</p> <p>・配管数量 ・打設日数(供用日数) → 4-4-3 代 価 表 の 作 成 → 配管損料 1式当り代価表</p> <p>↓</p> <p>[水中不分離性コンクリート打設の積算]</p> <p>・1日当り打設量 ・水中不分離性混和剤等の添加場所 ・供用係数 → 4-4-3 代 価 表 の 作 成 → 水中不分離性コンクリート打設 (ポンプ車直接打設)10m³当り代価表</p>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)		水中不分離性 コンクリート工	型 枠	型枠組立組外	「本節 4.3 場所打式」参照	水中不分離性 コンクリート	水中不分離性コンクリート打設	配管設置撤去 100m当り	配管損料 1式当り			水中不分離性コンクリート打設 (ポンプ車直接打設) 10m ³ 当り			
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)																	
水中不分離性 コンクリート工	型 枠	型枠組立組外	「本節 4.3 場所打式」参照																
	水中不分離性 コンクリート	水中不分離性コンクリート打設	配管設置撤去 100m当り																
			配管損料 1式当り																
		水中不分離性コンクリート打設 (ポンプ車直接打設) 10m ³ 当り																	

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																										
<p>第3章4節 本土工 4.3場所打式 3-4.3-14</p>	<p>4-4-2 施工方式 1) コンクリートの種類 コンクリートは、水中不分離性コンクリートとする。</p> <p>2) 施工方法 (1) 水中不分離性コンクリート打設 水中不分離性コンクリートの打設方式は、コンクリートポンプ車による打設を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">[打設概要図]</p>  <p>4-4-3 施工歩掛 1) 代価表 (1) 配管設置撤去 「本節 4.3 場所打式、3. 水中コンクリート工、3-6-3 施工歩掛、2) 代価表、(3) 配管設置撤去」を適用する。</p> <p>(2) 配管損料 「本節 4.3 場所打式、3. 水中コンクリート工、3-6-3 施工歩掛、2) 代価表、(4) 配管損料」を適用する。</p> <p>(3) 水中不分離性コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1205 1412 1726"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="3">設計日当打設量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th>50m³未満</th> <th>50m³以上 100m³未満</th> <th>100m³以上</th> </tr> <tr> <th colspan="3">標準日打設量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中不分離性コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>31</td> <td>69</td> <td>180</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.9</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>水中不分離性 混和剤現場添加</td> <td>〃</td> <td>(0.3)</td> <td>(0.2)</td> <td>(0.1)</td> <td>注)2. 参照</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 水中不分離性コンクリートの単価は、水中不分離性混和剤費用を含む。 なお、コンクリート混練後の清掃等が必要な場合は別途計上する。 2. 水中不分離性混和剤等を現場で添加する場合に計上する。 3. 水中不分離性コンクリートは、雑材料の対象としない。 4. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生が必要な場合は別途計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要	50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上	標準日打設量			水中不分離性コンクリート		m ³	31	69	180	割増しを含む	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.2	0.1	0.1	標準運転時間	潜水士船	D180PS型 3~5t吊	〃	0.1	0.1	0.1	就業8H	世話役		人	0.3	0.1	0.1		特殊作業員		〃	0.4	0.2	0.1		普通作業員		〃	0.9	0.4	0.2		普通作業員	水中不分離性 混和剤現場添加	〃	(0.3)	(0.2)	(0.1)	注)2. 参照	雑材料							<p>(3) 水中不分離性コンクリート打設(ポンプ車直接打設) 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="1632 1205 2611 1726"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="3">設計日当打設量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th>50m³未満</th> <th>50m³以上 100m³未満</th> <th>100m³以上</th> </tr> <tr> <th colspan="3">標準日打設量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中不分離性コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>28</td> <td>62</td> <td>162</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.22</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.33</td> <td>0.11</td> <td>0.11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.44</td> <td>0.22</td> <td>0.11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.00</td> <td>0.44</td> <td>0.22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>水中不分離性 混和剤現場添加</td> <td>〃</td> <td>(0.33)</td> <td>(0.22)</td> <td>(0.11)</td> <td>注)2. 参照</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 水中不分離性コンクリートの単価は、水中不分離性混和剤費用を含む。 なお、コンクリート混練後の清掃等が必要な場合は別途計上する。 2. 水中不分離性混和剤等を現場で添加する場合に計上する。 3. 水中不分離性コンクリートは、雑材料の対象としない。 4. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生が必要な場合は別途計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要	50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上	標準日打設量			水中不分離性コンクリート		m ³	28	62	162	割増しを含む	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.22	0.11	0.11	標準運転時間	潜水士船	D180PS型 3~5t吊	〃	0.11	0.11	0.11	就業8H	世話役		人	0.33	0.11	0.11		特殊作業員		〃	0.44	0.22	0.11		普通作業員		〃	1.00	0.44	0.22		普通作業員	水中不分離性 混和剤現場添加	〃	(0.33)	(0.22)	(0.11)	注)2. 参照	雑材料							
名称	形状寸法				単位	設計日当打設量			摘要																																																																																																																																				
						50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満			100m ³ 以上																																																																																																																																			
		標準日打設量																																																																																																																																											
水中不分離性コンクリート		m ³	31	69	180	割増しを含む																																																																																																																																							
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.2	0.1	0.1	標準運転時間																																																																																																																																							
潜水士船	D180PS型 3~5t吊	〃	0.1	0.1	0.1	就業8H																																																																																																																																							
世話役		人	0.3	0.1	0.1																																																																																																																																								
特殊作業員		〃	0.4	0.2	0.1																																																																																																																																								
普通作業員		〃	0.9	0.4	0.2																																																																																																																																								
普通作業員	水中不分離性 混和剤現場添加	〃	(0.3)	(0.2)	(0.1)	注)2. 参照																																																																																																																																							
雑材料																																																																																																																																													
名称	形状寸法	単位	設計日当打設量			摘要																																																																																																																																							
			50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上																																																																																																																																								
			標準日打設量																																																																																																																																										
水中不分離性コンクリート		m ³	28	62	162	割増しを含む																																																																																																																																							
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.22	0.11	0.11	標準運転時間																																																																																																																																							
潜水士船	D180PS型 3~5t吊	〃	0.11	0.11	0.11	就業8H																																																																																																																																							
世話役		人	0.33	0.11	0.11																																																																																																																																								
特殊作業員		〃	0.44	0.22	0.11																																																																																																																																								
普通作業員		〃	1.00	0.44	0.22																																																																																																																																								
普通作業員	水中不分離性 混和剤現場添加	〃	(0.33)	(0.22)	(0.11)	注)2. 参照																																																																																																																																							
雑材料																																																																																																																																													

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																					
<p>第3章5節 被覆・根固工 3-5-23</p>	<p>5-2 根固ブロック製作 根固ブロック製作に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="457 348 1377 659"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th colspan="2">積算要素(レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">根固ブロック工</td> <td rowspan="7">根固ブロック製作</td> <td>ルーフィング敷設</td> <td>ルーフィング敷設 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>枠組足場架払</td> <td>鋼製枠組足場架払 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工組立</td> <td>鉄筋加工組立 1,000kg当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">吊鉄筋組立</td> <td>吊鉄筋・吊バー</td> <td>1本当り</td> </tr> <tr> <td>吊鉄筋・吊バー組立</td> <td>1,000kg当り</td> </tr> <tr> <td>型枠組立組外</td> <td>鋼製型枠組立組外 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>陸上コンクリート打設</td> <td>コンクリート打設 10m³当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2-1 適用範囲 本項は、根固ブロックを製作する工事に適用する。</p> <p>5-2-2 施工フロー</p> <p>注) 本項の歩掛は、 の部分である。</p>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)		根固ブロック工	根固ブロック製作	ルーフィング敷設	ルーフィング敷設 100m ² 当り	枠組足場架払	鋼製枠組足場架払 100m ² 当り	鉄筋加工組立	鉄筋加工組立 1,000kg当り	吊鉄筋組立	吊鉄筋・吊バー	1本当り	吊鉄筋・吊バー組立	1,000kg当り	型枠組立組外	鋼製型枠組立組外 100m ² 当り	陸上コンクリート打設	コンクリート打設 10m ³ 当り		
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)																						
根固ブロック工	根固ブロック製作	ルーフィング敷設	ルーフィング敷設 100m ² 当り																					
		枠組足場架払	鋼製枠組足場架払 100m ² 当り																					
		鉄筋加工組立	鉄筋加工組立 1,000kg当り																					
		吊鉄筋組立	吊鉄筋・吊バー	1本当り																				
			吊鉄筋・吊バー組立	1,000kg当り																				
		型枠組立組外	鋼製型枠組立組外 100m ² 当り																					
		陸上コンクリート打設	コンクリート打設 10m ³ 当り																					

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																										
<p>第3章5節 被覆・根固工 3-5-24</p>	<p>5-2-3 クレーン規格の選定 5-2-3-1 機種・規格選定手順</p> <p>5-2-3-2</p> <p>・現場条件 ・ユニット質量とアウトリーチ (型枠等) → クレーン規格の選定 → ・ラフテレーンクレーンの規格またはクローラクレーンの規格</p> <p>・コンクリート打設がクレーンの場合 → クレーン規格の変更 ↑</p> <p>5-2-3-2 機種・規格の選定 クレーンの規格は、対象物(型枠等)の質量、アウトリーチ等の現場条件を考慮し、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業船等、1. 起重機船、クレーン等の規格と性能」により選定する。</p> <p>1) コンクリート打設がミキサー車またはポンプ車の場合 (1) 対象物：型枠</p> <p>2) コンクリート打設がクレーンの場合 (1) 対象物：型枠またはコンクリートバケット</p> <p>3) クレーンの最低規格 ・ラフテレーンクレーン：25t吊 ・クローラクレーン：35t吊</p> <p>5-2-4 ルーフィング敷設 5-2-4-1 代価表作成手順</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>5-2-4-2</p> <p>・底面の状態 → 下地処理材の検討 → ②路盤紙の有無、数量 ③敷砂の有無、数量</p> <p>↓</p> <p>①標準市場単価 ②路盤紙の有無、数量 → 代価表の作成 → ・ルーフィング敷設 ③敷砂の有無、数量 100m²当り代価表</p> <p>5-2-4-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) ルーフィング敷設 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1192 1255 1388"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>下地材料無し</th> <th>下地材料有り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ルーフィング敷設</td> <td></td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>路 盤 紙</td> <td></td> <td>#</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>敷 砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 路盤紙を使用する場合の数量は、120m²計上する。 2. 敷砂を使用する場合の数量は、最初の1サイクル分のみを計上する。</p>	名 称	形状寸法	単 位	数 量		摘 要	下地材料無し	下地材料有り	ルーフィング敷設		m ²	100		市場単価	路 盤 紙		#	-			敷 砂		m ³	-				
名 称	形状寸法				単 位	数 量		摘 要																					
		下地材料無し	下地材料有り																										
ルーフィング敷設		m ²	100		市場単価																								
路 盤 紙		#	-																										
敷 砂		m ³	-																										

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																										
<p>第3章5節 被覆・根固工 3-5-25</p>	<p>5-2-5 鋼製枠組足場架払 5-2-5-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> 製作構造物の高さ → 足場積算計上の決定 → ・2m以上の場合に計上 ↓ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 【第4章 市場単価】 5-2-5-2 [枠組足場架払の積算] クレーンの種類・規格「5-2-3」 → クレーン機種の選定 → ・陸上クレーン ・貸与クレーンの使用の有無 → 貸与クレーン ↓ ブロック種類 → 市場単価の選定 → ・標準市場単価(クレーン抜き) ↓ 標準市場単価(クレーン抜き) クレーンの機種・規格「5-2-3」または 貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → ・鋼製枠組足場架払 100m²当り代価表 <p>5-2-5-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鋼製枠組足場架払 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 982 1246 1182"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>枠組足場架払</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーンの機種・規格は、「本節 5-2-3 クレーン規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上クレーン	貸与クレーン	枠組足場架払	クレーン抜き	m ²	100	100	市場単価	ラフクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.3	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.3			
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																					
		陸上クレーン	貸与クレーン																										
枠組足場架払	クレーン抜き	m ²	100	100	市場単価																								
ラフクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.3	-	標準運転時間																								
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.3																									

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																
<p>第3章5節 被覆・根固工 3-5-26</p>	<p>5-2-6 鉄筋加工組立 5-2-6-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋径 → 加工方法の選定 → ・38mm以上は別途算定 ↓ ・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ ・クレーンの種類・規格「5-2-3」 ・貸与クレーンの使用の有無 → 【第4章 市場単価】 クレーン機種の選定 → ・陸上クレーン ・貸与クレーン ↓ ・ブロック種類 → 市場単価の選定 → ・標準市場単価(クレーン抜き) ↓ ・標準市場単価(クレーン抜き) ・クレーンの機種・規格「5-2-3」または 貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → ・鉄筋加工組立 1,000kg当り代価表 <p>5-2-6-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鉄筋加工組立 1,000kg当り</p> <table border="1" data-bbox="439 961 1279 1192"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋</td> <td>異形棒鋼</td> <td>kg</td> <td colspan="2">1,020</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工組立</td> <td>クレーン抜き</td> <td>#</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>#</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーンの機種・規格は、「本節 5-2-3 クレーン規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p> <p>5-2-7 吊鉄筋・吊バー組立 5-2-7-1 代価表作成手順 【吊鉄筋現場組立の積算】</p> <ul style="list-style-type: none"> 吊鉄筋の種類 → ・吊鉄筋(80mm未満) ・吊バー(80mm未満) ↓ ・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ ・クレーンの種類・規格「5-2-3」 ・貸与クレーンの使用の有無 → 【第4章 市場単価】 クレーン機種の選定 → ・陸上クレーン ・貸与クレーン <p>【吊鉄筋・吊バーの積算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吊鉄筋・吊バー単価(工場加工費、運搬費含む) 「第2章1節 2-2-1 材料単価」 → 代価表の作成 → ・吊鉄筋・吊バー1本当り代価表 <p>【吊鉄筋・吊バー組立の積算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準市場単価(クレーン抜き) クレーンの機種・規格「5-2-3」または 貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → ・吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り代価表 	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上クレーン	貸与クレーン	鉄筋	異形棒鋼	kg	1,020		割増しを含む	鉄筋加工組立	クレーン抜き	#	1,000	1,000	市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.1	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	#	-	0.1			
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																											
		陸上クレーン	貸与クレーン																																
鉄筋	異形棒鋼	kg	1,020		割増しを含む																														
鉄筋加工組立	クレーン抜き	#	1,000	1,000	市場単価																														
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.1	-	標準運転時間																														
貸与クレーン運転費	t吊	#	-	0.1																															

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																														
<p>第3章5節 被覆・根固工 3-5-27</p>	<p>5-2-7-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 吊鉄筋・吊バー 1本当り</p> <table border="1" data-bbox="421 388 1243 459"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吊鉄筋・吊バー</td> <td>φ mm、L = m</td> <td>本</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 吊鉄筋・吊バー(80mm未満)は、材料費(工場加工費及び運搬費含む)として計上する。</p> <p>(2) 吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り</p> <table border="1" data-bbox="421 554 1243 779"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸 上 クレーン</th> <th>貸 与 クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吊鉄筋・吊バー組立</td> <td>クレーン抜き</td> <td>kg</td> <td colspan="2">1,000</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフデレッククレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>//</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーン類の機種・規格は、「本節 5-2-3 クレーン規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p> <p>5-2-8 鋼製型枠組立組外 5-2-8-1 代価表作成手順</p> <pre> graph TD A[・ 施工場所] --> B[市場単価適用の検討] B --> C[市場単価適用条件以外は 別途積算] B --> D["【第4章 市場単価】 2-7-2"] D --> E[・ 型枠施工規模] --> F[補正係数の選定] --> G[①施工規模補正係数] F --> H[・ クレーンの種類・規格 「5-2-3」 ・ 貸与クレーンの使用の有無] --> I[クレーン機種の選定] --> J[・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン] I --> K[・ 標準市場単価(クレーン抜き) ①施工規模補正係数 ・ クレーンの機種・規格 「5-2-3」または 貸与クレーンの機種・規格] --> L[代 価 表 の 作 成] --> M[・ 鋼製型枠組立組外 100m²当り代価表] </pre> <p>5-2-8-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鋼製型枠組立組外 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="421 1514 1243 1728"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸 上 クレーン</th> <th>貸 与 クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>型 枠 組 立 組 外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフデレッククレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.8</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>//</td> <td>-</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーンの機種・規格は、「本節 5-2-3 クレーン規格の選定」による。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	吊鉄筋・吊バー	φ mm、L = m	本	1		名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸 上 クレーン	貸 与 クレーン	吊鉄筋・吊バー組立	クレーン抜き	kg	1,000		市場単価	ラフデレッククレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.1	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	//	-	0.1		名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸 上 クレーン	貸 与 クレーン	型 枠 組 立 組 外	クレーン抜き	m ²	100		市場単価	ラフデレッククレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.8	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	//	-	0.8			
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要																																																													
吊鉄筋・吊バー	φ mm、L = m	本	1																																																														
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																												
			陸 上 クレーン	貸 与 クレーン																																																													
吊鉄筋・吊バー組立	クレーン抜き	kg	1,000		市場単価																																																												
ラフデレッククレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.1	-	標準運転時間																																																												
貸与クレーン運転費	t吊	//	-	0.1																																																													
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																												
			陸 上 クレーン	貸 与 クレーン																																																													
型 枠 組 立 組 外	クレーン抜き	m ²	100		市場単価																																																												
ラフデレッククレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.8	-	標準運転時間																																																												
貸与クレーン運転費	t吊	//	-	0.8																																																													

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント									
<p>第3章5節 被覆・根固工 3-5-28</p>	<p>5-2-9 コンクリート打設 5-2-9-1 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施工場所 → 市場単価適用の検討 → ・ 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 5-2-9-2 ・ 現場条件 → コンクリート打設法の検討 → ・ 打設方法 <ul style="list-style-type: none"> ポンプ車打設 クレーン打設 ミキサー車打設 ↓ 【第4章 市場単価】 2-8-3 [ポンプ車打設の積算] ・ コンクリート計画打設量 → 補正係数の検討 → ①施工規模補正係数 ↓ ・ 標準市場単価(ポンプ車) ①施工規模補正係数 → 代価表の作成 → ・ コンクリート打設 10m³当り代価表 [クレーン打設の積算] ・ クレーンの機種・規格「5-2-3」 → クレーン機種の選定 → ・ 陸上クレーン ・ 貸与クレーン ↓ (陸上クレーン・貸与クレーンの積算) ・ 標準市場単価(クレーン抜き) ・ クレーンの機種・規格「5-2-3」または 貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → ・ コンクリート打設 10m³当り代価表 [ミキサー車打設の積算] ・ 標準市場単価(ミキサー車) → 代価表の作成 → ・ コンクリート打設 10m³当り代価表 <p>5-2-9-2 施工方法の選定 コンクリート打設方法は、以下に示す3方法とし、現場条件等を考慮し選定する。</p> <table border="1" data-bbox="433 1289 1279 1470"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>現場条件等</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接打設</td> <td>ミキサー車 ・ 本体方塊、蓋ブロック ・ ミキサー車が打設現場へ搬入可能 ・ 打設高さ(原則1.5m以下)</td> <td>条件を考慮の上決定する。</td> </tr> <tr> <td>間接打設</td> <td>ポンプ車 クレーン ・ 直接打設が困難な場合</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工区分	現場条件等	摘要	直接打設	ミキサー車 ・ 本体方塊、蓋ブロック ・ ミキサー車が打設現場へ搬入可能 ・ 打設高さ(原則1.5m以下)	条件を考慮の上決定する。	間接打設	ポンプ車 クレーン ・ 直接打設が困難な場合			
施工区分	現場条件等	摘要										
直接打設	ミキサー車 ・ 本体方塊、蓋ブロック ・ ミキサー車が打設現場へ搬入可能 ・ 打設高さ(原則1.5m以下)	条件を考慮の上決定する。										
間接打設	ポンプ車 クレーン ・ 直接打設が困難な場合											

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																								
<p>第3章5節 被覆・根固工 3-5-29</p>	<p>5-2-9-3 施工歩掛 1) 市場単価の算定 (1) ポンプ車打設の場合 市場単価は、1日当りコンクリート計画打設量(扱ひ量)により、下式で算定する。</p> <p>・市場単価=標準市場単価(ポンプ車)×(1+K) (小数1位切捨て) K:施工規模補正係数(物価資料による)</p> <p>(2) その他の打設方法の場合 ・市場単価=標準市場単価</p> <p>2) 代価表 (1) コンクリート打設 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="442 646 1243 1066"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ポンプ車</th> <th colspan="2">クレーン</th> <th rowspan="2">ミキサー車</th> </tr> <tr> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミキストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td colspan="4">10.1</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート打設</td> <td>ポンプ車</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>クレーン抜き</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ミキサー車</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td><u>0.2</u></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td><u>0.2</u></td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.クレーンの機種・規格は、「本節 5-2-3 クレーン規格の選定」による。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3.コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は、別途計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量				摘要	ポンプ車	クレーン		ミキサー車	陸上クレーン	貸与クレーン	レディミキストコンクリート		m ³	10.1				割増しを含む	コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	-	-	-	市場単価	クレーン抜き	〃	-	10	10	-	〃	ミキサー車	〃	-	-	-	10	〃	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	<u>0.2</u>	-	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	-	<u>0.2</u>	-		<p>2) 代価表 (1) コンクリート打設 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="1629 621 2430 1050"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ポンプ車</th> <th colspan="2">クレーン</th> <th rowspan="2">ミキサー車</th> </tr> <tr> <th>陸上クレーン</th> <th>貸与クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミキストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td colspan="4">10.1</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート打設</td> <td>ポンプ車</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>クレーン抜き</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>-</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ミキサー車</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td><u>0.22</u></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>-</td> <td><u>0.22</u></td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.クレーンの機種・規格は、「本節 6-2-3 クレーン規格の選定」による。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3.コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は、別途計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量				摘要	ポンプ車	クレーン		ミキサー車	陸上クレーン	貸与クレーン	レディミキストコンクリート		m ³	10.1				割増しを含む	コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	-	-	-	市場単価	クレーン抜き	〃	-	10	10	-	〃	ミキサー車	〃	-	-	-	10	〃	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	<u>0.22</u>	-	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	-	<u>0.22</u>	-		
名称	形状寸法				単位	数量					摘要																																																																																																																
						ポンプ車	クレーン			ミキサー車																																																																																																																	
		陸上クレーン	貸与クレーン																																																																																																																								
レディミキストコンクリート		m ³	10.1				割増しを含む																																																																																																																				
コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	-	-	-	市場単価																																																																																																																				
	クレーン抜き	〃	-	10	10	-	〃																																																																																																																				
	ミキサー車	〃	-	-	-	10	〃																																																																																																																				
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	<u>0.2</u>	-	-	標準運転時間																																																																																																																				
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	-	<u>0.2</u>	-																																																																																																																					
名称	形状寸法	単位	数量				摘要																																																																																																																				
			ポンプ車	クレーン		ミキサー車																																																																																																																					
				陸上クレーン	貸与クレーン																																																																																																																						
レディミキストコンクリート		m ³	10.1				割増しを含む																																																																																																																				
コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	-	-	-	市場単価																																																																																																																				
	クレーン抜き	〃	-	10	10	-	〃																																																																																																																				
	ミキサー車	〃	-	-	-	10	〃																																																																																																																				
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	<u>0.22</u>	-	-	標準運転時間																																																																																																																				
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	-	<u>0.22</u>	-																																																																																																																					

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																
<p>第3章6節 上部工 3-6-6</p>	<p>2. 上部コンクリート工 上部コンクリート工に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="433 348 1389 1465"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th colspan="2">積算要素(レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">上部コンクリート工</td> <td rowspan="4">支 保</td> <td rowspan="4">支保組立組外</td> <td>支保組立組外(重力式) 100m当り</td> </tr> <tr> <td>支保組立組外(鋼矢板式) 100m当り</td> </tr> <tr> <td>支保組立組外(組杭式) 100m当り</td> </tr> <tr> <td>支保組立組外(栈橋式) 100m²当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">足 場</td> <td rowspan="3">枠組足場架払</td> <td>鋼製枠組足場架払(重力式) 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>〃 (鋼矢板式) 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>〃 (組杭式・栈橋式) 100m²当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄 筋</td> <td rowspan="2">鉄筋加工組立</td> <td>鉄筋加工組立 1,000kg当り</td> </tr> <tr> <td>溶 接</td> </tr> <tr> <td>溶接 1日(m)当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">型 枠</td> <td rowspan="6">型枠組立組外</td> <td>鋼製型枠組立組外(重力式) 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>〃 (鋼矢板式) 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>〃 (栈橋式) 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>木製型枠組立組外(重力式) 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>〃 (鋼矢板式) 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>〃 (栈橋式) 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>伸縮目地</td> <td>伸縮目地</td> <td>伸縮目地 100m²当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">コンクリート</td> <td rowspan="7">陸上コンクリート打設</td> <td>コンクリート打設 10m³当り</td> </tr> <tr> <td>自積ハケット打設 100m³当り</td> </tr> <tr> <td>台船ハケット打設 100m³当り</td> </tr> <tr> <td>コンクリートミキサー船打設 1,000m³当り</td> </tr> <tr> <td>コンクリートミキサー船拘束 1式当り</td> </tr> <tr> <td>材料接岸積込 1,000m³(コンクリート量)当り</td> </tr> <tr> <td>コンクリート打設 1,000m³当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">基礎砕石</td> <td>基礎砕石敷均し 10m³当り</td> </tr> <tr> <td>捨コンクリート 10m³当り</td> </tr> <tr> <td>コンクリート表面はつり 100m²当り</td> </tr> <tr> <td>補助ヤード施設</td> <td>補助ヤード施設</td> <td>補助ヤード施設 1式当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-1 適用範囲 本項は、場所打式による上部コンクリートの施工に適用する。</p> <p>2-2 施工区分 「陸上施工」とは、作業形態が主として陸上背後(既設構造物を含む)を陸上クレーン等の作業ヤードとして利用できる場合とする。 「海上施工」とは、上記以外の場合で、主として作業船で施工する場合とする。 ただし、陸上・海上の両方を有する工種については、その主たる区分を適用するものとする。なお、その主たる施工区分の選択は、1スパンあるいは1ブロックごととし、投影面積の多い施工区分を採用する。</p>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)		上部コンクリート工	支 保	支保組立組外	支保組立組外(重力式) 100m当り	支保組立組外(鋼矢板式) 100m当り	支保組立組外(組杭式) 100m当り	支保組立組外(栈橋式) 100m ² 当り	足 場	枠組足場架払	鋼製枠組足場架払(重力式) 100m ² 当り	〃 (鋼矢板式) 100m ² 当り	〃 (組杭式・栈橋式) 100m ² 当り	鉄 筋	鉄筋加工組立	鉄筋加工組立 1,000kg当り	溶 接	溶接 1日(m)当り	型 枠	型枠組立組外	鋼製型枠組立組外(重力式) 100m ² 当り	〃 (鋼矢板式) 100m ² 当り	〃 (栈橋式) 100m ² 当り	木製型枠組立組外(重力式) 100m ² 当り	〃 (鋼矢板式) 100m ² 当り	〃 (栈橋式) 100m ² 当り	伸縮目地	伸縮目地	伸縮目地 100m ² 当り	コンクリート	陸上コンクリート打設	コンクリート打設 10m ³ 当り	自積ハケット打設 100m ³ 当り	台船ハケット打設 100m ³ 当り	コンクリートミキサー船打設 1,000m ³ 当り	コンクリートミキサー船拘束 1式当り	材料接岸積込 1,000m ³ (コンクリート量)当り	コンクリート打設 1,000m ³ 当り	基礎砕石	基礎砕石敷均し 10m ³ 当り	捨コンクリート 10m ³ 当り	コンクリート表面はつり 100m ² 当り	補助ヤード施設	補助ヤード施設	補助ヤード施設 1式当り		
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)																																																	
上部コンクリート工	支 保	支保組立組外	支保組立組外(重力式) 100m当り																																																
			支保組立組外(鋼矢板式) 100m当り																																																
			支保組立組外(組杭式) 100m当り																																																
			支保組立組外(栈橋式) 100m ² 当り																																																
	足 場	枠組足場架払	鋼製枠組足場架払(重力式) 100m ² 当り																																																
			〃 (鋼矢板式) 100m ² 当り																																																
			〃 (組杭式・栈橋式) 100m ² 当り																																																
	鉄 筋	鉄筋加工組立	鉄筋加工組立 1,000kg当り																																																
			溶 接																																																
		溶接 1日(m)当り																																																	
	型 枠	型枠組立組外	鋼製型枠組立組外(重力式) 100m ² 当り																																																
			〃 (鋼矢板式) 100m ² 当り																																																
〃 (栈橋式) 100m ² 当り																																																			
木製型枠組立組外(重力式) 100m ² 当り																																																			
〃 (鋼矢板式) 100m ² 当り																																																			
〃 (栈橋式) 100m ² 当り																																																			
伸縮目地	伸縮目地	伸縮目地 100m ² 当り																																																	
コンクリート	陸上コンクリート打設	コンクリート打設 10m ³ 当り																																																	
		自積ハケット打設 100m ³ 当り																																																	
		台船ハケット打設 100m ³ 当り																																																	
		コンクリートミキサー船打設 1,000m ³ 当り																																																	
		コンクリートミキサー船拘束 1式当り																																																	
		材料接岸積込 1,000m ³ (コンクリート量)当り																																																	
		コンクリート打設 1,000m ³ 当り																																																	
	基礎砕石	基礎砕石敷均し 10m ³ 当り																																																	
		捨コンクリート 10m ³ 当り																																																	
		コンクリート表面はつり 100m ² 当り																																																	
補助ヤード施設	補助ヤード施設	補助ヤード施設 1式当り																																																	

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

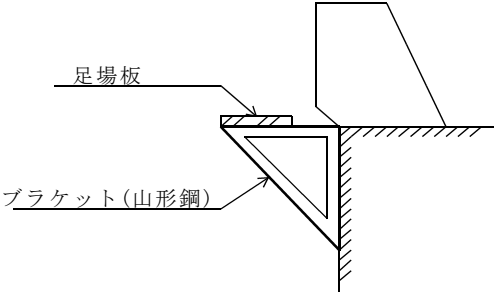
掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章6節 上部工 3-6-6</p>	<p>2-3 クレーン規格の選定 2-3-1 規格選定手順 クレーン機種・規格は、コンクリートの打設方法により以下の手順で選定する。</p> <p>・ 施工場所 ・ 作業形態等 → 施工方法の選定 →</p> <p style="margin-left: 150px;">A. ポンプ車打設 B. クレーン打設 C. ミキサー車打設 D. 自積バケット打設 E. 台船バケット打設 F. コンクリートミキサー船打設</p> <p>なお、コンクリート打設方法の選定は、「本節 2-12 コンクリート、2-12-1 打設方法の選定」による。</p>		
<p>3-6-7</p>	<p>[A. ポンプ車打設、C. ミキサー車打設の場合] 2-3-2</p> <p>・ 現場条件 ・ 1ユニット質量、アトリーチ (支保、足場、型枠質量等) → クレーンの決定 → ①クレーンの機種・規格</p> <p>[B. クレーン打設の場合] 2-3-2</p> <p>・ 現場条件 ・ 1ユニット質量、アトリーチ (コンクリートバケット、支保、型枠質量等) → クレーンの決定 → ①クレーンの機種・規格</p> <p>[D. 自積バケット打設の場合] 2-3-2</p> <p>・ 現場条件 ・ 1ユニット質量、アトリーチ (バケット、支保、型枠質量等) → 起重機船等の決定 → ②起重機船等の船種・規格</p> <p style="margin-left: 100px;">↓</p> <p>②起重機船等の船種・規格 → 引船規格の決定 → ③引船の規格</p> <p>[E. 台船バケット打設の場合] 2-12-3-2</p> <p>・ 1日当り打設規模 → バケットの選定 → ④コンクリートバケットの規格</p> <p style="margin-left: 100px;">↓</p> <p>④コンクリートバケットの規格 ・ 現場条件 ・ 1ユニット質量、アトリーチ (バケット、支保、型枠質量等) → 起重機船等の決定 → ②起重機船等の船種・規格</p> <p style="margin-left: 100px;">↓</p> <p>②起重機船等の船種・規格 → 引船規格の決定 → ③引船の規格</p> <p>[F. コンクリートミキサー船打設の場合] 2-3-2</p> <p>・ 現場条件 ・ 1ユニット質量、アトリーチ (支保、足場、型枠質量等) → 起重機船等の決定 → ②起重機船等の船種・規格</p> <p style="margin-left: 100px;">↓</p> <p>②起重機船等の船種・規格 → 引船規格の決定 → ③引船の規格</p>		

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント												
<p>第3章6節 上部工 3-6-8</p>	<p>2-3-2 クレーン類の規格の選定 クレーン類の規格は、対象物の質量、アウトリーチ等の現場条件を考慮し、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、1. 起重機船、クレーン等の規格と性能」により選定する。</p> <p>1) クレーン類の規格は共通とし、支保、足場、鉄筋、型枠、コンクリート運搬・打設において、各々選定された規格の最大規格とする。</p> <p>(1) 吊上げ対象質量</p> <table border="1" data-bbox="424 516 857 695"> <tr> <td>コンクリートバケット (1.5m³)</td> <td>4.2t</td> </tr> <tr> <td>コンクリートバケット (3.0m³)</td> <td>8.1t</td> </tr> <tr> <td>コンクリートバケット (5.0m³)</td> <td>13.4t</td> </tr> <tr> <td>型枠</td> <td>2.0t</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>2.0t</td> </tr> <tr> <td>足場</td> <td>2.0t</td> </tr> </table> <p>2-3-3 起重機船等と引船の組合せ 起重機船等と引船の組合せについては、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ」により選定する。</p>	コンクリートバケット (1.5m ³)	4.2t	コンクリートバケット (3.0m ³)	8.1t	コンクリートバケット (5.0m ³)	13.4t	型枠	2.0t	鉄筋	2.0t	足場	2.0t		
コンクリートバケット (1.5m ³)	4.2t														
コンクリートバケット (3.0m ³)	8.1t														
コンクリートバケット (5.0m ³)	13.4t														
型枠	2.0t														
鉄筋	2.0t														
足場	2.0t														

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																														
第3章6節 上部工 3-6-9	<p>2-4 供用日数の算定 足場、型枠の各賃料単価の算出に適用する供用日数は、下式により算定する。 $d = C_m \times \text{サイクル数(転用回数)} + \text{搬入・搬出日数(2日)}$ (小数1位切上げ) d : 供用日数(日) ※供用日数が30日未満の場合は30日とする。 C_m : 1サイクル当り供用日数(日) $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C_{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) K : 養生日数(日) M : 陸上施工の場合 ; 1.65 海上施工の場合 ; α (供用係数)</p> <p style="text-align: center;">1サイクル当り基本日数 (C_{m'})</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>構造形式</th> <th>支保立</th> <th>鉄筋立</th> <th>型枠立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠外</th> <th>支保外</th> <th>C_{m'}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重力式(無筋)</td> <td>0.5</td> <td>—</td> <td>2.0</td> <td><u>1.0</u></td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td><u>8</u></td> </tr> <tr> <td>重力式(鉄筋)</td> <td>0.5</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> <td><u>1.0</u></td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td><u>10.5</u></td> </tr> <tr> <td>鋼矢板式</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>3.0</td> <td><u>1.0</u></td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td><u>13</u></td> </tr> <tr> <td>栈橋式</td> <td>4.5</td> <td>7.5</td> <td>7.5</td> <td><u>1.0</u></td> <td>9.0</td> <td>3.0</td> <td>3.5</td> <td><u>36</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.組杭式は、鋼矢板式を適用する。 2.棚式は、構造形式を考慮し、別途設定する。 3.セル式の場合は、構造形式を考慮し、重力式、鋼矢板式または栈橋式を適用する。</p> <p>2-5 補助ヤード施設 2-5-1 適用範囲 陸上施工で、資機材置場の確保ができない場合、補助ヤード施設として台船を計上することができる。</p> <p>2-5-2 代価表作成手順</p> <pre> graph TD A["・施工場所 (資機材置場の有無)"] --> B["資機材置場の必要性 の検討"] B --> C["・必要な場合 補助ヤード施設を計上"] B --> D["2-5-3"] D --> E["・供用日数 ・供用係数"] E --> F["①運転日数"] F --> G["代 価 表 の 作 成"] G --> H["・補助ヤード施設 1式当り代価表"] </pre> <p>2-5-3 施工歩掛 1) 運転日数の算定 $D = d \div \alpha + \text{資材搬入・搬出日数(2日)}$ (小数2位四捨五入) D : 運転日数(日) d : 供用日数 $d = C_m \times \text{サイクル数}$ C_m : 1サイクル当り供用日数 α : 供用係数</p> <p>2) 代価表 (1) 補助ヤード施設 1式当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引 船 運 転</td> <td>鋼D200PS型</td> <td>日</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>台 船</td> <td>鋼100t積</td> <td>"</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 台船は、船員を計上しない。</p>	構造形式	支保立	鉄筋立	型枠立	コンクリート打設	養生	型枠外	支保外	C _{m'}	重力式(無筋)	0.5	—	2.0	<u>1.0</u>	3.0	1.0	0.5	<u>8</u>	重力式(鉄筋)	0.5	2.0	2.5	<u>1.0</u>	3.0	1.0	0.5	<u>10.5</u>	鋼矢板式	1.0	2.0	3.0	<u>1.0</u>	3.0	2.0	1.0	<u>13</u>	栈橋式	4.5	7.5	7.5	<u>1.0</u>	9.0	3.0	3.5	<u>36</u>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	引 船 運 転	鋼D200PS型	日		運2H/就8H	台 船	鋼100t積	"		就業8H	雑 材 料					<p>2-4 供用日数の算定 足場、型枠の各賃料単価の算出に適用する供用日数は、下式により算定する。 $d = C_m \times \text{サイクル数(転用回数)} + \text{搬入・搬出日数(2日)}$ (小数1位切上げ) d : 供用日数(日) ※供用日数が30日未満の場合は30日とする。 C_m : 1サイクル当り供用日数(日) $C_m = (C_m' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) C_{m'} : 1サイクル当り基本日数(日) K : 養生日数(日) M : 陸上施工の場合 ; 1.65 海上施工の場合 ; α (供用係数)</p> <p style="text-align: center;">1サイクル当り基本日数 (C_{m'})</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>構造形式</th> <th>支保立</th> <th>鉄筋立</th> <th>型枠立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養生</th> <th>型枠外</th> <th>支保外</th> <th>C_{m'}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重力式(無筋)</td> <td>0.5</td> <td>—</td> <td>2.0</td> <td><u>1.11</u></td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td><u>8.11</u></td> </tr> <tr> <td>重力式(鉄筋)</td> <td>0.5</td> <td>2.0</td> <td>2.5</td> <td><u>1.11</u></td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td><u>10.61</u></td> </tr> <tr> <td>鋼矢板式</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>3.0</td> <td><u>1.11</u></td> <td>3.0</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td><u>13.11</u></td> </tr> <tr> <td>栈橋式</td> <td>4.5</td> <td>7.5</td> <td>7.5</td> <td><u>1.11</u></td> <td>9.0</td> <td>3.0</td> <td>3.5</td> <td><u>36.11</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.組杭式は、鋼矢板式を適用する。 2.棚式は、構造形式を考慮し、別途設定する。 3.セル式の場合は、構造形式を考慮し、重力式、鋼矢板式または栈橋式を適用する。</p>	構造形式	支保立	鉄筋立	型枠立	コンクリート打設	養生	型枠外	支保外	C _{m'}	重力式(無筋)	0.5	—	2.0	<u>1.11</u>	3.0	1.0	0.5	<u>8.11</u>	重力式(鉄筋)	0.5	2.0	2.5	<u>1.11</u>	3.0	1.0	0.5	<u>10.61</u>	鋼矢板式	1.0	2.0	3.0	<u>1.11</u>	3.0	2.0	1.0	<u>13.11</u>	栈橋式	4.5	7.5	7.5	<u>1.11</u>	9.0	3.0	3.5	<u>36.11</u>	
構造形式	支保立	鉄筋立	型枠立	コンクリート打設	養生	型枠外	支保外	C _{m'}																																																																																																									
重力式(無筋)	0.5	—	2.0	<u>1.0</u>	3.0	1.0	0.5	<u>8</u>																																																																																																									
重力式(鉄筋)	0.5	2.0	2.5	<u>1.0</u>	3.0	1.0	0.5	<u>10.5</u>																																																																																																									
鋼矢板式	1.0	2.0	3.0	<u>1.0</u>	3.0	2.0	1.0	<u>13</u>																																																																																																									
栈橋式	4.5	7.5	7.5	<u>1.0</u>	9.0	3.0	3.5	<u>36</u>																																																																																																									
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要																																																																																																													
引 船 運 転	鋼D200PS型	日		運2H/就8H																																																																																																													
台 船	鋼100t積	"		就業8H																																																																																																													
雑 材 料																																																																																																																	
構造形式	支保立	鉄筋立	型枠立	コンクリート打設	養生	型枠外	支保外	C _{m'}																																																																																																									
重力式(無筋)	0.5	—	2.0	<u>1.11</u>	3.0	1.0	0.5	<u>8.11</u>																																																																																																									
重力式(鉄筋)	0.5	2.0	2.5	<u>1.11</u>	3.0	1.0	0.5	<u>10.61</u>																																																																																																									
鋼矢板式	1.0	2.0	3.0	<u>1.11</u>	3.0	2.0	1.0	<u>13.11</u>																																																																																																									
栈橋式	4.5	7.5	7.5	<u>1.11</u>	9.0	3.0	3.5	<u>36.11</u>																																																																																																									

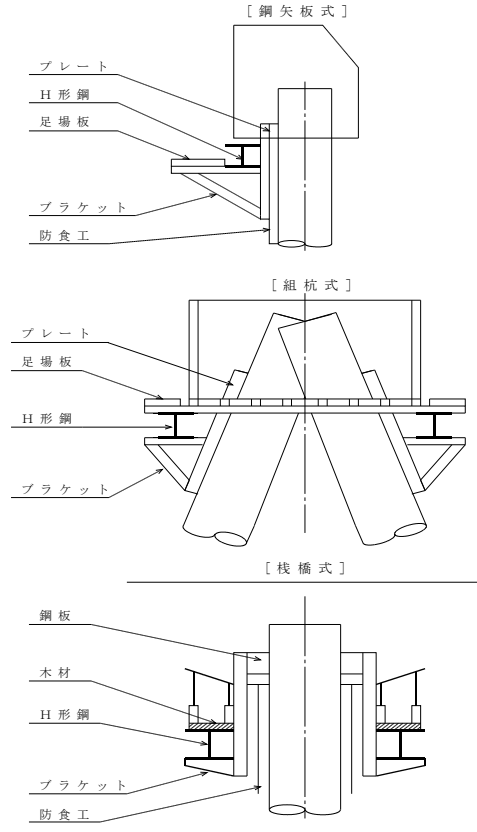
掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章6節 上部工 3-6-10</p>	<p>2-6 重力式上部工 2-6-1 施工フロー</p> <p>注) 本項の歩掛は、 [] の部分である。</p>		<p>コメント</p>

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																										
第3章6節 上部工 3-6-10	<p>2-6-2 支保 2-6-2-1 代価表作成手順</p> <p>2-6-2-2</p> <p>市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件 以外は、別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>海上クレーン・引船規格 変更の検討 → ・コンクリート打設が台船バケット の場合は、規格変更 ①海上クレーンの規格 ②引船の規格</p> <p>↓</p> <p>代価表の作成 → ・支保組立組外(重力式) 100m当り代価表</p> <p>・施工場所 ・施工方法</p> <p>・コンクリート打設方法</p> <p>・施工区分 ①海上クレーンの規格 ②引船の規格 ・供用係数</p>																												
3-6-11	<p>2-6-2-2 施工歩掛 1) 支保材料</p> <p>支保概念図</p>  <p>2) 代価表 (1) 支保組立組外(重力式) 100m当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1136 1279 1367"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支保組立組外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>引船運転</td> <td>鋼D PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>2.0</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回鋼D t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>2.0</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) バケット打設による場合は、バケット打設の船団組合せによる。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	支保組立組外	クレーン抜き	m	100		市場単価	引船運転	鋼D PS型	日	-	2.0	運2H/就8H	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	日	-	2.0	運6H/就8H		
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																					
		陸上	海上																										
支保組立組外	クレーン抜き	m	100		市場単価																								
引船運転	鋼D PS型	日	-	2.0	運2H/就8H																								
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回鋼D t吊	日	-	2.0	運6H/就8H																								

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																
第3章6節 上部工 3-6-11	<p>2-6-3 足場 2-6-3-1 代価表作成手順</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">足場の必要性の検討</div> <p>→ ・現場条件を考慮し枠組足場が必要となる場合に計上</p> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">2-6-3-2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">市場単価適用の検討</div> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">【第4章 市場単価】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">代価表の作成</div> <p>→ ・鋼製枠組足場架払 100m²当り代価表</p> </div> <p>2-6-3-2 施工歩掛 (1) 鋼製枠組足場架払(重力式) 100m²当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製枠組足場架払</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.8</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>非航旋回鋼 D t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1.0</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。</p>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸上	海上	鋼製枠組足場架払	クレーン抜き	m ²	100	100	市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.8	—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼 D t吊	〃	—	1.0	運6H/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	1.0	運2H/就8H		
名 称	形 状 寸 法				単 位	数 量		摘 要																											
		陸上	海上																																
鋼製枠組足場架払	クレーン抜き	m ²	100	100	市場単価																														
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.8	—	標準運転時間																														
クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼 D t吊	〃	—	1.0	運6H/就8H																														
引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	1.0	運2H/就8H																														

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																
<p>第3章6節 上部工 3-6-12</p>	<p>2-6-4 型枠 2-6-4-1 代価表作成手順</p> <p>鋼製・木製の別 施工方法 施工場所</p> <p>→ 2-6-4-2 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>鋼製型枠組立組外の積算 施工区分 クレーン類の種類・規格「2-3」 引船規格「2-3」 供用係数</p> <p>→ 代価表の作成 → 鋼製型枠組立組外(重力式) 100m²当り代価表</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>木製型枠組立組外の積算 施工区分 クレーン類の種類・規格「2-3」 引船規格「2-3」 供用係数</p> <p>→ 代価表の作成 → 木製型枠組立組外(重力式) 100m²当り代価表</p> <p>2-6-4-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鋼製型枠組立組外(重力式) 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 869 1389 1178"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製型枠組立組外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>非航旋回鋼D</td> <td>t吊</td> <td>-</td> <td>1.5</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1.5</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。</p> <p>(2) 木製型枠組立組外(重力式) 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1253 1389 1562"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木製型枠組立組外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>非航旋回鋼D</td> <td>t吊</td> <td>-</td> <td>1.5</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>1.5</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 型枠製作を含む。 2. クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	鋼製型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100		市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	2	1	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼D	t吊	-	1.5	運6H/就8H	引船	鋼D PS型	"	-	1.5	運2H/就8H	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	木製型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100		市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼D	t吊	-	1.5	運6H/就8H	引船	鋼D PS型	"	-	1.5	運2H/就8H		
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																											
		陸上	海上																																																																
鋼製型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100		市場単価																																																														
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	2	1	標準運転時間																																																														
クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼D	t吊	-	1.5	運6H/就8H																																																														
引船	鋼D PS型	"	-	1.5	運2H/就8H																																																														
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																														
			陸上	海上																																																															
木製型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100		市場単価																																																														
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	-	標準運転時間																																																														
クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回鋼D	t吊	-	1.5	運6H/就8H																																																														
引船	鋼D PS型	"	-	1.5	運2H/就8H																																																														

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章6節 上部工 3-6-13</p>	<p>2-7 鋼矢板式・栈橋式上部工 2-7-1 施工フロー</p> <p>注) 本項の歩掛は、 の部分である。</p>		

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント								
<p>第3章6節 上部工 3-6-14</p>	<p>2-7-2 支保 2-7-2-1 代価表作成手順 (鋼矢板式の場合)</p> <p>・施工場所 ・施工方法</p> <p>→ 2-7-2-2 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓ 【第4章 市場単価】</p> <p>・施工区分 ・クレーン類の種類・規格 → 「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数</p> <p>→ 代価表の作成 → ・支保組立組外(鋼矢板式) 100m当り代価表</p> <p>(組杭式・栈橋式の場合)</p> <p>・施工区分 ・クレーン類の種類・規格 → 「2-3」 ・引船規格「2-3」 ・供用係数</p> <p>→ 代価表の作成 → ・支保組立組外(組杭式) 100m当り代価表 → ・支保組立組外(栈橋式) 100㎡当り代価表</p> <p>2-7-2-2 施工歩掛 1) 支保材料 支保材料費は、労務費の%とし、下表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="430 955 1083 1018"> <thead> <tr> <th>構造形式</th> <th>組杭式</th> <th>栈橋式</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支保材料費</td> <td>170</td> <td>90</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>支保概念図</p> 	構造形式	組杭式	栈橋式	摘要	支保材料費	170	90			<p>コメント</p>
構造形式	組杭式	栈橋式	摘要								
支保材料費	170	90									

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																																										
第3章6節 上部工 3-6-15	<p>2) 代価表</p> <p>(1) 支保組立組外(鋼矢板式) 100m当り</p> <table border="1" data-bbox="433 363 1279 615"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支保組立組外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフデレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>2.1</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 ※航従回線D t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>2.1</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>2.1</td> <td>運4H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。</p> <p>(2) 支保組立組外(組杭式) 100m当り</p> <table border="1" data-bbox="433 735 1279 1190"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支保材料費</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">170</td> <td>労務費の%</td> </tr> <tr> <td>ラフデレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>3.3</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 ※航従回線D t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>3.3</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>3.3</td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">6.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">1.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">9.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">22.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">14.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 機</td> <td>D300A</td> <td>日</td> <td colspan="2">2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。</p> <p>(3) 支保組立組外(栈橋式) 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1310 1279 1795"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支保材料費</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">90</td> <td>労務費の%</td> </tr> <tr> <td>ラフデレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1.8</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 ※航従回線D t吊</td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td>2.2</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td>2.2</td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">3.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">5.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">4.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 機</td> <td>D300A</td> <td>日</td> <td colspan="2">3.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。</p>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸上	海上	支保組立組外	クレーン抜き	m	100		市場単価	ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	2.1	—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 ※航従回線D t吊	〃	—	2.1	運6H/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	2.1	運4H/就8H	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸上	海上	支保材料費		%	170		労務費の%	ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	3.3	—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 ※航従回線D t吊	〃	—	3.3	運6H/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	3.3	運4H/就8H	世 話 役		人	6.9			型 枠 工		〃	1.9			と び 工		〃	9.4			普 通 作 業 員		〃	22.6			溶 接 工		〃	14.2			溶 接 機	D300A	日	2.4			雑 材 料						名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸上	海上	支保材料費		%	90		労務費の%	ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1.8	—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 ※航従回線D t吊	〃	0.4	2.2	運6H/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	0.4	2.2	運4H/就8H	世 話 役		人	1.5			型 枠 工		〃	3.7			と び 工		〃	3.5			特 殊 作 業 員		〃	1.4			普 通 作 業 員		〃	5.4			溶 接 工		〃	4.4			溶 接 機	D300A	日	3.4			雑 材 料							
名 称	形 状 寸 法				単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																					
		陸上	海上																																																																																																																																																																																										
支保組立組外	クレーン抜き	m	100		市場単価																																																																																																																																																																																								
ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	2.1	—	標準運転時間																																																																																																																																																																																								
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 ※航従回線D t吊	〃	—	2.1	運6H/就8H																																																																																																																																																																																								
引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	2.1	運4H/就8H																																																																																																																																																																																								
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																								
			陸上	海上																																																																																																																																																																																									
支保材料費		%	170		労務費の%																																																																																																																																																																																								
ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	3.3	—	標準運転時間																																																																																																																																																																																								
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 ※航従回線D t吊	〃	—	3.3	運6H/就8H																																																																																																																																																																																								
引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	3.3	運4H/就8H																																																																																																																																																																																								
世 話 役		人	6.9																																																																																																																																																																																										
型 枠 工		〃	1.9																																																																																																																																																																																										
と び 工		〃	9.4																																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	22.6																																																																																																																																																																																										
溶 接 工		〃	14.2																																																																																																																																																																																										
溶 接 機	D300A	日	2.4																																																																																																																																																																																										
雑 材 料																																																																																																																																																																																													
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																								
			陸上	海上																																																																																																																																																																																									
支保材料費		%	90		労務費の%																																																																																																																																																																																								
ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1.8	—	標準運転時間																																																																																																																																																																																								
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 ※航従回線D t吊	〃	0.4	2.2	運6H/就8H																																																																																																																																																																																								
引 船 〃	鋼D PS型	〃	0.4	2.2	運4H/就8H																																																																																																																																																																																								
世 話 役		人	1.5																																																																																																																																																																																										
型 枠 工		〃	3.7																																																																																																																																																																																										
と び 工		〃	3.5																																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1.4																																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	5.4																																																																																																																																																																																										
溶 接 工		〃	4.4																																																																																																																																																																																										
溶 接 機	D300A	日	3.4																																																																																																																																																																																										
雑 材 料																																																																																																																																																																																													

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章6節 上部工 3-6-16</p>	<p>2-7-3 足場 2-7-3-1 代価表作成手順 (鋼矢板式の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部工の高さ → 足場の必要性の検討 → ・上部工の高さが2m以上の場合に計上 <li style="text-align: center;">↓ 2-7-3-2 ・施工場所 → 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・施工方法等 → 市場単価適用条件以外は別途積算 <li style="text-align: center;">↓ 【第4章 市場単価】 ・施工区分 → 代価表の作成 → ・足場組立組外(鋼矢板式) ・クレーン類の種類・規格「2-3」 → 100m²当り代価表 ・引船規格「2-3」 ・供用係数 <p>(組杭式・棧橋式の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部工の高さ → 足場の必要性の検討 → ・上部工の高さが2m以上の場合に計上 <li style="text-align: center;">↓ 2-7-3-2 ・施工区分 → 足場賃料の算定 → ①足場賃料単価 ・供用日数「2-4」 ・搬入足場面積 ・足場全面積 ・1日当り足場使用料 <li style="text-align: center;">↓ ・施工区分 → 代価表の作成 → ・鋼製枠組足場架払 ・クレーン類の種類・規格「2-3」 → 100m²当り代価表 ・引船規格「2-3」 ①足場賃料単価 ・供用係数 		

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																						
第3章6節 上部工 3-6-17	<p>2-7-3-2 施工歩掛</p> <p>1) 足場賃料単価</p> $\text{足場賃料単価} = \frac{a \times P}{A} \quad (\text{円}/\text{m}^2) \quad (\text{小数3位切捨て})$ <p>a : 搬入足場面積(m²) P : 1現場当り足場賃料(円/m²) $P = \frac{\text{足場100m}^2 \text{1日当り賃料} \times d + \text{足場100m}^2 \text{当り基本料}}{\text{足場100m}^2} \quad (\text{小数3位切捨て})$ d : 足場供用日数(日) (「本節 2-4 供用日数の算定」による) A : 足場全面積(m²)</p> <p style="text-align: center;">足場使用材料(100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="433 680 1279 921"> <thead> <tr> <th>品 名</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建 枠</td> <td>1,200×1,700mm</td> <td>枚</td> <td>36</td> <td rowspan="6"></td> </tr> <tr> <td>鋼 製 布 板</td> <td>500×1,800mm</td> <td>〃</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>筋 違</td> <td>1,200×1,800mm</td> <td>本</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>ジャッキベース</td> <td>ストローク250mm</td> <td>個</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>手 摺</td> <td>1,800mm</td> <td>本</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>手 摺 柱</td> <td>1,200mm</td> <td>〃</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 代価表</p> <p>(1) 鋼製枠組足場架払(鋼矢板式) 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1022 1279 1287"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製枠組足場架払</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフデレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 ※航路距離D</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>0.3</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>0.3</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。</p> <p>(2) 鋼製枠組足場架払(組杭式・栈橋式) 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1409 1279 1812"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフデレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 ※航路距離D</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>0.3</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 〃</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>0.3</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">4.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>足 場 賃 料</td> <td></td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。</p>	品 名	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	建 枠	1,200×1,700mm	枚	36		鋼 製 布 板	500×1,800mm	〃	33	筋 違	1,200×1,800mm	本	65	ジャッキベース	ストローク250mm	個	14	手 摺	1,800mm	本	6	手 摺 柱	1,200mm	〃	7	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸上	海上	鋼製枠組足場架払	クレーン抜き	m ²	100		市場単価	ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.3	—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 ※航路距離D	〃	—	0.3	運6H/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	0.3	運2H/就8H	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸上	海上	ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.3	—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 ※航路距離D	〃	—	0.3	運6H/就8H	引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	0.3	運2H/就8H	世 話 役		人	0.5			型 枠 工		〃	1.2			普 通 作 業 員		〃	4.2			足 場 賃 料		m ²	100			雑 材 料							
品 名	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																					
建 枠	1,200×1,700mm	枚	36																																																																																																																						
鋼 製 布 板	500×1,800mm	〃	33																																																																																																																						
筋 違	1,200×1,800mm	本	65																																																																																																																						
ジャッキベース	ストローク250mm	個	14																																																																																																																						
手 摺	1,800mm	本	6																																																																																																																						
手 摺 柱	1,200mm	〃	7																																																																																																																						
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																				
			陸上	海上																																																																																																																					
鋼製枠組足場架払	クレーン抜き	m ²	100		市場単価																																																																																																																				
ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.3	—	標準運転時間																																																																																																																				
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 ※航路距離D	〃	—	0.3	運6H/就8H																																																																																																																				
引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	0.3	運2H/就8H																																																																																																																				
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																				
			陸上	海上																																																																																																																					
ラフデレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.3	—	標準運転時間																																																																																																																				
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 ※航路距離D	〃	—	0.3	運6H/就8H																																																																																																																				
引 船 〃	鋼D PS型	〃	—	0.3	運2H/就8H																																																																																																																				
世 話 役		人	0.5																																																																																																																						
型 枠 工		〃	1.2																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	4.2																																																																																																																						
足 場 賃 料		m ²	100																																																																																																																						
雑 材 料																																																																																																																									

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章6節 上部工 3-6-18</p>	<p>2-7-4 型枠 2-7-4-1 代価表作成手順 (鋼矢板式の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鋼製・木製の別 施工方法 施工場所 <p>→ 2-7-4-2 市場単価適用の検討 → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>→ 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外(鋼矢板式) 100㎡当り代価表</p> <p>[鋼製型枠組立組外の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工区分 クレーン類の種類・規格「2-3」 引船規格「2-3」 供用係数 <p>→ 【第4章 市場単価】</p> <p>→ 代価表の作成 → ・木製型枠組立組外(鋼矢板式) 100㎡当り代価表</p> <p>[木製型枠組立組外の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工区分 クレーン類の種類・規格「2-3」 引船規格「2-3」 供用係数 <p>(栈橋式の場合) [鋼製型枠組立組外の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工区分 供用日数「2-4」 搬入型枠数量 型枠全面積 1日当り型枠使用料 <p>→ 2-7-4-2 型枠賃料の算定 → ①鋼製型枠賃料単価</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工区分 クレーン類の種類・規格「2-3」 引船規格「2-3」 ①鋼製型枠賃料単価 供用係数 <p>→ 代価表の作成 → ・鋼製型枠組立組外(栈橋式) 100㎡当り代価表</p> <p>[木製型枠組立組外の積算] (栈橋式の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工区分 クレーン類の種類・規格「2-3」 引船規格「2-3」 供用係数 <p>→ 2-7-4-2 代価表の作成 → ・木製型枠組立組外(栈橋式) 100㎡当り代価表</p> <p>2-7-4-2 施工歩掛</p> <p>1) 適用範囲 組杭式の型枠は、鋼矢板式を適用する。</p> <p>2) 鋼製型枠賃料単価</p> $\text{鋼製型枠賃料単価} = \frac{a \times P}{A} \quad (\text{円}/\text{m}^2) \quad (\text{小数3位切捨て})$ <p>a : 搬入型枠面積(m²) P : 1現場当り型枠賃料(円/m²)</p> $P = \frac{\text{型枠1枚1日当り賃料} \times d + \text{型枠1枚当り基本料}}{\text{型枠1枚当り面積}} \quad (\text{小数3位切捨て})$ <p>d : 型枠供用日数(日) (「本節 2-4 供用日数の算定」による)</p> <p>A : 型枠全面積(m²)</p>		

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																				
第3章6節 上部工 3-6-18	3) 損耗費、消耗費 損耗費、消耗費は、労務費の%とし、下表のとおりとする。 <table border="1" data-bbox="442 363 1065 497"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th colspan="2">栈橋式</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>鋼製型枠</th> <th>木製型枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>損 耗 費</td> <td>—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消 耗 費</td> <td>3</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消 耗 費 等</td> <td>—</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	栈橋式		摘 要	鋼製型枠	木製型枠	損 耗 費	—	1		消 耗 費	3	—		消 耗 費 等	—	6																																																																																																																					
種 別	栈橋式		摘 要																																																																																																																																				
	鋼製型枠	木製型枠																																																																																																																																					
損 耗 費	—	1																																																																																																																																					
消 耗 費	3	—																																																																																																																																					
消 耗 費 等	—	6																																																																																																																																					
3-6-19	4) 代価表 (1) 鋼製型枠組立組外(鋼矢板式) 100m ² 当り <table border="1" data-bbox="421 632 1308 892"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製型枠組立組外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>非航旋回D t吊</td> <td>"</td> <td>—</td> <td>1.5</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>—</td> <td>1.5</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> 注) クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 (2) 木製型枠組立組外(鋼矢板式) 100m ² 当り <table border="1" data-bbox="421 987 1308 1247"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木製型枠組立組外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>非航旋回D t吊</td> <td>"</td> <td>—</td> <td>1.5</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>—</td> <td>1.5</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> 注) 1. 型枠製作を含む。 2. クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 (3) 鋼製型枠組立組外(栈橋式) 100m ² 当り <table border="1" data-bbox="421 1367 1308 1797"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>非航旋回D t吊</td> <td>"</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 賃 料</td> <td></td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消 耗 費</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">3</td> <td>労務費の%</td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 注) クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸上	海上	鋼製型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100		市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	2	1	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船 運転	非航旋回D t吊	"	—	1.5	運6H/就8H	引 船 "	鋼D PS型	"	—	1.5	運2H/就8H	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸上	海上	木製型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100		市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船 運転	非航旋回D t吊	"	—	1.5	運6H/就8H	引 船 "	鋼D PS型	"	—	1.5	運2H/就8H	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸上	海上	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	3	1	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船 運転	非航旋回D t吊	"	—	3	運6H/就8H	引 船 "	鋼D PS型	"	—	3	運2H/就8H	世 話 役		人	2			型 枠 工		"	20			特 殊 作 業 員		"	4			普 通 作 業 員		"	18			型 枠 賃 料		m ²	100			消 耗 費		%	3		労務費の%	雑 材 料							
名 称	形 状 寸 法				単 位	数 量		摘 要																																																																																																																															
		陸上	海上																																																																																																																																				
鋼製型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100		市場単価																																																																																																																																		
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	2	1	標準運転時間																																																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船 運転	非航旋回D t吊	"	—	1.5	運6H/就8H																																																																																																																																		
引 船 "	鋼D PS型	"	—	1.5	運2H/就8H																																																																																																																																		
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																		
			陸上	海上																																																																																																																																			
木製型枠組立組外	クレーン抜き	m ²	100		市場単価																																																																																																																																		
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	—	標準運転時間																																																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船 運転	非航旋回D t吊	"	—	1.5	運6H/就8H																																																																																																																																		
引 船 "	鋼D PS型	"	—	1.5	運2H/就8H																																																																																																																																		
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																		
			陸上	海上																																																																																																																																			
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	3	1	標準運転時間																																																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船 運転	非航旋回D t吊	"	—	3	運6H/就8H																																																																																																																																		
引 船 "	鋼D PS型	"	—	3	運2H/就8H																																																																																																																																		
世 話 役		人	2																																																																																																																																				
型 枠 工		"	20																																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		"	4																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		"	18																																																																																																																																				
型 枠 賃 料		m ²	100																																																																																																																																				
消 耗 費		%	3		労務費の%																																																																																																																																		
雑 材 料																																																																																																																																							

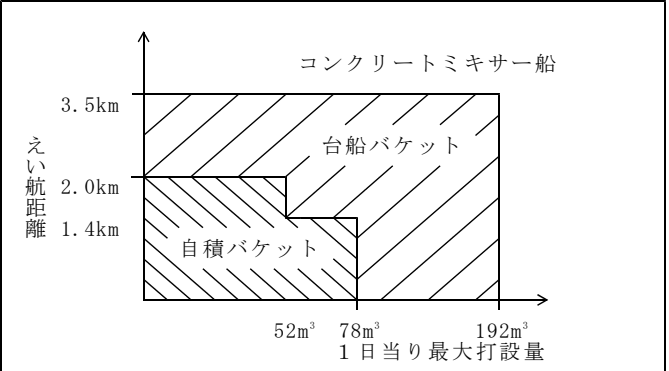
掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																				
第3章6節 上部工 3-6-20	<p>(4) 木製型枠組立組外(栈橋式) 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 338 1323 779"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航路用D t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型枠工</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">35</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損耗費</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">1</td> <td>労務費の%</td> </tr> <tr> <td>消耗費等</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="2">6</td> <td>労務費の%</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 消耗費等とは、セパレータ・合板・木材・鋼材等の経費である。 2. 型枠製作を含む。 3. クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。</p> <p>2-8 棚式上部工 「クレーン規格の選定」「足場」「支保」「鉄筋」および「型枠」の歩掛は、「本節 2-7 鋼矢板式・栈橋式上部工」および「本節 2-10 鉄筋」の鋼矢板式を適用する。</p> <p>2-9 セル式上部工 「クレーン規格の選定」「足場」「支保」「鉄筋」および「型枠」の歩掛は、セル式の構造形式を考慮し、「本節 2-6 重力式上部工」「本節 2-7 鋼矢板式・栈橋式上部工」および「本節 2-10 鉄筋」の重力式・鋼矢板式・栈橋式のいずれかを適用する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	2	-	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航路用D t吊	〃	-	3	運6H/就8H	引船	鋼D PS型	〃	-	3	運2H/就8H	世話役		人	2			型枠工		〃	35			特殊作業員		〃	5			普通作業員		〃	30			損耗費		%	1		労務費の%	消耗費等		〃	6		労務費の%	雑材料							
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																															
		陸上	海上																																																																				
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	2	-	標準運転時間																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航路用D t吊	〃	-	3	運6H/就8H																																																																		
引船	鋼D PS型	〃	-	3	運2H/就8H																																																																		
世話役		人	2																																																																				
型枠工		〃	35																																																																				
特殊作業員		〃	5																																																																				
普通作業員		〃	30																																																																				
損耗費		%	1		労務費の%																																																																		
消耗費等		〃	6		労務費の%																																																																		
雑材料																																																																							

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																						
<p>第3章6節 上部工 3-6-21</p>	<p>2-10 鉄筋 2-10-1 鉄筋加工組立 2-10-1-1 代価表作成手順</p> <div style="text-align: center;"> <p>2-10-2-2</p> </div> <p>・鉄筋径 ・施工場所 ・施工方法</p> <p>→ ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>・現場条件</p> <p>→ ②クレーン類の有無(引船含む) 【第4章 市場単価】 クレーン類の必要性の検討(重力式・鋼矢板式)</p> <p>・施工区分 ②クレーン類の有無(引船含む) ・クレーン類の種類 ・規格「2-3」</p> <p>→ 代価表の作成 → 鉄筋加工組立1,000kg 当り代価表</p> <p>・引船規格「2-3」 ・供用係数</p> <p>2-10-1-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鉄筋加工組立 1,000kg当り</p> <table border="1" data-bbox="433 835 1279 1297"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋</td> <td>異形棒鋼</td> <td>kg</td> <td>1,030</td> <td></td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工組立</td> <td>クレーン抜き</td> <td>〃</td> <td>1,000</td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 ※航能目録D t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td></td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 栈橋式はクレーン類を0.1日計上する。 2. 重力式・鋼矢板式は現場条件を考慮し、クレーン類を0.1日計上することができる。 3. クレーン類の種類・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	鉄筋	異形棒鋼	kg	1,030		割増しを含む	鉄筋加工組立	クレーン抜き	〃	1,000		市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日		—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 ※航能目録D t吊	〃	—		運6H/就8H	引船	鋼D PS型	〃	—		運2H/就8H		
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																	
		陸上	海上																																						
鉄筋	異形棒鋼	kg	1,030		割増しを含む																																				
鉄筋加工組立	クレーン抜き	〃	1,000		市場単価																																				
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日		—	標準運転時間																																				
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 ※航能目録D t吊	〃	—		運6H/就8H																																				
引船	鋼D PS型	〃	—		運2H/就8H																																				

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント										
<p>第3章6節 上部工 3-6-22</p>	<p>2-10-2 鋼板製作 (鋼矢板式・棧橋式) 2-10-2-1 代価表作成手順</p> <p>・溶接プレート仕様 → 代 価 表 の 作 成 → ・鋼板製作1式当り代価表</p> <p>2-10-2-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鋼板製作 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="433 541 1279 600"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼 板</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2-10-3 現場鋼材溶接 (鋼矢板式・棧橋式) 2-10-3-1 代価表作成手順</p> <p>・現場条件等 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・継手の種類 ・対象板厚 ・作業条件・難易性 → 溶 接 時 間 の 決 定 → ① 1 m当り溶接時間</p> <p>↓</p> <p>・施工区分 → 1 日 当 り 作 業 時 間 の 選 定 → ② 1 日当り作業時間</p> <p>↓</p> <p>① 1 m当り溶接時間 ② 1 日当り作業時間 → 1 日 当 り 溶 接 長 の 算 定 → ③ 1 日当り溶接長</p> <p>↓</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・施工規模 ・溶接姿勢 → 補 正 係 数 の 選 定 → ④ 補正係数 (施工規模、溶接姿勢)</p> <p>↓</p> <p>【陸上作業の場合】 ・施工方法 ・現場条件 → クレーンの計上の検討 → ⑤ クレーンの有無、(クレーン機種・規格、日数)</p> <p>↓</p> <p>【海上作業の場合】 ・施工方法 ・現場条件 → 作 業 船 の 計 上 の 検 討 → ⑥ 作業船の有無 (起重機船等船種・規格、引船規格、隻数)</p> <p>↓</p> <p>・標準市場単価 ④ 補正係数 ③ 1 日当り溶接長 ⑤ クレーンの有無 機種・規格、日数 ⑥ 作業船の有無 (起重機船等船種・規格、引船規格、隻数) → 代 価 表 の 作 成 → ・溶接1日 (m) 当り代価表</p> <p>2-10-3-2 施工方式 1) 溶接方法の種類 手動溶接、半自動溶接の2種類を標準とする。 2) 溶接継手の種類 溶接継手の種類は、突合せ、重合せ、隅肉、棒鋼+鋼板の4種類を標準とする。 3) 溶接姿勢の種類 溶接姿勢の種類は、横向、下向の2種類を標準とする。 4) 板厚 (1) 鋼板と鋼板：薄い板厚 (2) 棒鋼と鋼板：棒鋼直径(D)の1/2</p>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	鋼 板		式	1			
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要									
鋼 板		式	1										

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																
第3章6節 上部工 3-6-23																																																																																																																																																																			
<p>2-10-3-3 施工歩掛</p> <p>1) 溶接長の算定 (溶接機1台当り能力)</p> $L = \frac{60 \times T}{t} \quad (\text{小数2位四捨五入})$ <p style="margin-left: 40px;"> L: 1日当り溶接長(m/日) T: 1日当り作業時間(陸上6hr/日、海上5h/日) t: 1m当り溶接時間(分) </p> <p>2) 溶接時間には段取り、開先の清掃、溶接棒の取替、スラッグの除去などを含む。</p> <p>(1) 溶接時間は、下表に示すとおりとする。ただし、本表によることが不適当な場合は、作業条件等、難易性を考慮して別途定める。</p> <p>(2) 溶接時間は、下表に示すとおりとする。ただし、本表によることが不適当な場合は、作業条件等、難易性を考慮して別途定める。</p> <p>(3) 板厚が表中の中間の場合は、直近上位の板厚の溶接時間を適用する。</p> <p>① 手動溶接時間(t) 単位 (板厚:mm、溶接時間:分/m)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">継手種類 姿勢</th> <th colspan="2">突合せ (開先V形)</th> <th colspan="2">突合せ (開先X形)</th> <th colspan="2">隅肉・重合せ 棒鋼+鋼板</th> </tr> <tr> <th>横 向</th> <th>下 向</th> <th>横 向</th> <th>下 向</th> <th>横 向</th> <th>下 向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>16</td><td>5</td></tr> <tr><td>4</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>22</td><td>8</td></tr> <tr><td>5</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>27</td><td>11</td></tr> <tr><td>6</td><td>87</td><td>66</td><td>—</td><td>—</td><td>32</td><td>15</td></tr> <tr><td>7</td><td>95</td><td>73</td><td>—</td><td>—</td><td>40</td><td>22</td></tr> <tr><td>8</td><td>105</td><td>77</td><td>—</td><td>—</td><td>47</td><td>28</td></tr> <tr><td>9</td><td>117</td><td>88</td><td>—</td><td>—</td><td>57</td><td>35</td></tr> <tr><td>10</td><td>132</td><td>100</td><td>—</td><td>—</td><td>67</td><td>44</td></tr> <tr><td>11</td><td>150</td><td>111</td><td>—</td><td>—</td><td>80</td><td>51</td></tr> <tr><td>12</td><td>167</td><td>122</td><td>—</td><td>—</td><td>92</td><td>60</td></tr> <tr><td>13</td><td>187</td><td>133</td><td>—</td><td>—</td><td>107</td><td>71</td></tr> <tr><td>14</td><td>205</td><td>151</td><td>—</td><td>—</td><td>120</td><td>82</td></tr> <tr><td>15</td><td>225</td><td>166</td><td>—</td><td>—</td><td>135</td><td>93</td></tr> <tr><td>16</td><td>250</td><td>182</td><td>250</td><td>188</td><td>150</td><td>104</td></tr> <tr><td>17</td><td>275</td><td>200</td><td>262</td><td>200</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>18</td><td>300</td><td>215</td><td>287</td><td>211</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>19</td><td>325</td><td>233</td><td>300</td><td>222</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>20</td><td>350</td><td>255</td><td>325</td><td>244</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>22</td><td>—</td><td>—</td><td>375</td><td>277</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>25</td><td>—</td><td>—</td><td>450</td><td>333</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>28</td><td>—</td><td>—</td><td>537</td><td>400</td><td>—</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>				継手種類 姿勢	突合せ (開先V形)		突合せ (開先X形)		隅肉・重合せ 棒鋼+鋼板		横 向	下 向	横 向	下 向	横 向	下 向	3	—	—	—	—	16	5	4	—	—	—	—	22	8	5	—	—	—	—	27	11	6	87	66	—	—	32	15	7	95	73	—	—	40	22	8	105	77	—	—	47	28	9	117	88	—	—	57	35	10	132	100	—	—	67	44	11	150	111	—	—	80	51	12	167	122	—	—	92	60	13	187	133	—	—	107	71	14	205	151	—	—	120	82	15	225	166	—	—	135	93	16	250	182	250	188	150	104	17	275	200	262	200	—	—	18	300	215	287	211	—	—	19	325	233	300	222	—	—	20	350	255	325	244	—	—	22	—	—	375	277	—	—	25	—	—	450	333	—	—	28	—	—	537	400	—	—
継手種類 姿勢	突合せ (開先V形)		突合せ (開先X形)		隅肉・重合せ 棒鋼+鋼板																																																																																																																																																														
	横 向	下 向	横 向	下 向	横 向	下 向																																																																																																																																																													
3	—	—	—	—	16	5																																																																																																																																																													
4	—	—	—	—	22	8																																																																																																																																																													
5	—	—	—	—	27	11																																																																																																																																																													
6	87	66	—	—	32	15																																																																																																																																																													
7	95	73	—	—	40	22																																																																																																																																																													
8	105	77	—	—	47	28																																																																																																																																																													
9	117	88	—	—	57	35																																																																																																																																																													
10	132	100	—	—	67	44																																																																																																																																																													
11	150	111	—	—	80	51																																																																																																																																																													
12	167	122	—	—	92	60																																																																																																																																																													
13	187	133	—	—	107	71																																																																																																																																																													
14	205	151	—	—	120	82																																																																																																																																																													
15	225	166	—	—	135	93																																																																																																																																																													
16	250	182	250	188	150	104																																																																																																																																																													
17	275	200	262	200	—	—																																																																																																																																																													
18	300	215	287	211	—	—																																																																																																																																																													
19	325	233	300	222	—	—																																																																																																																																																													
20	350	255	325	244	—	—																																																																																																																																																													
22	—	—	375	277	—	—																																																																																																																																																													
25	—	—	450	333	—	—																																																																																																																																																													
28	—	—	537	400	—	—																																																																																																																																																													

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																																				
第3章6節 上部工 3-6-24	<p>②半自動溶接時間(t) 単位(板厚:mm、溶接時間:分/m)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">板 厚</th> <th colspan="3">開 先 種 類</th> <th rowspan="2">板 厚</th> <th colspan="3">開 先 種 類</th> </tr> <tr> <th>I 形</th> <th>V 形</th> <th>X 形</th> <th>I 形</th> <th>V 形</th> <th>X 形</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>6</td><td>7.2</td><td>—</td><td>—</td><td>21</td><td>—</td><td>60</td><td>—</td></tr> <tr><td>7</td><td>7.2</td><td>—</td><td>—</td><td>22</td><td>—</td><td>63</td><td>—</td></tr> <tr><td>8</td><td>7.2</td><td>—</td><td>—</td><td>23</td><td>—</td><td>66</td><td>—</td></tr> <tr><td>9</td><td>7.2</td><td>—</td><td>—</td><td>24</td><td>—</td><td>70</td><td>—</td></tr> <tr><td>10</td><td>7.2</td><td>—</td><td>—</td><td>25</td><td>—</td><td>72</td><td>57</td></tr> <tr><td>11</td><td>—</td><td>37</td><td>—</td><td>26</td><td>—</td><td>75</td><td>59</td></tr> <tr><td>12</td><td>—</td><td>38</td><td>—</td><td>27</td><td>—</td><td>79</td><td>63</td></tr> <tr><td>13</td><td>—</td><td>41</td><td>—</td><td>28</td><td>—</td><td>82</td><td>65</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>42</td><td>—</td><td>29</td><td>—</td><td>84</td><td>67</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>45</td><td>—</td><td>30</td><td>—</td><td>89</td><td>69</td></tr> <tr><td>16</td><td>—</td><td>47</td><td>—</td><td>31</td><td>—</td><td>92</td><td>73</td></tr> <tr><td>17</td><td>—</td><td>50</td><td>—</td><td>32</td><td>—</td><td>96</td><td>75</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>53</td><td>—</td><td>33</td><td>—</td><td>101</td><td>78</td></tr> <tr><td>19</td><td>—</td><td>56</td><td>—</td><td>34</td><td>—</td><td>107</td><td>83</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>58</td><td>—</td><td>35</td><td>—</td><td>111</td><td>83</td></tr> </tbody> </table> <p>3) 市場単価の算定 (1) 手動の場合 $\text{市場単価} = \text{標準市場単価 (横向き)} \times (1 + K_1) \times (1 + K_2)$ (小数1位切捨て) K_1: 施工規模補正係数 } (物価資料による) K_2: 溶接姿勢補正係数 } (2) 半自動の場合 $\text{市場単価} = \text{標準市場単価} \times (1 + K_1)$ (小数1位切捨て) K_1: 施工規模補正係数 (物価資料による) 4) 代価表 (1) 溶接 1日(m)当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溶 接</td> <td>溶接機1台</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフデレックレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>運転 t吊 航程D t吊</td> <td>"</td> <td>—</td> <td></td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>—</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 陸上においては、必要に応じてクレーンを計上することができる。 2. 海上においては、必要に応じて起重機船等・引船を計上することができる。 3. クレーン類の種類・規格および引船規格は、本節2-3 クレーン規格の選定による。なお、船舶・機械の運転日数は、施工方法および現場条件を考慮し、決定する。</p> <p>2-11 伸縮目地 2-11-1 代価表作成手順</p> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="text-align: right;"> ・目地材の選定 ・材料区分 </div> <div style="text-align: center;"> → 市場単価適用の検討 ↓ 【第4章 市場単価】 → 代 価 表 の 作 成 </div> <div style="text-align: left;"> → ①標準市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算 → ・伸縮目地 100m²当り代価表 </div> </div> <p>2-11-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 伸縮目地 100m²当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>瀝青質系</th> <th>発泡体系</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伸 縮 目 地</td> <td>t=10mm</td> <td>m²</td> <td colspan="2">100</td> <td>市場単価</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 材料割増を含む。</p>	板 厚	開 先 種 類			板 厚	開 先 種 類			I 形	V 形	X 形	I 形	V 形	X 形	6	7.2	—	—	21	—	60	—	7	7.2	—	—	22	—	63	—	8	7.2	—	—	23	—	66	—	9	7.2	—	—	24	—	70	—	10	7.2	—	—	25	—	72	57	11	—	37	—	26	—	75	59	12	—	38	—	27	—	79	63	13	—	41	—	28	—	82	65	14	—	42	—	29	—	84	67	15	—	45	—	30	—	89	69	16	—	47	—	31	—	92	73	17	—	50	—	32	—	96	75	18	—	53	—	33	—	101	78	19	—	56	—	34	—	107	83	20	—	58	—	35	—	111	83	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸上	海上	溶 接	溶接機1台	m			市場単価	ラフデレックレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日		—	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	運転 t吊 航程D t吊	"	—		運6H/就8H	引 船	鋼D PS型	"	—		運2H/就8H	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	瀝青質系	発泡体系	伸 縮 目 地	t=10mm	m ²	100		市場単価		
板 厚	開 先 種 類			板 厚	開 先 種 類																																																																																																																																																																																		
	I 形	V 形	X 形		I 形	V 形	X 形																																																																																																																																																																																
6	7.2	—	—	21	—	60	—																																																																																																																																																																																
7	7.2	—	—	22	—	63	—																																																																																																																																																																																
8	7.2	—	—	23	—	66	—																																																																																																																																																																																
9	7.2	—	—	24	—	70	—																																																																																																																																																																																
10	7.2	—	—	25	—	72	57																																																																																																																																																																																
11	—	37	—	26	—	75	59																																																																																																																																																																																
12	—	38	—	27	—	79	63																																																																																																																																																																																
13	—	41	—	28	—	82	65																																																																																																																																																																																
14	—	42	—	29	—	84	67																																																																																																																																																																																
15	—	45	—	30	—	89	69																																																																																																																																																																																
16	—	47	—	31	—	92	73																																																																																																																																																																																
17	—	50	—	32	—	96	75																																																																																																																																																																																
18	—	53	—	33	—	101	78																																																																																																																																																																																
19	—	56	—	34	—	107	83																																																																																																																																																																																
20	—	58	—	35	—	111	83																																																																																																																																																																																
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																		
			陸上	海上																																																																																																																																																																																			
溶 接	溶接機1台	m			市場単価																																																																																																																																																																																		
ラフデレックレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日		—	標準運転時間																																																																																																																																																																																		
クレーン付台船 または 起重機船	運転 t吊 航程D t吊	"	—		運6H/就8H																																																																																																																																																																																		
引 船	鋼D PS型	"	—		運2H/就8H																																																																																																																																																																																		
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																		
			瀝青質系	発泡体系																																																																																																																																																																																			
伸 縮 目 地	t=10mm	m ²	100		市場単価																																																																																																																																																																																		

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント									
<p>第3章6節 上部工 3-6-25</p>	<p>2-12 コンクリート 2-12-1 打設方法の選定 2-12-1-1 陸上コンクリート打設 コンクリート打設方法は、以下に示す3方法とし、現場条件等を考慮し選定する。</p> <table border="1" data-bbox="445 388 1291 562"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>現場条件等</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接打設</td> <td>ミキサー車 ・ミキサー車が打設現場へ搬入可能 ・打設高さ(原則1.5m以下)</td> <td>条件を考慮の上決定する</td> </tr> <tr> <td>間接打設</td> <td>ポンプ車 クレーン ・直接打設が困難な場合</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2-12-1-2 海上コンクリート打設 1) 施工方法選定手順</p> <pre> graph TD A[特記仕様書] --> B[条件明示内容の確認] B --> C[施工方法の選定] D[1日当り最大打設量 えい航距離 在港船状況] --> C B --> E[特記仕様書に明示がある場合は、明示された方法 特記仕様書に明示がない場合は、以下による] C --> F[自積バケット方式 台船バケット方式 コンクリートミキサー船方式] </pre> <p>2) 施工方法の適用 各施工方法の適用範囲は以下を標準とする。 (1) 自積バケット方式 えい航距離が2.0km以下で、1日当りの最大打設量が52m³以下の場合およびえい航距離が1.4km以下で、1日当りの最大打設量が78m³以下の場合に適用する。 (2) 台船バケット方式 えい航距離が3.5km以下で、1日当りの最大打設量が192m³以下の場合において、自積バケット方式が該当しない場合に適用する。 (2) コンクリートミキサー船方式 自積バケット方式および台船バケット方式に該当しない場合に適用する。</p> <p>[施工方法選定図(参考)]</p>  <p>注) 1. 1日当り最大打設量とは、打設計画より定まる一工事内での最大打設量である。 2. 現場条件により、上記により難しい場合は、別途施工方法を選定できる。</p>	施工区分	現場条件等	摘要	直接打設	ミキサー車 ・ミキサー車が打設現場へ搬入可能 ・打設高さ(原則1.5m以下)	条件を考慮の上決定する	間接打設	ポンプ車 クレーン ・直接打設が困難な場合			
施工区分	現場条件等	摘要										
直接打設	ミキサー車 ・ミキサー車が打設現場へ搬入可能 ・打設高さ(原則1.5m以下)	条件を考慮の上決定する										
間接打設	ポンプ車 クレーン ・直接打設が困難な場合											

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																												
<p>第3章6節 上部工 3-6-26</p>	<p>2-12-2 陸上コンクリート打設 2-12-2-1 代価表作成手順</p> <p>・施工場所 → 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・現場条件 → 2-12-1-1 コンクリート打設法の検討 → 打設方法 ポンプ車打設 クレーン打設 ミキサー車打設</p> <p>↓</p> <p>【ポンプ車打設の場合】</p> <p>【第4章 市場単価】 2-12-2-2</p> <p>・コンクリート計画打設量 → 補正係数の検討 → ①施工規模補正係数</p> <p>↓</p> <p>・標準市場単価(ポンプ車) ①施工規模補正係数 → 代価表の作成 → ①コンクリート打設 10m³当り代価表</p> <p>【クレーン打設の場合】</p> <p>・クレーンの種類・規格「2-3」 → 選定クレーンと標準クレーンの比較 → 陸上クレーン</p> <p>↓</p> <p>【陸上クレーンの場合】</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → ①コンクリート打設 10m³当り代価表 ・クレーン機種・規格「2-3」</p> <p>【ミキサー車打設の場合】</p> <p>・標準市場単価(ミキサー車) → 代価表の作成 → ①コンクリート打設 10m³当り代価表</p> <p>2-12-2-2 施工歩掛</p> <p>1) 市場単価の算定</p> <p>(1) ポンプ車の場合</p> <p>ポンプ車打設の市場単価は、1日当りの平均打設量(扱い数量)により、下式で補正する。 $\text{市場単価} = \text{標準市場単価(ポンプ車)} \times (1 + K)$ (小数1位切捨て) K：施工規模補正係数(物価資料による)</p> <p>(2) その他の場合 市場単価 = 標準市場単価</p> <p>2) 代価表</p> <p>(1) コンクリート打設 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="430 1480 1299 1785"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="6">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">ポンプ車</th> <th colspan="2">陸上クレーン</th> <th colspan="2">ミキサー車</th> </tr> <tr> <th>鉄筋</th> <th>無筋</th> <th>鉄筋</th> <th>無筋</th> <th>鉄筋</th> <th>無筋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10.2</td> <td>10.3</td> <td>10.2</td> <td>10.3</td> <td>10.2</td> <td>10.3</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート打設</td> <td>ポンプ車</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>クレーン抜き</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ミキサー車</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.2</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーンの機種・規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 2. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は、別途計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量						摘要	ポンプ車		陸上クレーン		ミキサー車		鉄筋	無筋	鉄筋	無筋	鉄筋	無筋	レディミストコンクリート		m ³	10.2	10.3	10.2	10.3	10.2	10.3	割増しを含む	コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	—	—	—	—	—	市場単価	クレーン抜き	〃	—	10	—	—	—	—	〃	ミキサー車	〃	—	—	—	10	—	—	〃	ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン	(油) t吊	日	—	—	0.2	—	—	—	標準運転時間	<p>2) 代価表</p> <p>(1) コンクリート打設 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="1626 1480 2496 1785"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="6">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">ポンプ車</th> <th colspan="2">陸上クレーン</th> <th colspan="2">ミキサー車</th> </tr> <tr> <th>鉄筋</th> <th>無筋</th> <th>鉄筋</th> <th>無筋</th> <th>鉄筋</th> <th>無筋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10.2</td> <td>10.3</td> <td>10.2</td> <td>10.3</td> <td>10.2</td> <td>10.3</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート打設</td> <td>ポンプ車</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>クレーン抜き</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ミキサー車</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.22</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーンの機種・規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 2. コンクリートの通常の養生を含む。ただし、特殊養生の必要がある場合は、別途計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量						摘要	ポンプ車		陸上クレーン		ミキサー車		鉄筋	無筋	鉄筋	無筋	鉄筋	無筋	レディミストコンクリート		m ³	10.2	10.3	10.2	10.3	10.2	10.3	割増しを含む	コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	—	—	—	—	—	市場単価	クレーン抜き	〃	—	10	—	—	—	—	〃	ミキサー車	〃	—	—	—	10	—	—	〃	ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン	(油) t吊	日	—	—	0.22	—	—	—	標準運転時間	
名称	形状寸法				単位	数量						摘要																																																																																																																																			
						ポンプ車		陸上クレーン		ミキサー車																																																																																																																																					
		鉄筋	無筋	鉄筋		無筋	鉄筋	無筋																																																																																																																																							
レディミストコンクリート		m ³	10.2	10.3	10.2	10.3	10.2	10.3	割増しを含む																																																																																																																																						
コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	—	—	—	—	—	市場単価																																																																																																																																						
	クレーン抜き	〃	—	10	—	—	—	—	〃																																																																																																																																						
	ミキサー車	〃	—	—	—	10	—	—	〃																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン	(油) t吊	日	—	—	0.2	—	—	—	標準運転時間																																																																																																																																						
名称	形状寸法	単位	数量						摘要																																																																																																																																						
			ポンプ車		陸上クレーン		ミキサー車																																																																																																																																								
			鉄筋	無筋	鉄筋	無筋	鉄筋	無筋																																																																																																																																							
レディミストコンクリート		m ³	10.2	10.3	10.2	10.3	10.2	10.3	割増しを含む																																																																																																																																						
コンクリート打設	ポンプ車	〃	10	—	—	—	—	—	市場単価																																																																																																																																						
	クレーン抜き	〃	—	10	—	—	—	—	〃																																																																																																																																						
	ミキサー車	〃	—	—	—	10	—	—	〃																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーン	(油) t吊	日	—	—	0.22	—	—	—	標準運転時間																																																																																																																																						

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																								
第3章6節 上部工 3-6-27	<p>2-12-3 自積バケット打設 2-12-3-1 代価表作成手順 [コンクリート運搬の積算]</p> <p>2-12-3-2</p> <p>・現場条件 → 起重機船等の決定 → ①起重機船等船種・規格 ・起重機船等の在港状況</p> <p>①起重機船等船種・規格 → 引船規格の決定 → ②引船規格</p> <p>2-12-3-2</p> <p>・往復平均えい航距離 → 代価表の作成 → ・コンクリート運搬 ・1日当り打設規模 → 100m³当り代価表</p> <p>[コンクリート打設の積算]</p> <p>・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・コンクリート打設 100m³当り代価表</p> <p>2-12-3-2 施工歩掛</p> <p>1) コンクリート運搬作業能力等 1日当り打設規模、バケット規格、バケット質量(積載コンクリート含む)、適用船種、クレーンおよび引船の運転時間は下表による。</p> <table border="1" data-bbox="350 926 1406 1115"> <thead> <tr> <th rowspan="2">往復平均えい航距離</th> <th rowspan="2">1日当り打設規模</th> <th rowspan="2">コンクリートバケット規格</th> <th rowspan="2">コンクリートバケット質量</th> <th colspan="2">適用船種</th> <th rowspan="2">1日当り運搬量(Q)</th> </tr> <tr> <th>クレーン付台船</th> <th>起重機船(非航旋回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.9km以下</td> <td>78m³以下</td> <td rowspan="3">5.0m³</td> <td rowspan="3">13.4t</td> <td colspan="2">「本節 2-3 クレーン規格の選定」による</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>0.9kmを超え1.4km以下</td> <td rowspan="2">52m³以下</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>1.4kmを超え1.8km以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.8kmを超え2.0km以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="350 1142 828 1331"> <thead> <tr> <th>往復平均えい航距離</th> <th>起重機船等の1日当り運転時間</th> <th>引船の1日当り運転時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.9km以下</td> <td rowspan="4">4時間</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>0.9kmを超え1.4km以下</td> <td>4時間</td> </tr> <tr> <td>1.4kmを超え1.8km以下</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>1.8kmを超え2.0km以下</td> <td>4時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 代価表</p> <p>(1) コンクリート運搬 100m³当り</p> <table border="1" data-bbox="400 1423 1202 1612"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 航旋回D</td> <td>日</td> <td>104/Q</td> <td>運: 4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td>104/Q</td> <td>運: 作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>コンクリートバケット</td> <td>5.0m³</td> <td>〃</td> <td>104/Q×6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 起重機船の船種・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 2. Q: 1日当り運搬量(扱い数量、m³/日) 3. 数量は、小数3位四捨五入とする。</p> <p>(2) コンクリート打設 100m³当り</p> <table border="1" data-bbox="400 1780 1202 1871"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミキストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>104</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリート打設</td> <td>台船バケツ・自積バケツ</td> <td>〃</td> <td>100</td> <td>市場単価</td> </tr> </tbody> </table>	往復平均えい航距離	1日当り打設規模	コンクリートバケット規格	コンクリートバケット質量	適用船種		1日当り運搬量(Q)	クレーン付台船	起重機船(非航旋回)	0.9km以下	78m ³ 以下	5.0m ³	13.4t	「本節 2-3 クレーン規格の選定」による		65	0.9kmを超え1.4km以下	52m ³ 以下	39	1.4kmを超え1.8km以下		1.8kmを超え2.0km以下							往復平均えい航距離	起重機船等の1日当り運転時間	引船の1日当り運転時間	0.9km以下	4時間	2時間	0.9kmを超え1.4km以下	4時間	1.4kmを超え1.8km以下	2時間	1.8kmを超え2.0km以下	4時間	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 航旋回D	日	104/Q	運: 4H/就8H	引船	鋼D PS型	〃	104/Q	運: 作業能力/就8H	コンクリートバケット	5.0m ³	〃	104/Q×6		雑材料					名称	形状寸法	単位	数量	摘要	レディミキストコンクリート		m ³	104	割増しを含む	コンクリート打設	台船バケツ・自積バケツ	〃	100	市場単価	<p>2-12-3-2 施工歩掛</p> <p>1) コンクリート運搬作業能力等 1日当り打設規模、バケット規格、バケット質量(積載コンクリート含む)、適用船種、クレーンおよび引船の運転時間は下表による。</p> <table border="1" data-bbox="1537 926 2594 1115"> <thead> <tr> <th rowspan="2">往復平均えい航距離</th> <th rowspan="2">1日当り打設規模</th> <th rowspan="2">コンクリートバケット規格</th> <th rowspan="2">コンクリートバケット質量</th> <th colspan="2">適用船種</th> <th rowspan="2">1日当り運搬量(Q)</th> </tr> <tr> <th>クレーン付台船</th> <th>起重機船(非航旋回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.9km以下</td> <td>78m³以下</td> <td rowspan="3">5.0m³</td> <td rowspan="3">13.4t</td> <td colspan="2">「本節 2-3 クレーン規格の選定」による</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>0.9kmを超え1.4km以下</td> <td rowspan="2">52m³以下</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>1.4kmを超え1.8km以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.8kmを超え2.0km以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1537 1142 2015 1331"> <thead> <tr> <th>往復平均えい航距離</th> <th>起重機船等の1日当り運転時間</th> <th>引船の1日当り運転時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.9km以下</td> <td rowspan="4">4時間</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>0.9kmを超え1.4km以下</td> <td>4時間</td> </tr> <tr> <td>1.4kmを超え1.8km以下</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>1.8kmを超え2.0km以下</td> <td>4時間</td> </tr> </tbody> </table>	往復平均えい航距離	1日当り打設規模	コンクリートバケット規格	コンクリートバケット質量	適用船種		1日当り運搬量(Q)	クレーン付台船	起重機船(非航旋回)	0.9km以下	78m ³ 以下	5.0m ³	13.4t	「本節 2-3 クレーン規格の選定」による		59	0.9kmを超え1.4km以下	52m ³ 以下	35	1.4kmを超え1.8km以下		1.8kmを超え2.0km以下							往復平均えい航距離	起重機船等の1日当り運転時間	引船の1日当り運転時間	0.9km以下	4時間	2時間	0.9kmを超え1.4km以下	4時間	1.4kmを超え1.8km以下	2時間	1.8kmを超え2.0km以下	4時間	
往復平均えい航距離	1日当り打設規模					コンクリートバケット規格	コンクリートバケット質量		適用船種		1日当り運搬量(Q)																																																																																																																
		クレーン付台船	起重機船(非航旋回)																																																																																																																								
0.9km以下	78m ³ 以下	5.0m ³	13.4t	「本節 2-3 クレーン規格の選定」による		65																																																																																																																					
0.9kmを超え1.4km以下	52m ³ 以下			39																																																																																																																							
1.4kmを超え1.8km以下																																																																																																																											
1.8kmを超え2.0km以下																																																																																																																											
往復平均えい航距離	起重機船等の1日当り運転時間	引船の1日当り運転時間																																																																																																																									
0.9km以下	4時間	2時間																																																																																																																									
0.9kmを超え1.4km以下		4時間																																																																																																																									
1.4kmを超え1.8km以下		2時間																																																																																																																									
1.8kmを超え2.0km以下		4時間																																																																																																																									
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																							
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 航旋回D	日	104/Q	運: 4H/就8H																																																																																																																							
引船	鋼D PS型	〃	104/Q	運: 作業能力/就8H																																																																																																																							
コンクリートバケット	5.0m ³	〃	104/Q×6																																																																																																																								
雑材料																																																																																																																											
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																							
レディミキストコンクリート		m ³	104	割増しを含む																																																																																																																							
コンクリート打設	台船バケツ・自積バケツ	〃	100	市場単価																																																																																																																							
往復平均えい航距離	1日当り打設規模	コンクリートバケット規格	コンクリートバケット質量	適用船種		1日当り運搬量(Q)																																																																																																																					
				クレーン付台船	起重機船(非航旋回)																																																																																																																						
0.9km以下	78m ³ 以下	5.0m ³	13.4t	「本節 2-3 クレーン規格の選定」による		59																																																																																																																					
0.9kmを超え1.4km以下	52m ³ 以下			35																																																																																																																							
1.4kmを超え1.8km以下																																																																																																																											
1.8kmを超え2.0km以下																																																																																																																											
往復平均えい航距離	起重機船等の1日当り運転時間	引船の1日当り運転時間																																																																																																																									
0.9km以下	4時間	2時間																																																																																																																									
0.9kmを超え1.4km以下		4時間																																																																																																																									
1.4kmを超え1.8km以下		2時間																																																																																																																									
1.8kmを超え2.0km以下		4時間																																																																																																																									

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章6節 上部工 3-6-28</p>	<p>2-12-4 台船バケット打設 2-12-4-1 代価表作成手順 [コンクリート運搬の積算]</p> <p>2-12-4-2</p> <p>→ 1日当り打設規模 →</p> <p>→ バケット規格の選定 → ①コンクリートバケット規格 運搬量の選定 → ②1日当り運搬量 → ③1時間当り運搬量</p> <p>↓</p> <p>→ ①コンクリートバケット規格 → 台船規格の選定 → ④台船規格</p> <p>↓</p> <p>→ ③1時間当り運搬量 → 引船の隻数の算定 → ⑤引船隻数 ・往復平均えい航距離 → 引船延運転時間の算定 → ⑥引船延運転時間 ①コンクリートバケット規格 ②1日当り運搬量</p> <p>↓</p> <p>→ ⑤引船隻数 → 引船運転時間の算定 → ⑦引船運転時間 ⑥引船延運転時間</p> <p>↓</p> <p>→ ⑤引船隻数 → 台船隻数の計算 → ⑧1日当り台船隻数 バケット必要数量の計算 → ⑨コンクリートバケット数量</p> <p>↓</p> <p>→ ②1日当り運搬量 → 起重機船運転時間 → ⑩起重機船 ③1時間当り運搬量 → の算定 → 1日当り運転時間</p> <p>↓</p> <p>→ ・台船への積込機械の必要性 → クレーン計上の検討 → ⑪陸上クレーン有無、規格 ・現場条件(アトリチ等)</p> <p>↓</p> <p>→ ②1日当り運搬量 → 代価表の作成 → ・コンクリート運搬 ・起重機船船種・規格「2-3」 → 100m³当り代価表 ⑩起重機船 1日当り運転時間 ④台船規格 ⑧1日当り台船隻数 ・引船規格「2-3」 ⑤引船隻数 ⑦引船運転時間 ⑪陸上クレーン有無、規格 ①コンクリートバケット規格 ⑨コンクリートバケット数量 ・供用係数</p> <p>↓</p> <p>→ [コンクリート打設の積算] → 【第4章 市場単価】 ・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・コンクリート打設 100m³当り代価表</p>		

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																								
第3章6節 上部工 3-6-29	<p>2-12-4-2 施工歩掛</p> <p>1) コンクリート運搬</p> <p>(1) 1日当り打設規模と適用船種等</p> <p style="text-align: center;">打設規模、バケット規格・質量(積載コンクリート含む)と適用船種</p> <table border="1" data-bbox="403 443 1377 596"> <thead> <tr> <th rowspan="2">1日当り打設規模</th> <th rowspan="2">コンクリートバケット規格</th> <th rowspan="2">コンクリートバケット質量</th> <th colspan="3">適用船種</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>クレーン付台船</th> <th>起重機船(非航旋回)</th> <th>台船</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60m³以下</td> <td>1.5m³</td> <td>4.2t</td> <td rowspan="3">「本節 2-3 クレーン規格の選定」による</td> <td rowspan="3"></td> <td>鋼200t積</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>60m³を超え120m³以下</td> <td>3.0 "</td> <td>8.1t</td> <td>" 300 "</td> </tr> <tr> <td>120m³を超え192m³以下</td> <td>5.0 "</td> <td>13.4t</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) コンクリート運搬作業能力等</p> <p>台船の所要隻数、引船の所要隻数・運転時間およびクレーン運転時間の算定は、下式による。</p> <p>(1) 引船1日当り所要隻数(隻/日) = $q \left(\frac{1}{7.5} + \frac{2 \times d}{v} \right) \div (n \times q)$ (小数1位切上げ、最小隻数は1隻)</p> <p>(2) 引船1日当り延運転時間(h/日) = $\left(\frac{1}{7.5} + \frac{2 \times d}{v} \right) \times \frac{Q}{n \times q}$ (小数2位四捨五入)</p> <p>(3) 引船1日当り運転時間(h/日) = $\frac{\text{引船1日当り延運転時間}}{\text{引船1日当り所要隻数}}$ (小数1位切上げ、偶数止め)</p> <p>(4) 台船所要隻数(隻/日) : 引船1日当り所要隻数に1を加算する。</p> <p>(5) コンクリートバケット必要数量(個/日) = 台船隻数 × 6</p> <p>(6) 起重機船等の1日当り運転時間(h/日) = $\frac{Q}{q_0}$ (小数1位切上げ、偶数止め)</p> <p>Q : 1日当り運搬量(扱い数量、m³/日) d : 往復平均えい航距離(km) v : 往復平均えい航速度(6.9km/h) n : コンクリートバケットの積載個数(6個/隻) q : コンクリートバケットの積載量(m³/個) q₀ : 1時間当り運搬量(m³/h)</p> <table border="1" data-bbox="403 1150 1323 1304"> <thead> <tr> <th>1日当り打設規模</th> <th>コンクリートバケット規格</th> <th>Q</th> <th>q</th> <th>q₀</th> <th>起重機船等の1日当り運転時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60m³以下</td> <td>1.5m³</td> <td>50m³</td> <td>1.3m³</td> <td>10m³/h</td> <td rowspan="3">6時間</td> </tr> <tr> <td>60m³を超え120m³以下</td> <td>3.0m³</td> <td>100m³</td> <td>2.6m³</td> <td>20m³/h</td> </tr> <tr> <td>120m³を超え192m³以下</td> <td>5.0m³</td> <td>160m³</td> <td>4.3m³</td> <td>32m³/h</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 代価表</p> <p>(1) コンクリート運搬 100m³当り</p> <table border="1" data-bbox="403 1394 1323 1675"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船 運転</td> <td>t吊 非航旋回D</td> <td>日</td> <td>104/Q</td> <td>運: 作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>台 船 "</td> <td>鋼 t積</td> <td>"</td> <td>104/Q × N</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>104/Q × N</td> <td>運: 作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>"</td> <td>(52/Q)</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>コンクリートバケット</td> <td>m³</td> <td>"</td> <td>104/Q × N</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 起重機船の船種・規格および引船規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。 2. Q: 1日当り運搬量(扱い数量、m³/日) 3. N: 1日当り必要隻数または必要数量(隻/日または個/日) 4. 数量は、小数3位四捨五入とする。 5. 積出場所において、コンクリートバケットを台船に積込む必要がある場合は、陸上クレーンを計上する。なお、クレーンの機種・規格は、「本節 2-3 クレーン規格の選定」による。</p>	1日当り打設規模	コンクリートバケット規格	コンクリートバケット質量	適用船種			摘要	クレーン付台船	起重機船(非航旋回)	台船	60m ³ 以下	1.5m ³	4.2t	「本節 2-3 クレーン規格の選定」による		鋼200t積		60m ³ を超え120m ³ 以下	3.0 "	8.1t	" 300 "	120m ³ を超え192m ³ 以下	5.0 "	13.4t		1日当り打設規模	コンクリートバケット規格	Q	q	q ₀	起重機船等の1日当り運転時間	60m ³ 以下	1.5m ³	50m ³	1.3m ³	10m ³ /h	6時間	60m ³ を超え120m ³ 以下	3.0m ³	100m ³	2.6m ³	20m ³ /h	120m ³ を超え192m ³ 以下	5.0m ³	160m ³	4.3m ³	32m ³ /h	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回D	日	104/Q	運: 作業能力/就8H	台 船 "	鋼 t積	"	104/Q × N	就業8H	引 船 "	鋼D PS型	"	104/Q × N	運: 作業能力/就8H	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	"	(52/Q)	標準運転時間	コンクリートバケット	m ³	"	104/Q × N		雑 材 料					<p>2) コンクリート運搬作業能力等</p> <p>台船の所要隻数、引船の所要隻数・運転時間およびクレーン運転時間の算定は、下式による。</p> <p>(1) 引船1日当り所要隻数(隻/日) = $q \left(\frac{1}{7.5} + \frac{2 \times d}{v} \right) \div (n \times q)$ (小数1位切上げ、最小隻数は1隻)</p> <p>(2) 引船1日当り延運転時間(h/日) = $\left(\frac{1}{7.5} + \frac{2 \times d}{v} \right) \times \frac{Q}{n \times q}$ (小数2位四捨五入)</p> <p>(3) 引船1日当り運転時間(h/日) = $\frac{\text{引船1日当り延運転時間}}{\text{引船1日当り所要隻数}}$ (小数1位切上げ、偶数止め)</p> <p>(4) 台船所要隻数(隻/日) : 引船1日当り所要隻数に1を加算する。</p> <p>(5) コンクリートバケット必要数量(個/日) = 台船隻数 × 6</p> <p>(6) 起重機船等の1日当り運転時間(h/日) = $\frac{Q}{q_0}$ (小数1位切上げ、偶数止め)</p> <p>Q : 1日当り運搬量(扱い数量、m³/日) d : 往復平均えい航距離(km) v : 往復平均えい航速度(6.9km/h) n : コンクリートバケットの積載個数(6個/隻) q : コンクリートバケットの積載量(m³/個) q₀ : 1時間当り運搬量(m³/h)</p> <table border="1" data-bbox="1590 1150 2510 1304"> <thead> <tr> <th>1日当り打設規模</th> <th>コンクリートバケット規格</th> <th>Q</th> <th>q</th> <th>q₀</th> <th>起重機船等の1日当り運転時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60m³以下</td> <td>1.5m³</td> <td>45m³</td> <td>1.3m³</td> <td>9m³/h</td> <td rowspan="3">6時間</td> </tr> <tr> <td>60m³を超え120m³以下</td> <td>3.0m³</td> <td>90m³</td> <td>2.6m³</td> <td>18m³/h</td> </tr> <tr> <td>120m³を超え192m³以下</td> <td>5.0m³</td> <td>144m³</td> <td>4.3m³</td> <td>29m³/h</td> </tr> </tbody> </table>	1日当り打設規模	コンクリートバケット規格	Q	q	q ₀	起重機船等の1日当り運転時間	60m ³ 以下	1.5m ³	45m ³	1.3m ³	9m ³ /h	6時間	60m ³ を超え120m ³ 以下	3.0m ³	90m ³	2.6m ³	18m ³ /h	120m ³ を超え192m ³ 以下	5.0m ³	144m ³	4.3m ³	29m ³ /h	
1日当り打設規模	コンクリートバケット規格				コンクリートバケット質量	適用船種			摘要																																																																																																		
		クレーン付台船	起重機船(非航旋回)	台船																																																																																																							
60m ³ 以下	1.5m ³	4.2t	「本節 2-3 クレーン規格の選定」による		鋼200t積																																																																																																						
60m ³ を超え120m ³ 以下	3.0 "	8.1t			" 300 "																																																																																																						
120m ³ を超え192m ³ 以下	5.0 "	13.4t																																																																																																									
1日当り打設規模	コンクリートバケット規格	Q	q	q ₀	起重機船等の1日当り運転時間																																																																																																						
60m ³ 以下	1.5m ³	50m ³	1.3m ³	10m ³ /h	6時間																																																																																																						
60m ³ を超え120m ³ 以下	3.0m ³	100m ³	2.6m ³	20m ³ /h																																																																																																							
120m ³ を超え192m ³ 以下	5.0m ³	160m ³	4.3m ³	32m ³ /h																																																																																																							
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																							
クレーン付台船 または 起重機船 運転	t吊 非航旋回D	日	104/Q	運: 作業能力/就8H																																																																																																							
台 船 "	鋼 t積	"	104/Q × N	就業8H																																																																																																							
引 船 "	鋼D PS型	"	104/Q × N	運: 作業能力/就8H																																																																																																							
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	"	(52/Q)	標準運転時間																																																																																																							
コンクリートバケット	m ³	"	104/Q × N																																																																																																								
雑 材 料																																																																																																											
1日当り打設規模	コンクリートバケット規格	Q	q	q ₀	起重機船等の1日当り運転時間																																																																																																						
60m ³ 以下	1.5m ³	45m ³	1.3m ³	9m ³ /h	6時間																																																																																																						
60m ³ を超え120m ³ 以下	3.0m ³	90m ³	2.6m ³	18m ³ /h																																																																																																							
120m ³ を超え192m ³ 以下	5.0m ³	144m ³	4.3m ³	29m ³ /h																																																																																																							

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント															
第3章6節 上部工 3-6-29	(2) コンクリート打設 100m ³ 当り <table border="1" data-bbox="409 338 1335 443"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミキストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>104</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリート打設</td> <td>台船バケツ・自積バケツ</td> <td>〃</td> <td>100</td> <td>市場単価</td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	レディミキストコンクリート		m ³	104	割増しを含む	コンクリート打設	台船バケツ・自積バケツ	〃	100	市場単価		
名称	形状寸法	単位	数量	摘要														
レディミキストコンクリート		m ³	104	割増しを含む														
コンクリート打設	台船バケツ・自積バケツ	〃	100	市場単価														
3-6-30	<p>2-12-5 コンクリートミキサー船混合 2-12-5-1 代価表作成手順 [コンクリート混合の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基地現場間距離 → 2-12-5-2 最低規格船の選定 → ①コンクリートミキサー船の最低規格 ・1日当り平均混合量 → 最低規格船の選定 → ①コンクリートミキサー船の最低規格 ↓ ①コンクリートミキサー船の最低規格 → コンクリートミキサー船規格の決定 → ②コンクリートミキサー船規格 ・コンクリートミキサー船の在港状況 → コンクリートミキサー船規格の決定 → ②コンクリートミキサー船規格 ↑ ↓ ②コンクリートミキサー船規格 → 2-12-5-3 船団構成の決定 → ③引船規格 ④揚錨船規格 ↓ ②コンクリートミキサー船規格 → 2-12-5-3 船団構成の決定 → ③引船規格 ④揚錨船規格 ↓ ・1日当り平均混合量 → 2-12-5-4 コンクリートミキサー船運転時間算定 → ⑤コンクリートミキサー船運転時間 ②コンクリートミキサー船規格 → 2-12-5-4 コンクリートミキサー船運転時間算定 → ⑤コンクリートミキサー船運転時間 ⑥混合材数量 ↓ ・基地現場間距離 → 引船運転時間の算定 → ⑦引船運転時間 ↓ ・1日当り平均混合量 → 代価表の作成 → ・コンクリート混合 1,000m³当り代価表 ⑥混合材数量 → 代価表の作成 → ・コンクリート混合 1,000m³当り代価表 ②コンクリートミキサー船規格 → 代価表の作成 → ・コンクリート混合 1,000m³当り代価表 ⑤コンクリートミキサー船運転時間 → 代価表の作成 → ・コンクリート混合 1,000m³当り代価表 ③引船規格 → 代価表の作成 → ・コンクリート混合 1,000m³当り代価表 ⑦引船運転時間 → 代価表の作成 → ・コンクリート混合 1,000m³当り代価表 ④揚錨船規格 → 代価表の作成 → ・コンクリート混合 1,000m³当り代価表 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・コンクリート混合 1,000m³当り代価表 ↓ [コンクリートミキサー船拘束の積算] ・総打設量 → 2-12-5-4 工程待ち拘束日数の算定 → ⑧工程待ち拘束日数 ・1日当り平均混合量 → 2-12-5-4 工程待ち拘束日数の算定 → ⑧工程待ち拘束日数 ↓ ⑧工程待ち拘束日数 → 代価表の作成 → ・コンクリートミキサー船拘束 1式当り代価表 ②コンクリートミキサー船規格 → 代価表の作成 → ・コンクリートミキサー船拘束 1式当り代価表 ③引船規格 → 代価表の作成 → ・コンクリートミキサー船拘束 1式当り代価表 ④揚錨船規格 → 代価表の作成 → ・コンクリートミキサー船拘束 1式当り代価表 ・その他現場条件 → 代価表の作成 → ・コンクリートミキサー船拘束 1式当り代価表 ↓ [材料積込の積算] ②コンクリートミキサー船規格 → 2-12-5-4 代価表の作成 → ・材料接岸積込 1,000m³(コンクリート数量)当り代価表 ↓ [コンクリート打設の積算] ・標準市場単価 → 【第4章 市場単価】 代価表の作成 → ・コンクリート打設 1,000m³当り代価表 																	

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																			
第3章6節 上部工 3-6-31	<p>2-12-5-2 コンクリートミキサー船の規格選定</p> <p>1) 規格選定フロー</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 最低規格船の選定 基地現場間距離による混合時間決定 ↓ 計画平均混合量と規格能力の比較 </div> <div style="margin-left: 10px;"> 「2) 混合時間算定式」参照 「3) 1時間当り混合能力」参照 </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 入手可能船舶調査による規格選定 </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 経 済 比 較 </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;"> 規 格 決 定 </div> <div style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <p>上記の規格選定により選定されたコンクリートミキサー船が、在港していない場合、当該規格を含む大型規格について経済比較。ただし、当該規格を含む大型規格船の入手が不可能な場合は、別途考慮する。</p> </div> <p>2) 混合時間の算定式</p> $T_1 = 6.0 \left(\frac{2 \times d}{v} + t \right) \quad (\text{小数2位四捨五入})$ <p> T_1 : 1日当り混合時間(h/日) d : 往復平均えい航距離(km) v : 往復平均えい航速度(6.0km/h) t : 離接舷等の関連時間(0.33h) </p> <p>3) 1時間当り混合能力 (q) (単位: m³/h)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2">バ ッ チ 式</td> <td>規 格</td> <td>1.00m³</td> <td>1.50m³</td> <td>2.00m³</td> <td>2.50m³</td> </tr> <tr> <td>混合能力</td> <td>30.0</td> <td>45.0</td> <td>60.0</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンテナ式</td> <td>規 格</td> <td>25型</td> <td>45型</td> <td>90型</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>混合能力</td> <td>15.0</td> <td>27.0</td> <td>54.0</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>4) 最低規格船の選定 コンクリートミキサー船の最低規格は、「1日当り平均混合量(割増し含む)(Q_e)」と「1時間当り混合能力(q)と1日当り混合時間(T₁)」との比較により選定する。</p> <p>2-12-5-3 船団構成</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">コンクリートミキサー船</th> <th>引 船</th> <th>揚 錨 船</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">バ ッ チ 式</td> <td>鋼DE 1.00m³</td> <td>鋼D 700PS型</td> <td>鋼D 5t吊</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>〃 1.50〃</td> <td>〃 1,000 〃</td> <td>〃 10 〃</td> </tr> <tr> <td>〃 2.00〃</td> <td>〃 1,200 〃</td> <td rowspan="2">〃 15 〃</td> </tr> <tr> <td>〃 2.50〃</td> <td>〃 1,500 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンテナ式</td> <td>鋼DE 25型</td> <td>鋼D 500PS型</td> <td>鋼D 3t吊</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>〃 45 〃</td> <td>〃 700 〃</td> <td>〃 5 〃</td> </tr> <tr> <td>〃 90 〃</td> <td>〃 1,000 〃</td> <td>〃 10 〃</td> </tr> </tbody> </table>	バ ッ チ 式	規 格	1.00m ³	1.50m ³	2.00m ³	2.50m ³	混合能力	30.0	45.0	60.0	75.0	コンテナ式	規 格	25型	45型	90型	—	混合能力	15.0	27.0	54.0	—	コンクリートミキサー船		引 船	揚 錨 船	摘 要	バ ッ チ 式	鋼DE 1.00m ³	鋼D 700PS型	鋼D 5t吊		〃 1.50〃	〃 1,000 〃	〃 10 〃	〃 2.00〃	〃 1,200 〃	〃 15 〃	〃 2.50〃	〃 1,500 〃	コンテナ式	鋼DE 25型	鋼D 500PS型	鋼D 3t吊		〃 45 〃	〃 700 〃	〃 5 〃	〃 90 〃	〃 1,000 〃	〃 10 〃		
バ ッ チ 式	規 格		1.00m ³	1.50m ³	2.00m ³	2.50m ³																																																
	混合能力	30.0	45.0	60.0	75.0																																																	
コンテナ式	規 格	25型	45型	90型	—																																																	
	混合能力	15.0	27.0	54.0	—																																																	
コンクリートミキサー船		引 船	揚 錨 船	摘 要																																																		
バ ッ チ 式	鋼DE 1.00m ³	鋼D 700PS型	鋼D 5t吊																																																			
	〃 1.50〃	〃 1,000 〃	〃 10 〃																																																			
	〃 2.00〃	〃 1,200 〃	〃 15 〃																																																			
	〃 2.50〃	〃 1,500 〃																																																				
コンテナ式	鋼DE 25型	鋼D 500PS型	鋼D 3t吊																																																			
	〃 45 〃	〃 700 〃	〃 5 〃																																																			
	〃 90 〃	〃 1,000 〃	〃 10 〃																																																			

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																		
<p>第3章6節 上部工 3-6-32</p>	<p>2-12-5-4 施工歩掛 1) コンクリート混合 (1) 混合材料 ① 単価 骨材の単価は、陸上ヤード渡し単価を標準とする。 ② 1日当り所要量 イ. セメント = $A \times (1 \text{ m}^3 \text{ 当り使用量}) \times 1.02$ (小数1位四捨五入) ロ. 砂 = $A \times (\quad) \times 1.10 \div (\text{骨材の単位容積質量} \times 1,000)$ (小数2位四捨五入) ハ. 砂利・砕石 = $A \times (\quad) \times 1.05 \div (\text{骨材の単位容積質量} \times 1,000)$ (小数1位四捨五入) ニ. 混和剤 = $A \times (\quad)$ (小数1位四捨五入) ホ. 水 = $A \times (\quad) \div 1,000$ (小数2位四捨五入) A : 1日当り混合量(割増しを含む)($\text{m}^3/\text{日}$) = Q_E (2) コンクリートミキサー船の運転時間 $T = \frac{Q_E}{q}$ (小数1位切上げ) T : コンクリートミキサー船1日当り運転時間(h/日) Q_E : 1日当り平均混合量(割増し含む)(現場条件により求まる1日当り計画平均打設量) q : コンクリートミキサー船1時間当り混合能力(m^3/h)</p> <table border="1" data-bbox="457 657 1145 814"> <tr> <td rowspan="2">バッチ式</td> <td>規 格</td> <td>1.00m^3</td> <td>1.50m^3</td> <td>2.00m^3</td> <td>2.50m^3</td> </tr> <tr> <td>混合能力</td> <td>30.0</td> <td>45.0</td> <td>60.0</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンテナ式</td> <td>規 格</td> <td>25型</td> <td>45型</td> <td>90型</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>混合能力</td> <td>15.0</td> <td>27.0</td> <td>54.0</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>(3) 引船の運転時間 $T_v = \frac{2 \times d}{v} + t$ (小数1位切上げ、偶数止め) T_v : 引船1日当り運転時間(h/日) d : 往復平均えい航距離(km) v : 往復平均えい航速度(6.0km/h) t : 離接舷等の関連時間(0.33h)</p> <p>2) コンクリートミキサー船拘束費 (1) 工程待ちによる拘束 施工施設の種類に拘わらず、当該工事における延べ混合日数(N)に対して、現場における稼働実態を考慮して、コンクリートミキサー船の工程待ちによる拘束日数として下式により算出した日数を0.5日単位で計上する。 $D = N \times K$ (小数1位を二捨三入または七捨八入) D : 工程待ち拘束日数(日) N : 延べ混合日数(日) (延べ混合日数は20日を上限とする) $N = \frac{\sum Q}{Q_E}$ (小数1位切上げ) $\sum Q$: 総混合量(m^3) Q_E : 1日当り平均混合量(割増し含む)($\text{m}^3/\text{日}$) K : 拘束発生率(0.30)</p> <p>(2) その他の拘束 工事着手前における各種機器の試験調整等(キャリブレーション)による拘束日数として、下表の日数を計上する。ただし、現場条件により拘束日数の計上が不相当と認められる場合は、計上しない。</p> <table border="1" data-bbox="433 1350 1258 1465"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>拘束費計上日数</th> <th>対象作業内容</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着 手 前</td> <td>1日</td> <td>キャリブレーション</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>必要な日数</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	バッチ式	規 格	1.00 m^3	1.50 m^3	2.00 m^3	2.50 m^3	混合能力	30.0	45.0	60.0	75.0	コンテナ式	規 格	25型	45型	90型	-	混合能力	15.0	27.0	54.0	-	区 分	拘束費計上日数	対象作業内容	摘 要	着 手 前	1日	キャリブレーション		そ の 他	必要な日数				
バッチ式	規 格		1.00 m^3	1.50 m^3	2.00 m^3	2.50 m^3																															
	混合能力	30.0	45.0	60.0	75.0																																
コンテナ式	規 格	25型	45型	90型	-																																
	混合能力	15.0	27.0	54.0	-																																
区 分	拘束費計上日数	対象作業内容	摘 要																																		
着 手 前	1日	キャリブレーション																																			
そ の 他	必要な日数																																				

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																		
<p>第3章6節 上部工 3-6-33</p>	<p>3) 材料積込 コンクリートミキサー船への骨材(砂、砂利・碎石)積込は、クラムシェルおよびホイールローダにより行う なお、1回当り骨材積込量は、下表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="379 359 1089 478"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>1回当り骨材積込量 (m³/回)</th> <th>1回当り作業日数 (日)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>骨材積込 (砂、砂利・碎石)</td> <td>m³</td> <td>300</td> <td>0.5</td> <td>扱い数量を対象</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) コンクリート1,000m³当り骨材積込作業日数の算定式 $D = D_1 + D_2$ $D_1 = 1,040 \times \frac{(砂1m^3当り使用量) \times 1.10}{(骨材の単位容積質量 \times 1,000)} \times \frac{0.5}{300} \quad (\text{小数3位四捨五入})$ $D_2 = 1,040 \times \frac{(砂利・碎石1m^3当り使用量) \times 1.05}{(骨材の単位容積質量 \times 1,000)} \times \frac{0.5}{300} \quad (\text{小数3位四捨五入})$ $D : \text{コンクリート}1,000m^3\text{当り骨材積込作業日数(日)}$ $D_1 : \text{コンクリート}1,000m^3\text{当り細骨材(砂)積込作業日数(日)}$ $D_2 : \text{コンクリート}1,000m^3\text{当り粗骨材(砂利・碎石)積込作業日数(日)}$</p> <p>4) 代価表 (1) コンクリート混合 1,000m³当り</p> <table border="1" data-bbox="379 758 1412 1224"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメント</td> <td></td> <td>kg</td> <td>1,040 × (1m³当り使用量) × 1.02</td> <td>割増しを含む (小数1位四捨五入)</td> </tr> <tr> <td>砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td>1,040 × $\frac{(1m^3当り使用量) \times 1.10}{(骨材の単位容積質量 \times 1,000)}$</td> <td>" (小数2位四捨五入)</td> </tr> <tr> <td>砂利(碎石)</td> <td></td> <td>"</td> <td>1,040 × $\frac{(1m^3当り使用量) \times 1.05}{(骨材の単位容積質量 \times 1,000)}$</td> <td>" (小数2位四捨五入)</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td></td> <td>"</td> <td>1,040 × $\frac{(1m^3当り使用量)}{1,000}$</td> <td>" (小数2位四捨五入)</td> </tr> <tr> <td>混和剤</td> <td></td> <td>kg</td> <td>1,040 × (1m³当り使用量)</td> <td>" (小数1位四捨五入)</td> </tr> <tr> <td>コンクリートミキサー船 運転</td> <td>バッチ式 または コンテナ式</td> <td>m³ 型</td> <td>日</td> <td>1,040/Q_E</td> <td>運:作業能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>1,040/Q_E</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>揚錨船</td> <td>鋼D t吊</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>1,040/Q_E</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. Q_E:1日当り平均混合量(割増し含む)(m³/日) 2. 作業船の数量は、小数3位四捨五入とする。</p> <p>(2) コンクリートミキサー船拘束 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="379 1304 1222 1476"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートミキサー船 供用</td> <td>バッチ式 または コンテナ式</td> <td>m³ 型</td> <td>日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>揚錨船</td> <td>鋼D t吊</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) コンクリートミキサー船、引船、揚錨船の拘束日数は、工程待ち、キャリブレーション、その他必要日数を計上する。</p> <p>(3) 材料接岸積込 1,000m³(コンクリート数量)当り</p> <table border="1" data-bbox="379 1556 1222 1791"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラムシェル</td> <td>平積 1.2m³</td> <td>日</td> <td>D</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>3.1~3.3m³</td> <td>"</td> <td>D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートミキサー船 供用</td> <td>バッチ式 または コンテナ式</td> <td>m³ 型</td> <td>日</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) D:コンクリート1,000m³当り骨材積込作業日数(日)</p>	名称	単位	1回当り骨材積込量 (m ³ /回)	1回当り作業日数 (日)	摘要	骨材積込 (砂、砂利・碎石)	m ³	300	0.5	扱い数量を対象	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	セメント		kg	1,040 × (1m ³ 当り使用量) × 1.02	割増しを含む (小数1位四捨五入)	砂		m ³	1,040 × $\frac{(1m^3当り使用量) \times 1.10}{(骨材の単位容積質量 \times 1,000)}$	" (小数2位四捨五入)	砂利(碎石)		"	1,040 × $\frac{(1m^3当り使用量) \times 1.05}{(骨材の単位容積質量 \times 1,000)}$	" (小数2位四捨五入)	水		"	1,040 × $\frac{(1m^3当り使用量)}{1,000}$	" (小数2位四捨五入)	混和剤		kg	1,040 × (1m ³ 当り使用量)	" (小数1位四捨五入)	コンクリートミキサー船 運転	バッチ式 または コンテナ式	m ³ 型	日	1,040/Q _E	運:作業能力/就8H	引船	鋼D PS型	"	"	1,040/Q _E	"	揚錨船	鋼D t吊	"	"	1,040/Q _E	就業8H	雑材料						名称	形状寸法	単位	数量	摘要	コンクリートミキサー船 供用	バッチ式 または コンテナ式	m ³ 型	日		引船	鋼D PS型	"			揚錨船	鋼D t吊	"			名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クラムシェル	平積 1.2m ³	日	D	標準運転時間	ホイールローダ	3.1~3.3m ³	"	D	"	普通作業員		人	D		コンクリートミキサー船 供用	バッチ式 または コンテナ式	m ³ 型	日	D	雑材料						
名称	単位	1回当り骨材積込量 (m ³ /回)	1回当り作業日数 (日)	摘要																																																																																																																	
骨材積込 (砂、砂利・碎石)	m ³	300	0.5	扱い数量を対象																																																																																																																	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																	
セメント		kg	1,040 × (1m ³ 当り使用量) × 1.02	割増しを含む (小数1位四捨五入)																																																																																																																	
砂		m ³	1,040 × $\frac{(1m^3当り使用量) \times 1.10}{(骨材の単位容積質量 \times 1,000)}$	" (小数2位四捨五入)																																																																																																																	
砂利(碎石)		"	1,040 × $\frac{(1m^3当り使用量) \times 1.05}{(骨材の単位容積質量 \times 1,000)}$	" (小数2位四捨五入)																																																																																																																	
水		"	1,040 × $\frac{(1m^3当り使用量)}{1,000}$	" (小数2位四捨五入)																																																																																																																	
混和剤		kg	1,040 × (1m ³ 当り使用量)	" (小数1位四捨五入)																																																																																																																	
コンクリートミキサー船 運転	バッチ式 または コンテナ式	m ³ 型	日	1,040/Q _E	運:作業能力/就8H																																																																																																																
引船	鋼D PS型	"	"	1,040/Q _E	"																																																																																																																
揚錨船	鋼D t吊	"	"	1,040/Q _E	就業8H																																																																																																																
雑材料																																																																																																																					
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																	
コンクリートミキサー船 供用	バッチ式 または コンテナ式	m ³ 型	日																																																																																																																		
引船	鋼D PS型	"																																																																																																																			
揚錨船	鋼D t吊	"																																																																																																																			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																	
クラムシェル	平積 1.2m ³	日	D	標準運転時間																																																																																																																	
ホイールローダ	3.1~3.3m ³	"	D	"																																																																																																																	
普通作業員		人	D																																																																																																																		
コンクリートミキサー船 供用	バッチ式 または コンテナ式	m ³ 型	日	D																																																																																																																	
雑材料																																																																																																																					

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																		
第3章6節 上部工 3-6-33	(4) コンクリート打設 1,000m ³ 当り <table border="1" data-bbox="379 338 1222 443"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート打設</td> <td>コンクリートミキサー船</td> <td>m³</td> <td>1,000</td> <td>市場単価</td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	コンクリート打設	コンクリートミキサー船	m ³	1,000	市場単価																																																																																										
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																	
コンクリート打設	コンクリートミキサー船	m ³	1,000	市場単価																																																																																																	
3-6-34	<p>2-12-6 基礎砕石 2-12-6 基礎砕石 2-12-6-1 施工フロー</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" data-bbox="721 558 1012 716"> <tr><td>基礎砕石敷均し(敷均し)</td></tr> <tr><td>↓</td></tr> <tr><td>基礎砕石敷均し(突固め)</td></tr> <tr><td>↓</td></tr> <tr><td>捨コンクリート</td></tr> </table> </div> <p>注) 本項の歩掛は、 の部分である。</p> <p>2-12-6-2 代価表作成手順</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" data-bbox="721 842 1190 1020"> <tr> <td>2-12-6-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代価表の作成</td> <td>→ 基礎砕石敷均し 10m³当り代価表</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代価表の作成</td> <td>→ 捨コンクリート 10m³当り代価表</td> </tr> </table> </div> <p>2-12-6-3 施工歩掛</p> <p>1) 代価表</p> <p>(1) 基礎砕石敷均し 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="412 1136 1255 1287"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎砕石</td> <td></td> <td>m³</td> <td>12</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>3</td> <td>労務費の%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 雑材料には、突固め機械損料および油脂等を含む。 2. 20m程度の小運搬を含む。</p> <p>(2) 捨コンクリート 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="412 1413 1255 1598"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10.4</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> <td>労務費の%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. レディーミクストコンクリートは、雑材料の対象としない。 2. 雑材料には、パイプレータ損料等を含む。</p>	基礎砕石敷均し(敷均し)	↓	基礎砕石敷均し(突固め)	↓	捨コンクリート	2-12-6-3		代価表の作成	→ 基礎砕石敷均し 10m ³ 当り代価表	↓		代価表の作成	→ 捨コンクリート 10m ³ 当り代価表	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	基礎砕石		m ³	12	割増しを含む	特殊作業員		人	0.3		普通作業員		人	1.8		雑材料		%	3	労務費の%	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	レディーミクストコンクリート		m ³	10.4	割増しを含む	世話役		人	0.4		特殊作業員		人	0.8		普通作業員		人	1.2		雑材料		%	2	労務費の%	<p>(2) 捨コンクリート 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="1605 1413 2448 1598"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10.4</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.44</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.89</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.33</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> <td>労務費の%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. レディーミクストコンクリートは、雑材料の対象としない。 2. 雑材料には、パイプレータ損料等を含む。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	レディーミクストコンクリート		m ³	10.4	割増しを含む	世話役		人	0.44		特殊作業員		人	0.89		普通作業員		人	1.33		雑材料		%	2	労務費の%	
基礎砕石敷均し(敷均し)																																																																																																					
↓																																																																																																					
基礎砕石敷均し(突固め)																																																																																																					
↓																																																																																																					
捨コンクリート																																																																																																					
2-12-6-3																																																																																																					
代価表の作成	→ 基礎砕石敷均し 10m ³ 当り代価表																																																																																																				
↓																																																																																																					
代価表の作成	→ 捨コンクリート 10m ³ 当り代価表																																																																																																				
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																	
基礎砕石		m ³	12	割増しを含む																																																																																																	
特殊作業員		人	0.3																																																																																																		
普通作業員		人	1.8																																																																																																		
雑材料		%	3	労務費の%																																																																																																	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																	
レディーミクストコンクリート		m ³	10.4	割増しを含む																																																																																																	
世話役		人	0.4																																																																																																		
特殊作業員		人	0.8																																																																																																		
普通作業員		人	1.2																																																																																																		
雑材料		%	2	労務費の%																																																																																																	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																	
レディーミクストコンクリート		m ³	10.4	割増しを含む																																																																																																	
世話役		人	0.44																																																																																																		
特殊作業員		人	0.89																																																																																																		
普通作業員		人	1.33																																																																																																		
雑材料		%	2	労務費の%																																																																																																	

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																												
第3章6節 上部工 3-6-34	<p>2-12-7 コンクリート表面はつり 2-12-7-1 代価表作成手順</p> <p>・施工区分 ・供用係数</p> <p style="text-align: center;">2-12-7-2 → 代価表の作成 → ・コンクリートはつり 100m²当り代価表</p> <p>2-12-7-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) コンクリートはつり 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="409 558 1258 848"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td>排出ガス対策型 7.5~7.8m³/min</td> <td>日</td> <td colspan="2">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>さく岩機</td> <td>コンクリートブレード 20kg級</td> <td>〃</td> <td colspan="2">3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>台船運転</td> <td>鋼100t積</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D200PS型</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) はつり厚さは2cmを標準とする。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	空気圧縮機	排出ガス対策型 7.5~7.8m ³ /min	日	1			さく岩機	コンクリートブレード 20kg級	〃	3			台船運転	鋼100t積	〃	-	1	就業8H	引船	鋼D200PS型	〃	-	1	運2H/就8H	特殊作業員		人	3			雑材料							
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																							
		陸上	海上																																												
空気圧縮機	排出ガス対策型 7.5~7.8m ³ /min	日	1																																												
さく岩機	コンクリートブレード 20kg級	〃	3																																												
台船運転	鋼100t積	〃	-	1	就業8H																																										
引船	鋼D200PS型	〃	-	1	運2H/就8H																																										
特殊作業員		人	3																																												
雑材料																																															
第3章7節 付属工 (参考資料-1) 3-7-(1)	<p>参考資料-1 FRPモルタル被覆</p> <p>1. 適用範囲 本項は、鋼構造物の表面を防食材料等で被覆する被覆防食工法のうち、新設の鋼管杭・鋼管矢板等に取付けるFRPモルタル被覆(防食カバー付)の防食施工に適用する。</p> <p>2. 施工フロー</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" data-bbox="700 1150 967 1541"> <tr><td>足場設置撤去 (設置)</td></tr> <tr><td>↓</td></tr> <tr><td>下地処理</td></tr> <tr><td>↓</td></tr> <tr><td>防食カバー取付</td></tr> <tr><td>↓</td></tr> <tr><td>モルタル注入</td></tr> <tr><td>↓</td></tr> <tr><td>足場設置撤去 (撤去)</td></tr> </table> </div> <p>注) 本項の歩掛は、の部分である。</p>	足場設置撤去 (設置)	↓	下地処理	↓	防食カバー取付	↓	モルタル注入	↓	足場設置撤去 (撤去)																																					
足場設置撤去 (設置)																																															
↓																																															
下地処理																																															
↓																																															
防食カバー取付																																															
↓																																															
モルタル注入																																															
↓																																															
足場設置撤去 (撤去)																																															

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

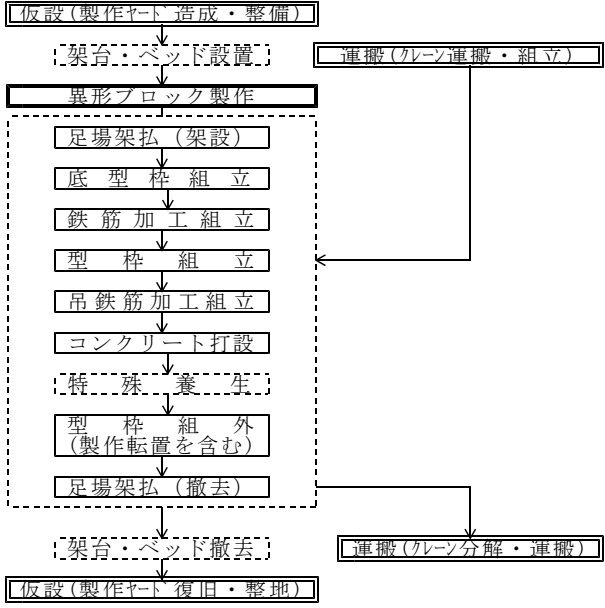
掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章7節 付属工 (参考資料-1) 3-7-(1)</p>	<p>3. 数量の算出 下地処理面積は、防食対象表面積とする。</p> <p>4. 代価表作成手順</p> <p>・現場条件 → 施工区分の選定 → ①施工区分 (陸上、海上施工)</p> <p>↓</p> <p>・現場条件 → 足場の必要性の検討 → ・足場が必要な場合に計上</p> <p>↓</p> <p>[足場設置撤去の積算] 代価表の作成 → ・足場設置撤去 10本当り代価表</p> <p>↓</p> <p>[下地処理の積算] 代価表の作成 → ・下地処理100m²当り 代価表</p> <p>↓</p> <p>[防食カバー取付の積算] ①施工区分 ・現場条件 → 作業船・機械の規格の決定 → ②作業船・機械規格</p> <p>↓</p> <p>①施工区分 ②作業船・機械規格 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・防食カバー取付 10本当り代価表</p> <p>↓</p> <p>[モルタル注入の積算] ①施工区分 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・モルタル注入10m³当り 代価表</p> <p>5. 施工方式</p> <p>1) 防食カバー取付 防食カバーは非分割型カバーとし、陸上クレーンまたはクレーン付台船により取付ける。</p> <p>2) モルタル注入 モルタルは、レディーミクストモルタルとする。 モルタル注入は、グラウトポンプにより圧送することを標準とする。</p>		

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																																														
第3章7節 付属工 (参考資料-1) 3-7-(2)	<p>6. 施工歩掛</p> <p>1) 代価表</p> <p>(1) 足場設置撤去 10本当り</p> <table border="1" data-bbox="409 388 1320 835"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸 上</th> <th>海 上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足 場 材 料 費</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">15</td> <td>労務費の%</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.6</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 運転</td> <td>t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>0.6</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>0.6</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 士</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水送気員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水連絡員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">3.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">1.5</td> <td>空気圧縮機を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.クレーン類の規格は、現場条件により決定する。 2.引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ」による。</p> <p>(2) 下地処理 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="409 982 1320 1220"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>潜水世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 士</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">4.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水送気員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">2.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水連絡員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">2.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">2.5</td> <td>空気圧縮機を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 防食カバー取付 10本当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1297 1320 1808"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形 状 寸 法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>陸 上</th> <th>海 上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防 食 カ バ ー</td> <td>φ = , ℓ =</td> <td>本</td> <td colspan="2">10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 運転</td> <td>t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>0.5</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 "</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>0.5</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>溶 接 機</td> <td>D300A</td> <td>"</td> <td colspan="2">0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 士</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水送気員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水連絡員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2">2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">2.0</td> <td>空気圧縮機、溶接棒を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.クレーン類の規格は、現場条件により決定する。 2.引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ」による。</p>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸 上	海 上	足 場 材 料 費		%	15		労務費の%	トラッククレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.6	-	標準運転時間	クレーン付台船 運転	t吊	"	-	0.6	運6H/就8H	引 船 "	鋼D PS型	"	-	0.6	運2H/就8H	潜水世話役		人	0.5			潜 水 士		"	1.0			潜水送気員		"	0.5			潜水連絡員		"	0.5			普通作業員		"	3.7			雑 材 料		%	1.5		空気圧縮機を含む	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	潜水世話役		人	0.5			潜 水 士		"	4.2			潜水送気員		"	2.1			潜水連絡員		"	2.1			普通作業員		"	2.5			雑 材 料		%	2.5		空気圧縮機を含む	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	陸 上	海 上	防 食 カ バ ー	φ = , ℓ =	本	10			トラッククレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.5	-	標準運転時間	クレーン付台船 運転	t吊	"	-	0.5	運6H/就8H	引 船 "	鋼D PS型	"	-	0.5	運2H/就8H	溶 接 機	D300A	"	0.9			潜水世話役		人	0.1			潜 水 士		"	1.1			潜水送気員		"	0.6			潜水連絡員		"	0.6			溶 接 工		"	1.1			普通作業員		"	2.2			雑 材 料		%	2.0		空気圧縮機、溶接棒を含む		
名 称	形 状 寸 法				単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																									
		陸 上	海 上																																																																																																																																																																																														
足 場 材 料 費		%	15		労務費の%																																																																																																																																																																																												
トラッククレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.6	-	標準運転時間																																																																																																																																																																																												
クレーン付台船 運転	t吊	"	-	0.6	運6H/就8H																																																																																																																																																																																												
引 船 "	鋼D PS型	"	-	0.6	運2H/就8H																																																																																																																																																																																												
潜水世話役		人	0.5																																																																																																																																																																																														
潜 水 士		"	1.0																																																																																																																																																																																														
潜水送気員		"	0.5																																																																																																																																																																																														
潜水連絡員		"	0.5																																																																																																																																																																																														
普通作業員		"	3.7																																																																																																																																																																																														
雑 材 料		%	1.5		空気圧縮機を含む																																																																																																																																																																																												
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																												
潜水世話役		人	0.5																																																																																																																																																																																														
潜 水 士		"	4.2																																																																																																																																																																																														
潜水送気員		"	2.1																																																																																																																																																																																														
潜水連絡員		"	2.1																																																																																																																																																																																														
普通作業員		"	2.5																																																																																																																																																																																														
雑 材 料		%	2.5		空気圧縮機を含む																																																																																																																																																																																												
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																																												
			陸 上	海 上																																																																																																																																																																																													
防 食 カ バ ー	φ = , ℓ =	本	10																																																																																																																																																																																														
トラッククレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	0.5	-	標準運転時間																																																																																																																																																																																												
クレーン付台船 運転	t吊	"	-	0.5	運6H/就8H																																																																																																																																																																																												
引 船 "	鋼D PS型	"	-	0.5	運2H/就8H																																																																																																																																																																																												
溶 接 機	D300A	"	0.9																																																																																																																																																																																														
潜水世話役		人	0.1																																																																																																																																																																																														
潜 水 士		"	1.1																																																																																																																																																																																														
潜水送気員		"	0.6																																																																																																																																																																																														
潜水連絡員		"	0.6																																																																																																																																																																																														
溶 接 工		"	1.1																																																																																																																																																																																														
普通作業員		"	2.2																																																																																																																																																																																														
雑 材 料		%	2.0		空気圧縮機、溶接棒を含む																																																																																																																																																																																												

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																
第3章7節 付属工 (参考資料-1) 3-7-(3)	(4) モルタル注入 10m ³ 当り <table border="1" data-bbox="403 338 1308 814"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストモルタル</td> <td></td> <td>m³</td> <td colspan="2">13</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>台 船 運 転</td> <td>鋼100t積</td> <td>日</td> <td>-</td> <td><u>1.1</u></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 "</td> <td>鋼D200PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td><u>1.1</u></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>グラウトポンプ</td> <td>37~100ℓ/min</td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>1.1</u></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出カ^ス対策型 45kVA</td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>1.1</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2"><u>0.1</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 士</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>0.5</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 送 気 員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>0.3</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 連 絡 員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>0.3</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>0.8</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>2.1</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">1.5</td> <td>空気圧縮機を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="403 831 988 856">注) レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	レディーミクストモルタル		m ³	13		割増しを含む	台 船 運 転	鋼100t積	日	-	<u>1.1</u>	就業8H	引 船 "	鋼D200PS型	"	-	<u>1.1</u>	運2H/就8H	グラウトポンプ	37~100ℓ/min	"	<u>1.1</u>		就業8H	発 動 発 電 機	排出カ ^ス 対策型 45kVA	"	<u>1.1</u>			潜 水 世 話 役		人	<u>0.1</u>			潜 水 士		"	<u>0.5</u>			潜 水 送 気 員		"	<u>0.3</u>			潜 水 連 絡 員		"	<u>0.3</u>			特 殊 作 業 員		"	<u>0.8</u>			普 通 作 業 員		"	<u>2.1</u>			雑 材 料		%	1.5		空気圧縮機を含む	(4) モルタル注入 10m ³ 当り <table border="1" data-bbox="1590 338 2496 814"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストモルタル</td> <td></td> <td>m³</td> <td colspan="2">13</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>台 船 運 転</td> <td>鋼100t積</td> <td>日</td> <td>-</td> <td><u>1.22</u></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 "</td> <td>鋼D200PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td><u>1.22</u></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>グラウトポンプ</td> <td>37~100ℓ/min</td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>1.22</u></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出カ^ス対策型 45kVA</td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>1.22</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2"><u>0.11</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 士</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>0.56</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 送 気 員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>0.33</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 連 絡 員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>0.33</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>0.89</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td colspan="2"><u>2.33</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">1.5</td> <td>空気圧縮機を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1590 831 2175 856">注) レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	レディーミクストモルタル		m ³	13		割増しを含む	台 船 運 転	鋼100t積	日	-	<u>1.22</u>	就業8H	引 船 "	鋼D200PS型	"	-	<u>1.22</u>	運2H/就8H	グラウトポンプ	37~100ℓ/min	"	<u>1.22</u>		就業8H	発 動 発 電 機	排出カ ^ス 対策型 45kVA	"	<u>1.22</u>			潜 水 世 話 役		人	<u>0.11</u>			潜 水 士		"	<u>0.56</u>			潜 水 送 気 員		"	<u>0.33</u>			潜 水 連 絡 員		"	<u>0.33</u>			特 殊 作 業 員		"	<u>0.89</u>			普 通 作 業 員		"	<u>2.33</u>			雑 材 料		%	1.5		空気圧縮機を含む	
	名称				形状寸法	単位		数量		摘要																																																																																																																																																									
陸上		海上																																																																																																																																																																	
レディーミクストモルタル		m ³	13		割増しを含む																																																																																																																																																														
台 船 運 転	鋼100t積	日	-	<u>1.1</u>	就業8H																																																																																																																																																														
引 船 "	鋼D200PS型	"	-	<u>1.1</u>	運2H/就8H																																																																																																																																																														
グラウトポンプ	37~100ℓ/min	"	<u>1.1</u>		就業8H																																																																																																																																																														
発 動 発 電 機	排出カ ^ス 対策型 45kVA	"	<u>1.1</u>																																																																																																																																																																
潜 水 世 話 役		人	<u>0.1</u>																																																																																																																																																																
潜 水 士		"	<u>0.5</u>																																																																																																																																																																
潜 水 送 気 員		"	<u>0.3</u>																																																																																																																																																																
潜 水 連 絡 員		"	<u>0.3</u>																																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		"	<u>0.8</u>																																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		"	<u>2.1</u>																																																																																																																																																																
雑 材 料		%	1.5		空気圧縮機を含む																																																																																																																																																														
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																																																																														
			陸上	海上																																																																																																																																																															
レディーミクストモルタル		m ³	13		割増しを含む																																																																																																																																																														
台 船 運 転	鋼100t積	日	-	<u>1.22</u>	就業8H																																																																																																																																																														
引 船 "	鋼D200PS型	"	-	<u>1.22</u>	運2H/就8H																																																																																																																																																														
グラウトポンプ	37~100ℓ/min	"	<u>1.22</u>		就業8H																																																																																																																																																														
発 動 発 電 機	排出カ ^ス 対策型 45kVA	"	<u>1.22</u>																																																																																																																																																																
潜 水 世 話 役		人	<u>0.11</u>																																																																																																																																																																
潜 水 士		"	<u>0.56</u>																																																																																																																																																																
潜 水 送 気 員		"	<u>0.33</u>																																																																																																																																																																
潜 水 連 絡 員		"	<u>0.33</u>																																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		"	<u>0.89</u>																																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		"	<u>2.33</u>																																																																																																																																																																
雑 材 料		%	1.5		空気圧縮機を含む																																																																																																																																																														

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント								
<p>第3章8節 消波工 3-8-3</p>	<p>2. 消波ブロック工 2-1 消波ブロック製作 消波ブロック製作に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="424 369 1332 447"> <thead> <tr> <th>種別 (レベル3)</th> <th>細別 (レベル4)</th> <th colspan="2">積算要素 (レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消波ブロック工</td> <td>消波ブロック製作</td> <td>異形ブロック製作</td> <td>異形ブロック製作 10個当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-1-1 適用範囲 本項は、異形ブロックおよび直立消波ブロックを製作する工事に適用する。</p> <p>2-1-2 施工フロー</p>  <p>注) 1. 本項の歩掛は、異形ブロック製作の部分である。 2. 製作転置とは、型枠脱型場所から製作場所仮置場までのブロックの移動であり、クレーンによる50m未満の範囲内の作業である。</p> <p>2-1-3 代価表作成手順 [ブロック製作の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック諸元 → 2-1-4-1 ブロック質量の決定 →①ブロック実質量 ↓ ・ブロック実質量 ・現場条件 → 2-1-4-2 クレーンの選定 →②製作クレーン機種・規格 ③製作転置クレーン機種・規格 ↓ ①ブロック実質量 → 2-1-4-3 型枠組立組外歩掛の選定 →④型枠面積 100m²当り歩掛 ↓ ④型枠面積 100m²当り歩掛 ・10個当り型枠面積 → 型枠組立組外歩掛の算定 →⑤10個当り型枠歩掛 ↓ ①ブロック実質量 → 打設歩掛の選定 →⑥コンクリート 100m³当り打設歩掛 ↓ 	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)		消波ブロック工	消波ブロック製作	異形ブロック製作	異形ブロック製作 10個当り		
種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)									
消波ブロック工	消波ブロック製作	異形ブロック製作	異形ブロック製作 10個当り								

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																															
<p>第3章8節 港湾工事 3-8-4</p>	<p>⑥コンクリート打設歩掛 ・100m²当り打設歩掛 ・10個当りコンクリート量 → コンクリート打設歩掛の算定 → ⑦10個当りコンクリート打設歩掛</p> <p>↓ (鉄筋及び吊鉄筋が必要な場合) → 市場単価適用の検討 → ⑧鉄筋市場単価 ・鉄筋場所 ・吊鉄筋市場単価 ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓ ⑤10個当りコンクリート打設歩掛 ⑧10個当り鉄筋歩掛の有無無 → 製作歩掛の計算 → ⑩10個当り製作歩掛 ⑨10個当り吊鉄筋歩掛の有無無</p> <p>↓ ⑩10個当り製作歩掛 ⑧鉄筋市場単価 ⑨吊鉄筋市場単価 ③製作転置用機種・規格 → 代価表の作成 → 異形ブロック製作 ・10個当り代価表</p> <p>↓ [その他の積算] (賃料) → 架台・ベットの検討 → ・必要な場合別途積算</p> <p>2-1-4 施工歩掛 2-1-4-1 フラック質量の選定 製作対象ブロックの実質量よりブロック製作歩掛数量を選定する。</p> <p>2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン クレーンの機種・規格は、ブロック実質量を対象とし、下表により選定する。</p> <table border="1" data-bbox="368 919 1181 1184"> <thead> <tr> <th rowspan="3">ブロック実質量</th> <th colspan="3">機種・規格</th> </tr> <tr> <th>型枠工用</th> <th colspan="2">コンクリート工用、製作転置用</th> </tr> <tr> <th>ラフテレンクレーン</th> <th>ラフテレンクレーン</th> <th>クローラクレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5t以下</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 25t吊</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>2.5tを超えて 5.5t "</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 35t吊</td> </tr> <tr> <td>5.5tを超えて11.0t "</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 50t吊</td> <td rowspan="3">(油) 100t吊</td> </tr> <tr> <td>11.0tを超えて50.0t "</td> <td>(油) 25t吊</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>50.0tを超えて70.0t "</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 150t吊</td> </tr> <tr> <td>70.0tを超える</td> <td>(油) 25t吊</td> <td></td> <td>(油) 200t吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーン規格は現場条件により大型の規格を選定できる。 2. 同一工事において製作・据付を二連して施工する場合は、製作転置用クレーンと比較し、大型規格のクレーンを使用する。</p> <p>2-1-4-3 製作歩掛等 製作に係わる型枠およびコンクリートの歩掛数量は、ブロック実質量により選定する。</p> <p>1) 型枠100m²当り組立組外歩掛(a)</p> <table border="1" data-bbox="368 1331 1347 1709"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">ブロック実質量(t)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>2.5以下</th> <th>2.5を超えて 5.5以下</th> <th>5.5を超えて 11.0以下</th> <th>11.0を超えて 25.0以下</th> <th>25.0を超えて 50.0以下</th> <th>50.0 を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td>人</td> <td>(0.68)</td> <td>(0.68)</td> <td>(0.58)</td> <td>(0.36)</td> <td>(0.23)</td> <td>(0.23)</td> <td rowspan="6"></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>"</td> <td>(0.61)</td> <td>(0.60)</td> <td>(0.60)</td> <td>(0.58)</td> <td>(0.55)</td> <td>(0.45)</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>"</td> <td>(0.42)</td> <td>(0.40)</td> <td>(0.20)</td> <td>(0.16)</td> <td>(0.09)</td> <td>(0.09)</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン (型枠工用)</td> <td>日</td> <td>0.50</td> <td>0.50</td> <td>0.50</td> <td>0.40</td> <td>0.40</td> <td>0.40</td> </tr> <tr> <td>ラフテレンクレーン (製作転置用)</td> <td>"</td> <td>0.21</td> <td>0.14</td> <td>0.13</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン (製作転置用)</td> <td>"</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.10</td> <td>0.06</td> <td>0.04</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 本歩掛はシャクル(連結金具)設置の有無に関わらず適用できる。なお、必要によりシャクル材料 2. 本歩掛は、鋼製型枠の組立・脱型及びFRP型枠使用を標準とし、木製型枠の場合は別途計上する。 3. 本歩掛には、型枠の組立・脱型及び型枠清掃、剥離材塗布及び製作転置が含まれる。 4. 本歩掛は、製作転置にかかる歩掛で内数。 5. クレーンの機種・規格は、「本節 2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン」による。</p>	ブロック実質量	機種・規格			型枠工用	コンクリート工用、製作転置用		ラフテレンクレーン	ラフテレンクレーン	クローラクレーン	2.5t以下	(油) 25t吊	(油) 25t吊	-	2.5tを超えて 5.5t "	(油) 25t吊	(油) 35t吊	5.5tを超えて11.0t "	(油) 25t吊	(油) 50t吊	(油) 100t吊	11.0tを超えて50.0t "	(油) 25t吊	-	50.0tを超えて70.0t "	(油) 25t吊	(油) 150t吊	70.0tを超える	(油) 25t吊		(油) 200t吊	名称	単位	ブロック実質量(t)						摘要	2.5以下	2.5を超えて 5.5以下	5.5を超えて 11.0以下	11.0を超えて 25.0以下	25.0を超えて 50.0以下	50.0 を超える	世話役	人	(0.68)	(0.68)	(0.58)	(0.36)	(0.23)	(0.23)		特殊作業員	"	(0.61)	(0.60)	(0.60)	(0.58)	(0.55)	(0.45)	普通作業員	"	(0.42)	(0.40)	(0.20)	(0.16)	(0.09)	(0.09)	ラフテレンクレーン (型枠工用)	日	0.50	0.50	0.50	0.40	0.40	0.40	ラフテレンクレーン (製作転置用)	"	0.21	0.14	0.13	-	-	-	クローラクレーン (製作転置用)	"	-	-	-	0.10	0.06	0.04		
ブロック実質量	機種・規格																																																																																																	
	型枠工用		コンクリート工用、製作転置用																																																																																															
	ラフテレンクレーン	ラフテレンクレーン	クローラクレーン																																																																																															
2.5t以下	(油) 25t吊	(油) 25t吊	-																																																																																															
2.5tを超えて 5.5t "	(油) 25t吊	(油) 35t吊																																																																																																
5.5tを超えて11.0t "	(油) 25t吊	(油) 50t吊	(油) 100t吊																																																																																															
11.0tを超えて50.0t "	(油) 25t吊	-																																																																																																
50.0tを超えて70.0t "	(油) 25t吊			(油) 150t吊																																																																																														
70.0tを超える	(油) 25t吊		(油) 200t吊																																																																																															
名称	単位	ブロック実質量(t)						摘要																																																																																										
		2.5以下	2.5を超えて 5.5以下	5.5を超えて 11.0以下	11.0を超えて 25.0以下	25.0を超えて 50.0以下	50.0 を超える																																																																																											
世話役	人	(0.68)	(0.68)	(0.58)	(0.36)	(0.23)	(0.23)																																																																																											
特殊作業員	"	(0.61)	(0.60)	(0.60)	(0.58)	(0.55)	(0.45)																																																																																											
普通作業員	"	(0.42)	(0.40)	(0.20)	(0.16)	(0.09)	(0.09)																																																																																											
ラフテレンクレーン (型枠工用)	日	0.50	0.50	0.50	0.40	0.40	0.40																																																																																											
ラフテレンクレーン (製作転置用)	"	0.21	0.14	0.13	-	-	-																																																																																											
クローラクレーン (製作転置用)	"	-	-	-	0.10	0.06	0.04																																																																																											

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																																																										
第3章8節 消波工 3-8-5	2) コンクリート100m ³ 当り打設歩掛(b) <table border="1" data-bbox="379 338 1359 625"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="6">ブロック実質量(t)</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>2.5以下</th> <th>2.5を超えて 5.5以下</th> <th>5.5を超えて 11.0以下</th> <th>11.0を超えて 25.0以下</th> <th>25.0を超えて 50.0以下</th> <th>50.0 を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役 人</td> <td>人</td> <td>1.60</td> <td>1.60</td> <td>1.60</td> <td>0.90</td> <td>0.70</td> <td>0.70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>2.90</td> <td>2.90</td> <td>2.90</td> <td>1.80</td> <td>1.50</td> <td>1.40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>4.80 (1.60)</td> <td>4.80 (1.60)</td> <td>4.50 (1.30)</td> <td>3.50 (1.00)</td> <td>2.70 (0.60)</td> <td>2.50 (0.60)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン (コンクリート工用)</td> <td>日</td> <td>2.30</td> <td>1.80</td> <td>1.70</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン (コンクリート工用)</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.20</td> <td>0.80</td> <td>0.60</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 上記により難しい場合は、別途考慮する。 2. 普通作業員欄の下段()書きは、一般養生にかかる人数で内数。 3. 一般養生とは、むしろ、シート掛け、養生剤程度のものである。 4. 給熱養生の必要がある場合は別途考慮する。その場合は一般養生にかかる普通作業員を除き別途加算する。 5. クレーンの機種・規格は、「本節 2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン」による。</p> <p>3) 鉄筋および吊鉄筋加工組立市場単価「土木工事・鉄筋工(一般構造物)」を適用する。 なお、市場単価には鉄筋荷卸し費用、およびクレーンを必要とする場合の賃料が含まれる。</p> <p>4) 雑材料は、型枠剥離剤、インパクトレンチ、電力に関する費用、コンクリートバケット、パイプレタ、養生シート、ワイヤーロープおよび足場の費用であり、労務費に次表の率を乗じた金額を上限とする。</p> <table border="1" data-bbox="379 911 1190 1020"> <thead> <tr> <th>コンクリート打設高さ(H)</th> <th>H<2.0m</th> <th colspan="2">2.0m≤H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブロック形式</td> <td>全形式</td> <td>立体型</td> <td>平型</td> </tr> <tr> <td>雑材料率</td> <td>3.0%</td> <td>12.0%</td> <td>13.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 一般養生を行わない場合も適用できる。 2. 階段型、直積型および函塊型の場合は、平型を適用する。</p> <p>5) 代価表 (1) 異形ブロック製作 10個当り</p> <table border="1" data-bbox="379 1131 1344 1661"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レターミクストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td>V×(1+W/100)×10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>型 枠 賃 料</td> <td></td> <td>m²</td> <td>A×10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄 筋</td> <td></td> <td>kg</td> <td>R_i×(1+W/100)×10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>吊 鉄 筋</td> <td></td> <td>kg</td> <td>R_j×(1+W/100)×10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 加 工 組 立</td> <td>一般構造物</td> <td>kg</td> <td>ΣR_i×10</td> <td>市場単価(土木工事・鉄筋工)</td> </tr> <tr> <td>吊 鉄 筋 加 工 組 立</td> <td>一般構造物</td> <td>kg</td> <td>ΣR_j×10</td> <td>市場単価(土木工事・鉄筋工)</td> </tr> <tr> <td>世 話 役 人</td> <td></td> <td>人</td> <td>A×10×$\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>A×10×$\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>A×10×$\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン (型枠工用)</td> <td>排出ガス対策型 (油) t吊</td> <td>日</td> <td>A×10×$\frac{a}{100}$</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン (コンクリート工用、製作転置用)</td> <td>排出ガス対策型 (油) t吊</td> <td>日</td> <td>A×10×$\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン (コンクリート工用、製作転置用)</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>A×10×$\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td>「本節 2-1-4-3 4) 雑材料」による</td> <td>労務費の%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. V : ブロック1個当りコンクリート設計量 (m³) 2. A : ブロック1個当り型枠面積 (m²) 3. R_i, R_j : ブロック1個当り鉄筋または吊鉄筋質量(kg) 4. a : 型枠100m²当り組立組外歩掛(m²) 5. b : コンクリート100m³当り打設歩掛(m³) 6. W : 材料割増率(%) 7. 数量は、小数3位四捨五入とする。 8. 材料割増率は、「本節 1-5-2 材料割増率」による。 9. 架台、ベッド等が必要な場合は、別途計上する。 10. 連結鉄筋、連結金具が必要な場合は、別途計上する。</p>	名 称	単 位	ブロック実質量(t)						摘 要	2.5以下	2.5を超えて 5.5以下	5.5を超えて 11.0以下	11.0を超えて 25.0以下	25.0を超えて 50.0以下	50.0 を超える	世 話 役 人	人	1.60	1.60	1.60	0.90	0.70	0.70		特殊作業員	人	2.90	2.90	2.90	1.80	1.50	1.40		普通作業員	人	4.80 (1.60)	4.80 (1.60)	4.50 (1.30)	3.50 (1.00)	2.70 (0.60)	2.50 (0.60)		ラフテレーンクレーン (コンクリート工用)	日	2.30	1.80	1.70	-	-	-		クローラクレーン (コンクリート工用)	日	-	-	-	1.20	0.80	0.60		コンクリート打設高さ(H)	H<2.0m	2.0m≤H		ブロック形式	全形式	立体型	平型	雑材料率	3.0%	12.0%	13.0%	名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要	レターミクストコンクリート		m ³	V×(1+W/100)×10	割増しを含む	型 枠 賃 料		m ²	A×10		鉄 筋		kg	R _i ×(1+W/100)×10	割増しを含む	吊 鉄 筋		kg	R _j ×(1+W/100)×10	割増しを含む	鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	ΣR _i ×10	市場単価(土木工事・鉄筋工)	吊 鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	ΣR _j ×10	市場単価(土木工事・鉄筋工)	世 話 役 人		人	A×10× $\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$		特 殊 作 業 員		人	A×10× $\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$		普 通 作 業 員		人	A×10× $\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$		ラフテレーンクレーン (型枠工用)	排出ガス対策型 (油) t吊	日	A×10× $\frac{a}{100}$	標準運転時間	ラフテレーンクレーン (コンクリート工用、製作転置用)	排出ガス対策型 (油) t吊	日	A×10× $\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$	標準運転時間	クローラクレーン (コンクリート工用、製作転置用)	(油) t吊	日	A×10× $\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$	標準運転時間	雑 材 料		%	「本節 2-1-4-3 4) 雑材料」による	労務費の%	2) コンクリート100m ³ 当り打設歩掛(b) <table border="1" data-bbox="1567 338 2546 625"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="6">ブロック実質量(t)</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>2.5以下</th> <th>2.5を超えて 5.5以下</th> <th>5.5を超えて 11.0以下</th> <th>11.0を超えて 25.0以下</th> <th>25.0を超えて 50.0以下</th> <th>50.0 を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役 人</td> <td>人</td> <td>1.78</td> <td>1.78</td> <td>1.78</td> <td>1.00</td> <td>0.78</td> <td>0.78</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>3.22</td> <td>3.22</td> <td>3.22</td> <td>2.00</td> <td>1.67</td> <td>1.56</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>5.34 (1.78)</td> <td>5.34 (1.78)</td> <td>5.00 (1.44)</td> <td>3.89 (1.11)</td> <td>3.00 (0.67)</td> <td>2.78 (0.67)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン (コンクリート工用)</td> <td>日</td> <td>2.56</td> <td>2.00</td> <td>1.89</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン (コンクリート工用)</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.33</td> <td>0.89</td> <td>0.67</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 上記により難しい場合は、別途考慮する。 2. 普通作業員欄の下段()書きは、一般養生にかかる人数で内数。 3. 一般養生とは、むしろ、シート掛け、養生剤程度のものである。 4. 給熱養生の必要がある場合は別途考慮する。その場合は一般養生にかかる普通作業員を除き別途加算する。 5. クレーンの機種・規格は、「本節 2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン」による。</p>	名 称	単 位	ブロック実質量(t)						摘 要	2.5以下	2.5を超えて 5.5以下	5.5を超えて 11.0以下	11.0を超えて 25.0以下	25.0を超えて 50.0以下	50.0 を超える	世 話 役 人	人	1.78	1.78	1.78	1.00	0.78	0.78		特殊作業員	人	3.22	3.22	3.22	2.00	1.67	1.56		普通作業員	人	5.34 (1.78)	5.34 (1.78)	5.00 (1.44)	3.89 (1.11)	3.00 (0.67)	2.78 (0.67)		ラフテレーンクレーン (コンクリート工用)	日	2.56	2.00	1.89	-	-	-		クローラクレーン (コンクリート工用)	日	-	-	-	1.33	0.89	0.67		
名 称	単 位			ブロック実質量(t)							摘 要																																																																																																																																																																																																		
		2.5以下	2.5を超えて 5.5以下	5.5を超えて 11.0以下	11.0を超えて 25.0以下	25.0を超えて 50.0以下	50.0 を超える																																																																																																																																																																																																						
世 話 役 人	人	1.60	1.60	1.60	0.90	0.70	0.70																																																																																																																																																																																																						
特殊作業員	人	2.90	2.90	2.90	1.80	1.50	1.40																																																																																																																																																																																																						
普通作業員	人	4.80 (1.60)	4.80 (1.60)	4.50 (1.30)	3.50 (1.00)	2.70 (0.60)	2.50 (0.60)																																																																																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン (コンクリート工用)	日	2.30	1.80	1.70	-	-	-																																																																																																																																																																																																						
クローラクレーン (コンクリート工用)	日	-	-	-	1.20	0.80	0.60																																																																																																																																																																																																						
コンクリート打設高さ(H)	H<2.0m	2.0m≤H																																																																																																																																																																																																											
ブロック形式	全形式	立体型	平型																																																																																																																																																																																																										
雑材料率	3.0%	12.0%	13.0%																																																																																																																																																																																																										
名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																									
レターミクストコンクリート		m ³	V×(1+W/100)×10	割増しを含む																																																																																																																																																																																																									
型 枠 賃 料		m ²	A×10																																																																																																																																																																																																										
鉄 筋		kg	R _i ×(1+W/100)×10	割増しを含む																																																																																																																																																																																																									
吊 鉄 筋		kg	R _j ×(1+W/100)×10	割増しを含む																																																																																																																																																																																																									
鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	ΣR _i ×10	市場単価(土木工事・鉄筋工)																																																																																																																																																																																																									
吊 鉄 筋 加 工 組 立	一般構造物	kg	ΣR _j ×10	市場単価(土木工事・鉄筋工)																																																																																																																																																																																																									
世 話 役 人		人	A×10× $\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$																																																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		人	A×10× $\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$																																																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		人	A×10× $\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$																																																																																																																																																																																																										
ラフテレーンクレーン (型枠工用)	排出ガス対策型 (油) t吊	日	A×10× $\frac{a}{100}$	標準運転時間																																																																																																																																																																																																									
ラフテレーンクレーン (コンクリート工用、製作転置用)	排出ガス対策型 (油) t吊	日	A×10× $\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$	標準運転時間																																																																																																																																																																																																									
クローラクレーン (コンクリート工用、製作転置用)	(油) t吊	日	A×10× $\frac{a}{100} + \frac{V}{10} \times 10 \times \frac{b}{100}$	標準運転時間																																																																																																																																																																																																									
雑 材 料		%	「本節 2-1-4-3 4) 雑材料」による	労務費の%																																																																																																																																																																																																									
名 称	単 位	ブロック実質量(t)						摘 要																																																																																																																																																																																																					
		2.5以下	2.5を超えて 5.5以下	5.5を超えて 11.0以下	11.0を超えて 25.0以下	25.0を超えて 50.0以下	50.0 を超える																																																																																																																																																																																																						
世 話 役 人	人	1.78	1.78	1.78	1.00	0.78	0.78																																																																																																																																																																																																						
特殊作業員	人	3.22	3.22	3.22	2.00	1.67	1.56																																																																																																																																																																																																						
普通作業員	人	5.34 (1.78)	5.34 (1.78)	5.00 (1.44)	3.89 (1.11)	3.00 (0.67)	2.78 (0.67)																																																																																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン (コンクリート工用)	日	2.56	2.00	1.89	-	-	-																																																																																																																																																																																																						
クローラクレーン (コンクリート工用)	日	-	-	-	1.33	0.89	0.67																																																																																																																																																																																																						

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																								
第3章13節 舗装工 3-13-9	<p>3-3-3-2 代価表 1) 路盤材敷均し転圧 1,000m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 363 1389 730"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>モータグレーダ方式</th> <th>ブルドーザ方式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路盤材</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>モータグレーダ</td> <td>排出ガス対策型 油圧 3.1m級</td> <td>日</td> <td>0.5×N</td> <td>—</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型3t級</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>0.9×N</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型 8～20t</td> <td>〃</td> <td>0.8×N</td> <td>—</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型 マカダム 10～12t</td> <td>〃</td> <td>0.4×N</td> <td>—</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型 格乗式 コンバインド型 3～4t</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>0.8×N</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>3×N</td> <td>5×N</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 施工規模が小規模(モータグレーダ方式は路盤面積300m²未満、ブルドーザ方式は路盤面積250m²未満)である場合、本歩掛は適用対象外とする。 2. N: 転圧層数 3. 1層の仕上厚は10cm以上を標準とし、上層路盤15cm以下、下層路盤20cm以下とする。 4. 上記歩掛は、凍上抑制層の施工にも適用する。</p> <p>2) 路盤材敷均し転圧(人力) 1日(757m²)当り</p> <table border="1" data-bbox="433 871 1255 1060"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>人力</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路盤材</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>振動ローラ</td> <td>排出ガス対策型 格乗式 コンバインド型 3～4t</td> <td>日</td> <td>1×N</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. N: 転圧層数 2. 1層の仕上厚は10cm以下とする。 3. 上記歩掛は、凍上抑制層の施工にも適用する。</p> <p>3-4 コンクリート舗装 3-4-1 鋼製型枠・軌条設置撤去 3-4-1-1 代価表作成手順</p> <p>[鋼製型枠設置撤去]</p> <pre> graph TD A[施工時期] --> B[3-4-1-3 型枠供用日数の算出] B --> C[①型枠供用日数] B --> D[型枠供用損料の算出] D --> E[②100m当り型枠供用損料] E --> F[代価表の作成] F --> G[鋼製型枠設置撤去 100m当り代価表] </pre> <p>[軌条設置撤去]</p> <pre> graph TD H[型枠設置の有無] --> I[3-4-1-2 軌条設備計上の検討] I --> J[③既設コンクリート上には軌条設備を計上] I --> K[3-4-1-3 代価表の作成] L[③軌条設備を計上する場合] --> K K --> M[軌条設置撤去 100m当り代価表] </pre> <p>3-4-1-2 施工方式 1) 型枠は鋼製型枠を標準とする。 2) 軌条設置撤去は大型機械舗設において、既設コンクリート上に軌条を設置する場合に計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	モータグレーダ方式	ブルドーザ方式	路盤材		m ³			割増しを含む	モータグレーダ	排出ガス対策型 油圧 3.1m級	日	0.5×N	—	標準運転時間	ブルドーザ	排出ガス対策型3t級	〃	—	0.9×N	〃	タイヤローラ	排出ガス対策型 8～20t	〃	0.8×N	—	〃	ロードローラ	排出ガス対策型 マカダム 10～12t	〃	0.4×N	—	〃	振動ローラ	排出ガス対策型 格乗式 コンバインド型 3～4t	〃	—	0.8×N	〃	普通作業員		人	3×N	5×N		雑材料						名称	形状寸法	単位	数量		摘要	人力		路盤材		m ³			割増しを含む	振動ローラ	排出ガス対策型 格乗式 コンバインド型 3～4t	日	1×N		標準運転時間	普通作業員		人				雑材料							
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																			
		モータグレーダ方式	ブルドーザ方式																																																																																								
路盤材		m ³			割増しを含む																																																																																						
モータグレーダ	排出ガス対策型 油圧 3.1m級	日	0.5×N	—	標準運転時間																																																																																						
ブルドーザ	排出ガス対策型3t級	〃	—	0.9×N	〃																																																																																						
タイヤローラ	排出ガス対策型 8～20t	〃	0.8×N	—	〃																																																																																						
ロードローラ	排出ガス対策型 マカダム 10～12t	〃	0.4×N	—	〃																																																																																						
振動ローラ	排出ガス対策型 格乗式 コンバインド型 3～4t	〃	—	0.8×N	〃																																																																																						
普通作業員		人	3×N	5×N																																																																																							
雑材料																																																																																											
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																						
			人力																																																																																								
路盤材		m ³			割増しを含む																																																																																						
振動ローラ	排出ガス対策型 格乗式 コンバインド型 3～4t	日	1×N		標準運転時間																																																																																						
普通作業員		人																																																																																									
雑材料																																																																																											

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																
<p>第3章13節 舗装工 3-13-10</p>	<p>3-4-1-3 施工歩掛 1) 型枠および軌条の供用日数の算定 (1) 舗装用スチールフォーム 型枠の損料単価の算出に適用する供用日数は、下式により算定する。 $d = (d' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) d : 供用日数(日) d' : 1サイクル当り基本日数(日) K : 養生日数(日) M : 供用係数; 1.65</p> <p style="text-align: center;">1サイクル当り基本日数</p> <table border="1" data-bbox="433 520 1344 600"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養 生</th> <th>型枠組外</th> <th>計(d')</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 数</td> <td>1.0</td> <td><u>1.0</u></td> <td>1.0(2.0)</td> <td>1.0</td> <td><u>4.0(5.0)</u></td> <td>取外しまでの日数</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) () 内の値は、冬季(気温10℃以下)における型枠の基本日数である。</p> <p>(2) 軌条 軌条の損料単価の算出に適用する供用日数は、下式により算定する。 $d = d' \times M$ (小数2位四捨五入) d : 供用日数(日) d' : 1サイクル当り基本日数(日) M : 供用係数; 1.65</p> <table border="1" data-bbox="534 793 890 873"> <thead> <tr> <th>1サイクル当り基本日数(d')</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2日</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 代価表 (1) 鋼製型枠設置撤去 100m当り</p> <table border="1" data-bbox="433 947 1255 1140"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舗装用スチールフォーム損料</td> <td>軌条付き</td> <td>cm</td> <td>m</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>クレーン付トラック</td> <td>4t積 2t吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td>2.0</td> <td>ピンボールを計</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 舗装用スチールフォーム損料 = 1基・1m当り供用日損料 × 供用日数 2. 普通作業員の作業内容は、型枠据付・ピン付・小運搬・取付整備等である。</p> <p>(2) 軌条設置撤去(コンクリート上) 100m当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1234 1255 1428"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軌 条 損 料</td> <td>15kg/m</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付トラック</td> <td>4t積 2t吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td>5.0</td> <td>労務費の%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 軌条損料 = 供用日損料(1m当り) × 供用日数</p>	内 容	型枠組立	コンクリート打設	養 生	型枠組外	計(d')	摘 要	日 数	1.0	<u>1.0</u>	1.0(2.0)	1.0	<u>4.0(5.0)</u>	取外しまでの日数	1サイクル当り基本日数(d')	2日	名 称	形状寸法	単位	数 量	摘 要	舗装用スチールフォーム損料	軌条付き	cm	m	100	クレーン付トラック	4t積 2t吊	日	0.5	標準運転時間	普通作業員		人	4.5		雑 材 料		%	2.0	ピンボールを計	名 称	形状寸法	単位	数 量	摘 要	軌 条 損 料	15kg/m	m	100		普通作業員		人	3.0		クレーン付トラック	4t積 2t吊	日	0.5	標準運転時間	雑 材 料		%	5.0	労務費の%	<p>3-4-1-3 施工歩掛 1) 型枠および軌条の供用日数の算定 (1) 舗装用スチールフォーム 型枠の損料単価の算出に適用する供用日数は、下式により算定する。 $d = (d' - K) \times M + K$ (小数2位四捨五入) d : 供用日数(日) d' : 1サイクル当り基本日数(日) K : 養生日数(日) M : 供用係数; 1.65</p> <p style="text-align: center;">1サイクル当り基本日数</p> <table border="1" data-bbox="1584 520 2496 600"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>型枠組立</th> <th>コンクリート打設</th> <th>養 生</th> <th>型枠組外</th> <th>計(d')</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 数</td> <td>1.0</td> <td><u>1.11</u></td> <td>1.0(2.0)</td> <td>1.0</td> <td><u>4.11(5.11)</u></td> <td>取外しまでの日数</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) () 内の値は、冬季(気温10℃以下)における型枠の基本日数である。</p>	内 容	型枠組立	コンクリート打設	養 生	型枠組外	計(d')	摘 要	日 数	1.0	<u>1.11</u>	1.0(2.0)	1.0	<u>4.11(5.11)</u>	取外しまでの日数	
内 容	型枠組立	コンクリート打設	養 生	型枠組外	計(d')	摘 要																																																																													
日 数	1.0	<u>1.0</u>	1.0(2.0)	1.0	<u>4.0(5.0)</u>	取外しまでの日数																																																																													
1サイクル当り基本日数(d')																																																																																			
2日																																																																																			
名 称	形状寸法	単位	数 量	摘 要																																																																															
舗装用スチールフォーム損料	軌条付き	cm	m	100																																																																															
クレーン付トラック	4t積 2t吊	日	0.5	標準運転時間																																																																															
普通作業員		人	4.5																																																																																
雑 材 料		%	2.0	ピンボールを計																																																																															
名 称	形状寸法	単位	数 量	摘 要																																																																															
軌 条 損 料	15kg/m	m	100																																																																																
普通作業員		人	3.0																																																																																
クレーン付トラック	4t積 2t吊	日	0.5	標準運転時間																																																																															
雑 材 料		%	5.0	労務費の%																																																																															
内 容	型枠組立	コンクリート打設	養 生	型枠組外	計(d')	摘 要																																																																													
日 数	1.0	<u>1.11</u>	1.0(2.0)	1.0	<u>4.11(5.11)</u>	取外しまでの日数																																																																													

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章13節 舗装工 3-13-11</p>	<p>3-4-2 コンクリート舗設 3-4-2-1 代価表作成手順</p> <p>・現場条件（施工場所等） ・舗装厚</p> <p>→ 3-4-2-2 → 施工方式の決定 → ・施工方式 （大型機械舗設） （簡易機械舗設） （人力舗設）</p> <p>[大型機械舗設]</p> <p>・工事内容 → 3-4-2-3 → 能力係数の決定 → ①舗設能力係数</p> <p>↓</p> <p>・舗設施工幅 ① 舗設能力係数 → 1日当り舗設面積の算定 → ②1日当り舗設面積</p> <p>↓</p> <p>・舗設厚（コンクリート） ②1日当り舗設面積 ・鉄網の有無 → 材料数量の算出 → ③レディーミストコンクリート量 ④鉄網の有無、扱い数量</p> <p>↓</p> <p>・施工場所等の制約 → コンクリートスプレッダ機種 の選定 → ⑤コンクリートスプレッダ機種</p> <p>↓</p> <p>・舗装厚 → インナーパイプレータ計上 の検討 → ⑥舗装厚が30cmを超える場合は、 インナーパイプレータを計上</p> <p>↓</p> <p>・収縮目地の種類 → 振動目地切機の計上 の検討 → ⑦挿入工法の場合 振動目地切機を計上</p> <p>↓</p> <p>②1日当り舗設面積 ③レディーミストコンクリート量 ④鉄網の有無、扱い数量 ⑤コンクリートスプレッダ機種 ⑥インナーパイプレータの有無 ⑦振動目地切機の有無 ・舗装厚 → 代価表の作成 → ・大型機械舗設 1日（m²）当り代価表</p> <p>↓</p> <p>⑤コンクリートスプレッダ機種 → 舗設機械の移設用 ラフテレーンクレーン 規格選定 → ⑧ラフテレーンクレーン規格</p> <p>↓</p> <p>⑧ラフテレーンクレーン規格 → 代価表の作成 → ・機械移設 1回当り 代価表</p> <p>[簡易機械舗設]</p> <p>・舗装厚 ・鉄網の有無 → 3-4-2-3 → 材料数量の算出 → ①レディーミストコンクリート量 ②鉄網の有無、扱い数量</p> <p>↓</p> <p>①レディーミストコンクリート量 ②鉄網の有無、扱い数量 → 代価表の作成 → ・簡易機械舗設 1日（150m²）当り 代価表</p> <p>[人力舗設]</p> <p>・舗装厚 ・鉄網の有無 → 3-4-2-3 → 材料数量の算出 → ①レディーミストコンクリート量 ②鉄網の有無、扱い数量</p> <p>↓</p> <p>①レディーミストコンクリート量 ②鉄網の有無、扱い数量 → 代価表の作成 → ・人力舗設 1日（75m²）当り 代価表</p>		

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																							
<p>第3章 1.3節 舗装工 3-13-12</p>	<p>3-4-2-2 施工方式 施工方式は、以下のフローより選定する。ただし、現場条件等により大型機械舗設が困難な場合は、簡易機械舗設もしくは人力舗設とする。</p> <p>1) 舗設施工方式の選定フロー</p> <p>2) 施工機械の組合せ</p> <table border="1" data-bbox="430 1039 1350 1438"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工方式</th> <th colspan="3">施工機械</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>敷均し</th> <th>締固め</th> <th>仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型機械舗設</td> <td>コンクリートスプレッタ[*] (3.0～7.5m)</td> <td>・コンクリートフィニッシャ (3.0～7.5m) ・ハイフレータ 棒状 45mm 2.9kW ・インナーフレータ (3.5～8.5m)</td> <td>コンクリートレベラ (3.0～7.5m)</td> <td>インナーフレータは 舗装厚が30cmを 超える場合に使用</td> </tr> <tr> <td>簡易機械舗設</td> <td>人 力</td> <td>・ハイフレータ 棒状 45mm 2.9kW ・ハイフレータ 平面 3.3kW</td> <td>コンクリート 簡易仕上機 (3.5～5.0m)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人力舗設</td> <td>人 力</td> <td>・ハイフレータ 棒状 45mm 2.9kW ・ハイフレータ 平面 3.3kW</td> <td>人 力</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) コンクリートスプレッタは、ブレード式を標準とする。 ただし、施工場所等の制約によりブレード式により難しい場合は、ボックス式を使用する。</p> <p>3-4-2-3 施工歩掛</p> <p>1) 作業能力</p> <p>(1) コンクリートフィニッシャ</p> $1 \text{ 日 当 り 舗 設 面 積 (m}^2/\text{日)} = A \times T \quad (\text{小 数 1 位 四 捨 五 入})$ <p>T: コンクリートフィニッシャの標準運転時間(h/日) A: コンクリートフィニッシャの1時間当り舗設面積 (m²/h)</p> $A = W \times v \times E \quad (\text{小 数 3 位 四 捨 五 入})$ <p>W: 舗設施工幅 (m) v: コンクリートフィニッシャの作業速度 (22m/h) E: 舗設能力係数 (0.6)</p> <p>(2) コンクリート簡易仕上機 (簡易フィニッシャ) : <u>150</u>m²/日 (2回仕上げ)</p> <p>(3) コンクリート人力舗設 : <u>75</u>m²/日</p>	施工方式	施工機械			摘要	敷均し	締固め	仕上げ	大型機械舗設	コンクリートスプレッタ [*] (3.0～7.5m)	・コンクリートフィニッシャ (3.0～7.5m) ・ハイフレータ 棒状 45mm 2.9kW ・インナーフレータ (3.5～8.5m)	コンクリートレベラ (3.0～7.5m)	インナーフレータは 舗装厚が30cmを 超える場合に使用	簡易機械舗設	人 力	・ハイフレータ 棒状 45mm 2.9kW ・ハイフレータ 平面 3.3kW	コンクリート 簡易仕上機 (3.5～5.0m)		人力舗設	人 力	・ハイフレータ 棒状 45mm 2.9kW ・ハイフレータ 平面 3.3kW	人 力		<p>3-4-2-3 施工歩掛</p> <p>1) 作業能力</p> <p>(1) コンクリートフィニッシャ</p> $1 \text{ 日 当 り 舗 設 面 積 (m}^2/\text{日)} = A \times T \quad (\text{小 数 1 位 四 捨 五 入})$ <p>T: コンクリートフィニッシャの標準運転時間(h/日) A: コンクリートフィニッシャの1時間当り舗設面積 (m²/h)</p> $A = W \times v \times E \quad (\text{小 数 3 位 四 捨 五 入})$ <p>W: 舗設施工幅 (m) v: コンクリートフィニッシャの作業速度 (20m/h) E: 舗設能力係数 (0.6)</p> <p>(2) コンクリート簡易仕上機 (簡易フィニッシャ) : <u>135</u>m²/日 (2回仕上げ)</p> <p>(3) コンクリート人力舗設 : <u>68</u>m²/日</p>	<p>コメント</p>
施工方式	施工機械			摘要																						
	敷均し	締固め	仕上げ																							
大型機械舗設	コンクリートスプレッタ [*] (3.0～7.5m)	・コンクリートフィニッシャ (3.0～7.5m) ・ハイフレータ 棒状 45mm 2.9kW ・インナーフレータ (3.5～8.5m)	コンクリートレベラ (3.0～7.5m)	インナーフレータは 舗装厚が30cmを 超える場合に使用																						
簡易機械舗設	人 力	・ハイフレータ 棒状 45mm 2.9kW ・ハイフレータ 平面 3.3kW	コンクリート 簡易仕上機 (3.5～5.0m)																							
人力舗設	人 力	・ハイフレータ 棒状 45mm 2.9kW ・ハイフレータ 平面 3.3kW	人 力																							

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																										
第3章13節 舗装工 3-13-13	2) 代価表 (1) 大型機械舗設 1日 (m ²) 当り <table border="1" data-bbox="433 344 1332 875"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">形 状 寸 法</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">舗 装 厚</th> </tr> <tr> <th>30cm以下</th> <th>30cmを超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミクストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄 網</td> <td>φ6-150×150</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤</td> <td>PK-3</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリートフィニッシャ</td> <td>3.0～7.5m</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>コンクリートスプレッタ</td> <td>(式) 3.0～7.5m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリートレベラ</td> <td>3.0～7.5m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>インナーイフレータ</td> <td>3.5～8.5m</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>振動目地切機</td> <td>3.5～8.5m</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>10</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td>機械・労務費の%</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="433 884 1332 957"> 注) 1. 振動目地切機は挿入工法の場合に適用し、1日計上する。 2. アスファルト乳剤は1m²当り散布量(1.020/m²)×1日当り舗設面積(m²/日)を算出する。 なお、1m²当り散布量には割増しを含んでいる。 3. 雑材料は、初期・後期養生材および舗装用パイプ、アスファルト乳剤散布の費用を含む。 </p> <p data-bbox="433 966 801 989">舗設施工幅と舗装厚による雑材料率</p> <table border="1" data-bbox="442 993 1190 1192"> <thead> <tr> <th rowspan="3">舗設施工幅 (m)</th> <th colspan="2">雑材料率 (%)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">舗 装 厚</th> </tr> <tr> <th>30cm以下</th> <th>30cmを超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0m以下</td> <td>13</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>4.0mを超え6.0m未満</td> <td>17</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>6.0m以上</td> <td>20</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="332 1213 575 1239">(2) 機械移設 1回当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1243 1317 1341"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="433 1350 1365 1388">注) 舗設機械の移動に使用するラフテレーンクレーンの規格は、使用するコンクリートスプレッタの種類により決定し、下表によるものとする。</p> <table border="1" data-bbox="433 1409 1317 1507"> <thead> <tr> <th>コンクリートスプレッタ種類</th> <th>ラフテレーンクレーン規格</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブレード式</td> <td>(油) 25 t 吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボックス式</td> <td>(油) 45 t 吊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="433 1516 1009 1539">注) 現場条件により大型の規格を使用できるものとする。</p>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要	舗 装 厚		30cm以下	30cmを超える	レディミクストコンクリート		m ³			割増しを含む	鉄 網	φ6-150×150	m ²			〃	アスファルト乳剤	PK-3	ℓ			〃	コンクリートフィニッシャ	3.0～7.5m	日	1		標準運転時間	コンクリートスプレッタ	(式) 3.0～7.5m	〃	1		〃	コンクリートレベラ	3.0～7.5m	〃	1		〃	インナーイフレータ	3.5～8.5m	〃	-	1	〃	振動目地切機	3.5～8.5m	〃			運2H/就8H	世 話 役		人	1			特 殊 作 業 員		〃	5			普 通 作 業 員		〃	10			雑 材 料		%			機械・労務費の%	舗設施工幅 (m)	雑材料率 (%)		舗 装 厚		30cm以下	30cmを超える	4.0m以下	13	11	4.0mを超え6.0m未満	17	14	6.0m以上	20	18	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	ラフテレーンクレーン	(油) t吊	日	0.5		雑 材 料					コンクリートスプレッタ種類	ラフテレーンクレーン規格	摘 要	ブレード式	(油) 25 t 吊		ボックス式	(油) 45 t 吊			
名 称	形 状 寸 法				単 位	数 量		摘 要																																																																																																																					
						舗 装 厚																																																																																																																							
		30cm以下	30cmを超える																																																																																																																										
レディミクストコンクリート		m ³			割増しを含む																																																																																																																								
鉄 網	φ6-150×150	m ²			〃																																																																																																																								
アスファルト乳剤	PK-3	ℓ			〃																																																																																																																								
コンクリートフィニッシャ	3.0～7.5m	日	1		標準運転時間																																																																																																																								
コンクリートスプレッタ	(式) 3.0～7.5m	〃	1		〃																																																																																																																								
コンクリートレベラ	3.0～7.5m	〃	1		〃																																																																																																																								
インナーイフレータ	3.5～8.5m	〃	-	1	〃																																																																																																																								
振動目地切機	3.5～8.5m	〃			運2H/就8H																																																																																																																								
世 話 役		人	1																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	5																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	10																																																																																																																										
雑 材 料		%			機械・労務費の%																																																																																																																								
舗設施工幅 (m)	雑材料率 (%)																																																																																																																												
	舗 装 厚																																																																																																																												
	30cm以下	30cmを超える																																																																																																																											
4.0m以下	13	11																																																																																																																											
4.0mを超え6.0m未満	17	14																																																																																																																											
6.0m以上	20	18																																																																																																																											
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																									
ラフテレーンクレーン	(油) t吊	日	0.5																																																																																																																										
雑 材 料																																																																																																																													
コンクリートスプレッタ種類	ラフテレーンクレーン規格	摘 要																																																																																																																											
ブレード式	(油) 25 t 吊																																																																																																																												
ボックス式	(油) 45 t 吊																																																																																																																												

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																																																																																																																				
第3章13節 舗装工 3-13-14	<p>(3) 簡易機械舗設 1日 (150m²) 当り</p> <table border="1" data-bbox="424 331 1320 793"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">舗装厚</th> </tr> <tr> <th>30cm以下</th> <th>30cmを超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミキストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄網</td> <td>φ6-150×150</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤</td> <td>PK-3</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート簡易仕上機</td> <td>3.5～5.0m</td> <td>日</td> <td colspan="2">1</td> <td>就業 8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>13</td> <td>23</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>18</td> <td>13</td> <td>機械・労務費の%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. アスファルト乳剤=1m²当り散布量 (1.02ℓ/m²) × 1日当り舗設面積 (150m²/日) なお、1m²当り散布量には割増しを含んでいる。 2. 雑材料は、初期・後期養生材および舗装用パイプレタ、アスファルト乳剤散布の費用を含む。</p> <p>(4) 人力舗設 1日 (75m²) 当り</p> <table border="1" data-bbox="424 909 1397 1329"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">30cm以下</th> <th colspan="2">30cmを超える</th> </tr> <tr> <th>鉄網有り</th> <th>鉄網無し</th> <th>鉄網有り</th> <th>鉄網無し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミキストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄網</td> <td>φ6-150×150</td> <td>m²</td> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤</td> <td>PK-3</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="4">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>労務費の%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. アスファルト乳剤=1m²当り散布量 (1.02ℓ/m²) × 1日当り舗設面積 (75m²/日) なお、1m²当り散布量には割増しを含んでいる。 2. 雑材料は、初期・後期養生材および舗装用パイプレタ、アスファルト乳剤散布の費用を含む。</p> <p>— 4 — 3 初期・後期養生 — 4 — 3 — 1 施工方式</p> <p>コンクリート舗設を含む養生は、以下の施工方式による初期養生と後期養生を行うものである。</p> <p>1) 初期養生 薬液養生 (ビニール養生) 方式であり、コンクリート版表面に膜養生 (ビニール) を行い、ビニール乳剤原液を散布する養生方法である。</p> <p>2) 後期養生 給湿養生 (マット養生) 方式であり、初期養生の後、マットをコンクリート表面に広げ、水を1日2回散水する養生方法である。 なお、マットが常にぬれていること、およびコンクリートの表面が露出しないよう処置しなければならない。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	舗装厚		30cm以下	30cmを超える	レディミキストコンクリート		m ³			割増しを含む	鉄網	φ6-150×150	m ²			〃	アスファルト乳剤	PK-3	ℓ			〃	コンクリート簡易仕上機	3.5～5.0m	日	1		就業 8H	世話役		人	1			特殊作業員		〃	5	9		普通作業員		〃	13	23		雑材料		%	18	13	機械・労務費の%	名称	形状寸法	単位	数量				摘要	30cm以下		30cmを超える		鉄網有り	鉄網無し	鉄網有り	鉄網無し	レディミキストコンクリート		m ³					割増しを含む	鉄網	φ6-150×150	m ²		—		—	〃	アスファルト乳剤	PK-3	ℓ					〃	世話役		人	1					特殊作業員		〃	3	3	6	6		普通作業員		〃	8	6	15	11		雑材料		%	16	18	12	13	労務費の%	<p>(3) 簡易機械舗設 1日 (135m²) 当り</p> <table border="1" data-bbox="1611 331 2507 793"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">舗装厚</th> </tr> <tr> <th>30cm以下</th> <th>30cmを超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミキストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄網</td> <td>φ6-150×150</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤</td> <td>PK-3</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート簡易仕上機</td> <td>3.5～5.0m</td> <td>日</td> <td colspan="2">1</td> <td>就業 8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="2">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>13</td> <td>23</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>18</td> <td>13</td> <td>機械・労務費の%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. アスファルト乳剤=1m²当り散布量 (1.02ℓ/m²) × 1日当り舗設面積 (135m²/日) なお、1m²当り散布量には割増しを含んでいる。 2. 雑材料は、初期・後期養生材および舗装用パイプレタ、アスファルト乳剤散布の費用を含む。</p> <p>(4) 人力舗設 1日 (68m²) 当り</p> <table border="1" data-bbox="1611 909 2585 1329"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">30cm以下</th> <th colspan="2">30cmを超える</th> </tr> <tr> <th>鉄網有り</th> <th>鉄網無し</th> <th>鉄網有り</th> <th>鉄網無し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミキストコンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄網</td> <td>φ6-150×150</td> <td>m²</td> <td></td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アスファルト乳剤</td> <td>PK-3</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="4">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>11</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>労務費の%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. アスファルト乳剤=1m²当り散布量 (1.02ℓ/m²) × 1日当り舗設面積 (68m²/日) なお、1m²当り散布量には割増しを含んでいる。 2. 雑材料は、初期・後期養生材および舗装用パイプレタ、アスファルト乳剤散布の費用を含む。</p>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	舗装厚		30cm以下	30cmを超える	レディミキストコンクリート		m ³			割増しを含む	鉄網	φ6-150×150	m ²			〃	アスファルト乳剤	PK-3	ℓ			〃	コンクリート簡易仕上機	3.5～5.0m	日	1		就業 8H	世話役		人	1			特殊作業員		〃	5	9		普通作業員		〃	13	23		雑材料		%	18	13	機械・労務費の%	名称	形状寸法	単位	数量				摘要	30cm以下		30cmを超える		鉄網有り	鉄網無し	鉄網有り	鉄網無し	レディミキストコンクリート		m ³					割増しを含む	鉄網	φ6-150×150	m ²		—		—	〃	アスファルト乳剤	PK-3	ℓ					〃	世話役		人	1					特殊作業員		〃	3	3	6	6		普通作業員		〃	8	6	15	11		雑材料		%	16	18	12	13	労務費の%	
	名称				形状寸法	単位		数量		摘要																																																																																																																																																																																																																																																													
舗装厚																																																																																																																																																																																																																																																																							
30cm以下		30cmを超える																																																																																																																																																																																																																																																																					
レディミキストコンクリート		m ³			割増しを含む																																																																																																																																																																																																																																																																		
鉄網	φ6-150×150	m ²			〃																																																																																																																																																																																																																																																																		
アスファルト乳剤	PK-3	ℓ			〃																																																																																																																																																																																																																																																																		
コンクリート簡易仕上機	3.5～5.0m	日	1		就業 8H																																																																																																																																																																																																																																																																		
世話役		人	1																																																																																																																																																																																																																																																																				
特殊作業員		〃	5	9																																																																																																																																																																																																																																																																			
普通作業員		〃	13	23																																																																																																																																																																																																																																																																			
雑材料		%	18	13	機械・労務費の%																																																																																																																																																																																																																																																																		
名称	形状寸法	単位	数量				摘要																																																																																																																																																																																																																																																																
			30cm以下		30cmを超える																																																																																																																																																																																																																																																																		
			鉄網有り	鉄網無し	鉄網有り	鉄網無し																																																																																																																																																																																																																																																																	
レディミキストコンクリート		m ³					割増しを含む																																																																																																																																																																																																																																																																
鉄網	φ6-150×150	m ²		—		—	〃																																																																																																																																																																																																																																																																
アスファルト乳剤	PK-3	ℓ					〃																																																																																																																																																																																																																																																																
世話役		人	1																																																																																																																																																																																																																																																																				
特殊作業員		〃	3	3	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																	
普通作業員		〃	8	6	15	11																																																																																																																																																																																																																																																																	
雑材料		%	16	18	12	13	労務費の%																																																																																																																																																																																																																																																																
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																																																																																																																																																																																		
			舗装厚																																																																																																																																																																																																																																																																				
			30cm以下	30cmを超える																																																																																																																																																																																																																																																																			
レディミキストコンクリート		m ³			割増しを含む																																																																																																																																																																																																																																																																		
鉄網	φ6-150×150	m ²			〃																																																																																																																																																																																																																																																																		
アスファルト乳剤	PK-3	ℓ			〃																																																																																																																																																																																																																																																																		
コンクリート簡易仕上機	3.5～5.0m	日	1		就業 8H																																																																																																																																																																																																																																																																		
世話役		人	1																																																																																																																																																																																																																																																																				
特殊作業員		〃	5	9																																																																																																																																																																																																																																																																			
普通作業員		〃	13	23																																																																																																																																																																																																																																																																			
雑材料		%	18	13	機械・労務費の%																																																																																																																																																																																																																																																																		
名称	形状寸法	単位	数量				摘要																																																																																																																																																																																																																																																																
			30cm以下		30cmを超える																																																																																																																																																																																																																																																																		
			鉄網有り	鉄網無し	鉄網有り	鉄網無し																																																																																																																																																																																																																																																																	
レディミキストコンクリート		m ³					割増しを含む																																																																																																																																																																																																																																																																
鉄網	φ6-150×150	m ²		—		—	〃																																																																																																																																																																																																																																																																
アスファルト乳剤	PK-3	ℓ					〃																																																																																																																																																																																																																																																																
世話役		人	1																																																																																																																																																																																																																																																																				
特殊作業員		〃	3	3	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																	
普通作業員		〃	8	6	15	11																																																																																																																																																																																																																																																																	
雑材料		%	16	18	12	13	労務費の%																																																																																																																																																																																																																																																																

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント
<p>第3章14節 維持補修工 (参考資料-1) 3-14-(1)</p>	<p>参考資料-1 FRPモルタル被覆</p> <p>1. 適用範囲 本項は、既設の鋼管杭・鋼管矢板等に取り付けるFRPモルタル被覆（防食カバー付）の防食施工に適用する。</p> <p>2. 施工フロー</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[足場設置撤去 (設置)] --> B[下地処理 (かき落とし)] B --> C[防食カバー取付] C --> D[モルタル注入] D --> E[足場設置撤去 (撤去)] </pre> </div> <p>注) 本項の歩掛は、の部分である。</p> <p>3. 数量の算出</p> <p>1) 足場面積 防食対象鋼管杭を対象に、以下により算出する。 ① 栈橋1ブロックの全杭を防食する場合は、上部工の全面積とする。 ② 1ブロックのうち一部の杭を防食する場合は、下図のとおりとする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>2) 下地処理面積 防食対象表面積とする。</p> <p>4. 代価表作成手順 [足場設置撤去の積算]</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p>・現場条件</p> <p>・施工日数 ・供用係数</p> <p>・購入価格 ① 足場の供用日数</p> <p>② 足場賃料</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>→ 足場構造の検討</p> <p>↓</p> <p>→ 足場の供用日数の算定</p> <p>↓</p> <p>→ 足場賃料の算定</p> <p>↓</p> <p>→ 代価表の作成</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>→ ・構造変更の場合は別途積算</p> <p>→ ① 足場の供用日数</p> <p>→ ② 足場賃料</p> <p>→ ・足場設置撤去 100m²当り代価表</p> </div> </div>		

掲 載 頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																	
<p>第3章 1.4節 維持補修工 (参考資料-1) 3-14-(2)</p>	<p>[下地処理の積算] ・現場条件 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【第4章 市場単価】 ・標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → ・下地処理(かき落とし) 100m²当り代価表</p> <p>[防食カバー取付の積算] → ・防食カバー取付(既設) 10本当り代価表</p> <p>[モルタル注入の積算] → ・モルタル注入(既設) 10m³当り代価表</p> <p>5. 施工方式 1) 足場設置撤去は、防食位置、上部工、潮位等現場条件により選定する。 2) 防食カバー取付・鋼管矢板に取付ける分割型カバーは、人力(潜水士等)により取付ける。 3) モルタル注入は、レディミクストモルタルとする。 モルタル注入は、グラウトポンプにより圧送することを標準とする。</p> <p>6. 施工歩掛 1) 足場賃料 足場板1枚当り賃料 = 足場板1枚1日当り賃料 × 供用日数 + 足場板1枚当り基本料(小数1位切捨て) 供用日数 = 下地処理・防食カバー取付・モルタル注入の合計日数 × 供用係数(α) + 搬入・搬出日数(2日) (小数1位切上げ) ※供用日数が30日未満の場合は30日とする。</p> <p>2) 代価表 (1) 足場設置撤去 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1041 1279 1409"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートアンカー</td> <td>φ16mm, ℓ=60mm</td> <td>本</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼 製 足 場</td> <td>鋼製軽量足場板 B=0.24m, ℓ=4m</td> <td>枚</td> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 士</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 送 気 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜 水 連 絡 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付トラック</td> <td>4t積、2.9t吊</td> <td>日</td> <td>2.4</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td>1.0</td> <td>空気圧縮機を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 本歩掛は、棧橋式の鋼管杭の防食工に適用する。 2. 現場条件等により足場構造に変更がある場合、別途積算する。</p> <p>(2) 下地処理(かき落とし) 100m²当り</p> <table border="1" data-bbox="433 1493 1279 1591"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>か き 落 と し</td> <td>クレーン抜き</td> <td>m²</td> <td>100</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>クレーン付トラック</td> <td>4t積、2.9t吊</td> <td>日</td> <td>3.6</td> <td>標準運転時間</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	コンクリートアンカー	φ16mm, ℓ=60mm	本	9		鋼 製 足 場	鋼製軽量足場板 B=0.24m, ℓ=4m	枚	14		潜 水 世 話 役		人	0.5		潜 水 士		〃	4.7		潜 水 送 気 員		〃	2.4		潜 水 連 絡 員		〃	2.4		普 通 作 業 員		〃	0.6		クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	2.4	標準運転時間	雑 材 料		%	1.0	空気圧縮機を含む	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	か き 落 と し	クレーン抜き	m ²	100	市場単価	クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	3.6	標準運転時間		
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要																																																																
コンクリートアンカー	φ16mm, ℓ=60mm	本	9																																																																	
鋼 製 足 場	鋼製軽量足場板 B=0.24m, ℓ=4m	枚	14																																																																	
潜 水 世 話 役		人	0.5																																																																	
潜 水 士		〃	4.7																																																																	
潜 水 送 気 員		〃	2.4																																																																	
潜 水 連 絡 員		〃	2.4																																																																	
普 通 作 業 員		〃	0.6																																																																	
クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	2.4	標準運転時間																																																																
雑 材 料		%	1.0	空気圧縮機を含む																																																																
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要																																																																
か き 落 と し	クレーン抜き	m ²	100	市場単価																																																																
クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	3.6	標準運転時間																																																																

平成30年度 東日本大震災の被災地で適用する港湾請負工事積算基準 (H30.4.1)

掲載頁	平成30年度 現行基準	平成30年度 被災地3県基準	コメント																																																																																																																																																																													
第3章1.4節 維持補修工 (参考資料-1) 3-14-(3)	<p>(3) 防食カバー取付 (既設) 10本当り</p> <table border="1" data-bbox="433 331 1279 751"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上 (既設)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防食カバー</td> <td>φ = , ℓ =</td> <td>本</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶接機</td> <td>D300A</td> <td>日</td> <td>3.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水士</td> <td></td> <td>〃</td> <td>9.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水送気員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水連絡員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付トラック</td> <td>4t積、2.9t吊</td> <td>日</td> <td>4.8</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>1.0</td> <td>空気圧縮機を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) モルタル注入 (既設) 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="433 810 1279 1310"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上 (既設)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストモルタル</td> <td></td> <td>m³</td> <td>13</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>グラウトポンプ</td> <td>37~100ℓ/min</td> <td>日</td> <td><u>4.0</u></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>45kVA</td> <td>〃</td> <td><u>4.0</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td><u>0.7</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水士</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>6.7</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水送気員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>3.4</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水連絡員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>3.4</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>1.7</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>1.9</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付トラック</td> <td>4t積、2.9t吊</td> <td>日</td> <td><u>3.4</u></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>1.0</td> <td>空気圧縮機を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	陸上 (既設)	防食カバー	φ = , ℓ =	本	10		溶接機	D300A	日	3.3		潜水世話役		人	1.0		潜水士		〃	9.5		潜水送気員		〃	4.8		潜水連絡員		〃	4.8		普通作業員		〃	3.5		クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	4.8	標準運転時間	雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	陸上 (既設)	レディーミクストモルタル		m ³	13	割増しを含む	グラウトポンプ	37~100ℓ/min	日	<u>4.0</u>	就業8H	発動発電機	45kVA	〃	<u>4.0</u>		潜水世話役		人	<u>0.7</u>		潜水士		〃	<u>6.7</u>		潜水送気員		〃	<u>3.4</u>		潜水連絡員		〃	<u>3.4</u>		特殊作業員		〃	<u>1.7</u>		普通作業員		〃	<u>1.9</u>		クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	<u>3.4</u>	標準運転時間	雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む	<p>(4) モルタル注入 (既設) 10m³当り</p> <table border="1" data-bbox="1629 810 2475 1310"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上 (既設)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストモルタル</td> <td></td> <td>m³</td> <td>13</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>グラウトポンプ</td> <td>37~100ℓ/min</td> <td>日</td> <td><u>4.44</u></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>45kVA</td> <td>〃</td> <td><u>4.44</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td><u>0.78</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水士</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>7.44</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水送気員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>3.78</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水連絡員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>3.78</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>1.89</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td><u>2.11</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付トラック</td> <td>4t積、2.9t吊</td> <td>日</td> <td><u>3.78</u></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>1.0</td> <td>空気圧縮機を含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	陸上 (既設)	レディーミクストモルタル		m ³	13	割増しを含む	グラウトポンプ	37~100ℓ/min	日	<u>4.44</u>	就業8H	発動発電機	45kVA	〃	<u>4.44</u>		潜水世話役		人	<u>0.78</u>		潜水士		〃	<u>7.44</u>		潜水送気員		〃	<u>3.78</u>		潜水連絡員		〃	<u>3.78</u>		特殊作業員		〃	<u>1.89</u>		普通作業員		〃	<u>2.11</u>		クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	<u>3.78</u>	標準運転時間	雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む	
	名称				形状寸法		単位	数量	摘要																																																																																																																																																																							
陸上 (既設)																																																																																																																																																																																
防食カバー	φ = , ℓ =	本	10																																																																																																																																																																													
溶接機	D300A	日	3.3																																																																																																																																																																													
潜水世話役		人	1.0																																																																																																																																																																													
潜水士		〃	9.5																																																																																																																																																																													
潜水送気員		〃	4.8																																																																																																																																																																													
潜水連絡員		〃	4.8																																																																																																																																																																													
普通作業員		〃	3.5																																																																																																																																																																													
クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	4.8	標準運転時間																																																																																																																																																																												
雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む																																																																																																																																																																												
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																												
			陸上 (既設)																																																																																																																																																																													
レディーミクストモルタル		m ³	13	割増しを含む																																																																																																																																																																												
グラウトポンプ	37~100ℓ/min	日	<u>4.0</u>	就業8H																																																																																																																																																																												
発動発電機	45kVA	〃	<u>4.0</u>																																																																																																																																																																													
潜水世話役		人	<u>0.7</u>																																																																																																																																																																													
潜水士		〃	<u>6.7</u>																																																																																																																																																																													
潜水送気員		〃	<u>3.4</u>																																																																																																																																																																													
潜水連絡員		〃	<u>3.4</u>																																																																																																																																																																													
特殊作業員		〃	<u>1.7</u>																																																																																																																																																																													
普通作業員		〃	<u>1.9</u>																																																																																																																																																																													
クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	<u>3.4</u>	標準運転時間																																																																																																																																																																												
雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む																																																																																																																																																																												
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																												
			陸上 (既設)																																																																																																																																																																													
レディーミクストモルタル		m ³	13	割増しを含む																																																																																																																																																																												
グラウトポンプ	37~100ℓ/min	日	<u>4.44</u>	就業8H																																																																																																																																																																												
発動発電機	45kVA	〃	<u>4.44</u>																																																																																																																																																																													
潜水世話役		人	<u>0.78</u>																																																																																																																																																																													
潜水士		〃	<u>7.44</u>																																																																																																																																																																													
潜水送気員		〃	<u>3.78</u>																																																																																																																																																																													
潜水連絡員		〃	<u>3.78</u>																																																																																																																																																																													
特殊作業員		〃	<u>1.89</u>																																																																																																																																																																													
普通作業員		〃	<u>2.11</u>																																																																																																																																																																													
クレーン付トラック	4t積、2.9t吊	日	<u>3.78</u>	標準運転時間																																																																																																																																																																												
雑材料		%	1.0	空気圧縮機を含む																																																																																																																																																																												